

DigitalArts®

有害サイトフィルタリングソフト

i-フィルタ[®] 6.0

月額版 操作マニュアル



はじめに	3
第1章 「i-フィルター」について	4
1-1 「i-フィルター」とは	5
1-2 フィルターデータについて	6
1-3 「i-フィルター」の動作環境について	7
第2章 「i-フィルター」を使ってみよう	8
2-1 「i-フィルター」を購入する	9
2-1-1 「i-フィルター 6.0」月額版のお申し込み	9
2-1-2 「i-フィルター 6.0」月額版を新規インストールする	12
2-1-3 「i-フィルター 6.0」月額版を再インストールする	14
2-2 「i-フィルター」を使う	16
2-2-1 ウェブブラウザで管理画面を開く	16
2-2-2 「i-フィルター」から管理画面を開く	17
2-2-3 管理画面の『トップページ』について	19
2-2-4 フィルターを設定する	20
2-3 かんたんナビで操作がすぐわかる	22
第3章 フィルターを設定しよう	23
3-1 利用者の追加・編集・削除	24
3-1-1 「i-フィルター」の利用者とは	24
3-1-2 新しい利用者を追加する	30
3-1-3 利用者情報を変える	32
3-1-4 利用者を切り替える	33
3-1-5 起動時の利用者を選ぶ	35
3-1-6 利用者を削除する	36
3-2 フィルタリング設定のいろいろ	38
3-2-1 フィルタリング順序について	40
3-3 フィルターの強度を設定する	41
3-3-1 フィルタリングカテゴリの設定をする	41
3-3-2 掲示板・ブログへの書き込みを禁止する	43
3-3-3 オンラインショッピング/オークションでの購入を禁止する	44
3-3-4 個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する	45
3-4 見せて良いサイトの設定をする	46
3-4-1 見せて良いサイトのURLを登録する	47
3-4-2 見せて良いサイトのURLを削除する	48
3-5 見せたくないサイトの設定をする	50
3-5-1 見せたくないサイトのURLを登録する	51
3-5-2 見せたくないサイトのURLを削除する	52
3-6 インターネットの利用時間を制限する(インターネットタイマー)	54
3-6-1 インターネットの利用時間帯を設定する	55
3-6-2 インターネットの利用制限時間を設定する	56
3-7 アプリケーションの利用を制限する(アプリケーション制御)	58
3-7-1 起動を禁止するアプリケーションのプロセス名を登録する	59
3-7-2 起動を禁止するアプリケーションのプロセス名を削除する	65
3-8 その他のフィルターを設定する(詳細設定)	67
3-8-1 HTTPS通信の内容を復号化する(HTTPSDecode)	68
3-8-2 個人情報を保護する(個人情報保護)	76
3-8-3 禁止単語を設定する(単語フィルター)	82
3-8-4 ブロック画面の設定をする(ブロック画面)	89
3-8-5 ファイルをダウンロードさせない(ダウンロード禁止)	94
3-8-6 検索結果に成人向けコンテンツを表示させない(セーフサーチ連動)	100
3-8-7 見せたくないサイトを検索結果に表示させない(検索結果フィルター)	102
3-8-8 登録したサイトだけを見せる(ホワイトリスト)	104
3-8-9 サイトの内容を自動的に判断する(ページスキャン)	110
3-8-10 自主規制信号のあるサイトを見せたくない(PICSフィルター)	112
3-8-11 フィルタリング対象から除外する(フィルター除外設定)	114
第4章 インターネット利用状況を知ろう	134
4-1 どんな割合でサイトを見たかを知る(利用状況)	135
4-2 ブロックされたサイトを知る(ブロック履歴)	137
4-3 ブロックされたアプリケーションを知る(アプリケーション制御履歴)	138





4-4	検索に使用した単語のランキングを知る（検索単語ランキング）	139
4-5	よく利用するコミュニティサイトのランキングを知る（書き込み回数ランキング）	140
4-6	利用状況を詳しく知る（詳細履歴）	141
4-6-1	詳細履歴からURLを見せて良いサイトに登録する	143
4-6-2	詳細履歴からURLを見せたくないサイトに登録する	144
4-6-3	詳細履歴をCSV形式で保存する	145
第5章	「i-フィルター」のブロックを解除する	146
5-1	管理者がブロックを解除する（一時的なブロック解除機能）	147
5-2	ブロックされたサイトの閲覧許可を申請する(ブロック解除申請)	148
5-3	インターネットタイマーを延長する（タイマー延長）	149
5-4	ブロック解除申請をされたサイトの閲覧を許可する	151
5-4-1	ブロック解除申請メールからサイトの閲覧を許可する	151
5-4-2	管理画面からサイトの閲覧を許可する	152
第6章	「i-フィルター」の設定をする(システム設定)	154
6-1	「i-フィルター」を最新の状態にする（データ更新）	155
6-1-1	「i-フィルター」を自動でデータ更新する	155
6-2	履歴保存の設定をする	157
6-3	「i-フィルター」の管理パスワードを変更する	158
6-4	「i-フィルター」の起動に関する設定をする	159
6-5	メール通知の設定をする	162
6-6	ライセンス情報を見る	165
第7章	その他	166
7-1	通知領域（タスクトレイ）のアイコンを使う	167
7-2	プロキシサーバーを設定する	168
7-3	バージョン情報を見る	170
7-3-1	「i-フィルター」の最新のバージョンを確認する	171
7-3-2	「i-フィルター」の認証情報を確認する	172
7-4	「i-フィルター」を停止／起動する	173
7-4-1	「i-フィルター」を停止する	173
7-4-2	「i-フィルター」を起動する	175
7-5	「i-フィルター」の機能をスタート画面から使う	176
7-5-1	「i-フィルター」の機能をスタート画面から使う	176
7-6	「i-フィルター」月額版の利用期限と解約について	178
7-6-1	月額版の利用期限について	178
7-6-2	「i-フィルター」月額版の解約について	178
7-7	「i-フィルター」をアンインストールする	181
7-7-1	Windows 11をお使いの場合	181
7-7-2	Windows 10をお使いの場合	183
7-7-3	Windows 8.1をお使いの場合	186
7-8	旧バージョンからアップグレードを実施する	189
7-8-1	「i-フィルター 5.0」からのアップグレード方法	189
7-8-2	「i-フィルター 4」からのアップグレード方法	194
第8章	付録	198
8-1	フィルターのカテゴリ一覧	199
8-2	お問い合わせ	201

はじめに

本マニュアルについて

- 本マニュアルの内容は、2022年3月17日時点の情報に基づいて作成しております。
- 本マニュアルの内容は、将来予告なしに変更される場合があります。
- 本マニュアルの全部または一部を無断転載、無断複写することは禁止されております。
- 本マニュアルは細心の注意を払って作成しておりますが、記述に誤りや欠落があっても、デジタルアーツ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。
- 本マニュアルにご不明点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたら当該製品のサポート窓口までご連絡ください。
- 本製品の最新情報をホームページで公開しています。
「デジタルアーツ株式会社 サポート情報サイト<<https://download.daj.co.jp/user/>>」
- Adobe、Adobe ロゴ、Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。
- Microsoft、Windows、Active DirectoryおよびMicrosoftのロゴは、米国 Microsoft Corporationおよびその関連会社の商標です。
- デジタルアーツ、DIGITAL ARTS、i-フィルター、当社・当社製品関連の各種ロゴ・アイコンはデジタルアーツ株式会社の商標または登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

アイコン凡例

イメージ	ラベル	説明
	補足	補足説明です。
	注意	特に注意が必要な事項について説明します。
	制限	制限事項について説明します。
	例	設定例です。

本書の読み方

○ 略語について本書では、以下の略語で表記しています。

実表記	略語
「i-フィルター6.0」	「i-フィルター」
Windows 11 Pro、Windows 11 Home	Windows 11
Windows 10 Pro、Windows 10 Home	Windows 10
Windows 8.1 Pro、Windows 8.1	Windows 8.1

発行元

「i-フィルター 6.0」月額版 操作マニュアル

2022年3月17日 第17版

デジタルアーツ株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエア ウエストタワー14F

<https://www.daj.jp/>

Copyright © 2015 Digital Arts Inc.

第1章 「i-フィルター」について

「i-フィルター」の概要について説明しています。

1-1 「i-フィルター」とは

1-2 フィルターデータについて

1-3 「i-フィルター」の動作環境について

1-1 「i-フィルター」とは

本製品である「i-フィルター」について説明します。

公益社団法人日本PTA全国協議会も認めたフィルタリングソフト

インターネットの情報をフィルタリングして、お子さまに見せたくない情報を遮断し、安心・安全・快適にインターネットを使えるフィルタリングソフト、それが「i-フィルター」です。

「i-フィルター」は、子どもを守るフィルタリングソフトとして高い信頼を得ています。データベースの精度、どなたでも使いやすい操作性、多くの販売実績などから「i-フィルター」は、公益社団法人日本PTA全国協議会の推薦をいただいております。

自由度と信頼性の高いフィルターデータ

「i-フィルター」では、どのように「フィルタリング」するのでしょうか。代表的な例としてデジタルアーツのデータベースに登録されたカテゴリ分類によるフィルタリングの流れをご紹介します。

1. お客さまがウェブブラウザ上で見たいURLを指定します。(リンクをクリックする、検索するなど)
2. 「i-フィルター」は、URLを自動で「i-フィルター」のデータベースに問い合わせます。
3. フィルターで制限するよう指定されたカテゴリのURLであれば、サイトを表示しません。

フィルタリングしてサイトを表示させなくすることを「ブロックする」と呼びます。「i-フィルター」では、フィルタリングするために各国の研究成果に基づいたデジタルアーツ独自の格付け基準(カテゴリ分類)を設けています。そのカテゴリ分類に従って制限をかけたいURLのリストを収集しています。日本では、日本独自のデータ収集を行い、データベースに反映しているのです。数秒、数分の高い頻度で情報が更新されるインターネットで、最新のフィルターデータを入手し、最も適したフィルタリング設定をすることで、安心・安全・快適にインターネットを使えます。フィルターの詳しい設定方法については【第3章 フィルターを設定しよう】をご覧ください。

ビジネスや公共の場にも対応

ご家庭で有害情報から子どもを守る以外に「i-フィルター」はビジネスや公共の場でも力を発揮します。例えば、従業員が就業中に会社のパソコンからアダルトサイトやギャンブルサイト、転職情報などを見るのは好ましくありません。

「i-フィルター」を使えば、業務に関係のないサイトをブロックすることができ、さらに情報漏洩対策も行えます。また、公共の場に設置したパソコンで、有害サイトにアクセスされるのも問題です。公共の場のパソコンでは、公共施設のサイトや関連したサイトのみを表示するよう設定することで、本来の用途以外に使われることを防ぎます。「i-フィルター」はフィルタリングソフトをお使いの約98%※の方にお選びいただいております。この実績が皆様に信頼されていることを証明しています。

※2015年3月BCNランキングデータによる自社集計より

1-2 フィルターデータについて

インターネットの情報にフィルターをかけるには、フィルターデータを使います。フィルターデータは、どのように作られているのでしょうか。フィルターデータについて説明します。

日々更新されるフィルターデータ

フィルターデータに登録するURL情報は、精度を重視しています。毎営業日、日本語・英語・中国語圏の専任スタッフが、完全目視でフィルターのカテゴリ（分類）を確認し、データベースに登録しています。毎営業日に最新のフィルターデータを更新するため、めまぐるしく情報が更新されるインターネットに、最新のフィルターをかけられます。詳しくは【6-1 「i-フィルター」を最新の状態にする（データ更新）】をご覧ください。

フィルターもカスタマイズ

フィルターは年齢別の推奨設定を選択することもできますが、フィルタリングしたいカテゴリ（分類）をひとつひとつ選んで設定し、お好みに応じたフィルターを作ることもできます。その他にも、特定の単語を表示させないように設定する、インターネット利用時間帯を制限するなど、さまざまにカスタマイズすることができます。「i-フィルター」では、きめ細かく自由度の高いフィルターをかけられます。詳しくは、【第3章 フィルターを設定しよう】をご覧ください。

フィルターデータ収集言語

「i-フィルター」のフィルターデータ収集言語は日本語、英語および中国語です。ただし、日本語ページ、英語ページ、中国語ページのすべてに対応しているものではありません。

フィルターデータ追加修正依頼フォーム

「i-フィルター」をご利用いただき、「i-フィルター」が遮断すべき情報を遮断しなかったと感じられた場合、あるいは遮断すべきではない情報が遮断された場合にはデジタルアーツのウェブサイトの「フィルターデータ追加修正依頼フォーム」より、情報をご提供ください。弊社カテゴリ基準に基づいて内容を精査のうえ、データベースに反映させていただきます。ただし、お寄せいただいた情報が、必ずしもそのまま、またはすべて弊社マスターデータベースに反映されるものではないことを、あらかじめご了承ください。

1-3 「i-フィルター」の動作環境について

「i-フィルター」を使うために必要な環境については、製品ページ<<https://www.daj.jp/cs/products/pc/if6/sysreq/>>をご確認ください。

注意

- インターネットの設定でプロキシサーバーを設定しているときは「i-フィルター」でもプロキシサーバーの設定を行ってください。詳しくは【7-2 プロキシサーバーを設定する】をご覧ください。

第2章 「i-フィルター」を使ってみよう

「i-フィルター」を購入して、かんたんに使う方法について説明します。

2-1 「i-フィルター」を購入する

- 2-1-1 「i-フィルター 6.0」月額版のお申し込み
- 2-1-2 「i-フィルター 6.0」月額版を新規インストールする
- 2-1-3 「i-フィルター 6.0」月額版を再インストールする

2-2 「i-フィルター」を使う

- 2-2-1 ウェブブラウザで管理画面を開く
- 2-2-2 「i-フィルター」から管理画面を開く
- 2-2-3 管理画面の『トップページ』について
- 2-2-4 フィルターを設定する

2-3 かんたんナビで操作がすぐわかる

2-1 「i-フィルター」を購入する

2-1-1 「i-フィルター 6.0」月額版のお申し込み

「i-フィルター」月額版の新規お申し込み方法を説明しています。

STEP1

デジタルアーツ株式会社のウェブサイトから「i-フィルター」の申し込みページを開きます。

+ 補足

- 「i-フィルター」の新規購入よりWindows版をクリックしてください。
<<https://www.daj.jp/cs/products/pc/if6/purchase/>>

STEP2

『お客さま情報の登録』画面が開きます。項目をすべて入力してください。

- ①【登録形態の選択】【お客さま情報の入力】で、お客さまご自身の情報を入力します。

設定項目	設定内容	
登録形態の選択	個人登録	個人として登録するときに選びます。
	法人登録	法人として登録するときに選びます。会社名、部署名を入力してください。

【E-Mailアドレス】と【確認入力】にE-Mailアドレスを入力します。

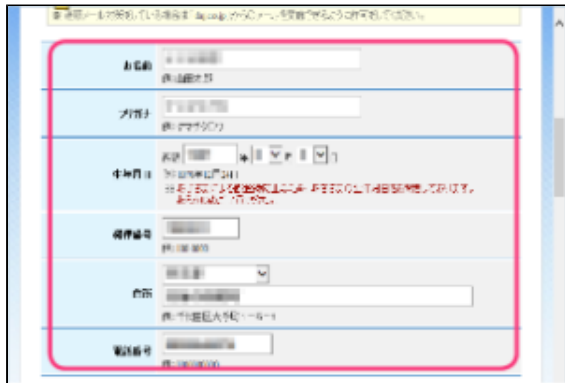
+ 補足

- E-Mailアドレスにドメイン指定受信の設定をしている場合は、「daj.co.jp」、「i-filter.jp」を受信できる設定にしてください。

! 注意

- E-Mailアドレスは「i-フィルター」の設定を変えたり、利用状況を確認するときに使います。詳しくは【2-2 「i-フィルター」を使う】をご覧ください。

【お客さま情報】の各項目を入力します。



設定項目	設定内容	
お客さま情報の入力	お名前	お客さまのお名前を入力してください。
	フリガナ	お客さまのお名前のフリガナを全角カナで入力してください。
	生年月日	お客さまの生年月日を選択してください。
	郵便番号	お客さまの郵便番号を入力してください。
	住所	お客さまのご住所を入力してください。
	電話番号	お客さまのお電話番号を半角数字で入力してください。

② 【管理パスワード】と【確認入力】に設定したい管理パスワードを入力します。

+ 補足

- 管理パスワードとは「i-フィルター」の設定を変えたり、利用状況を確認したりするときに使う大切なパスワードです。他の利用者に知られないようなパスワードにしてください。
- 管理パスワードは、半角英数字6文字以上15文字以下で設定してください。
- 管理パスワードは、大文字と小文字が区別されます。

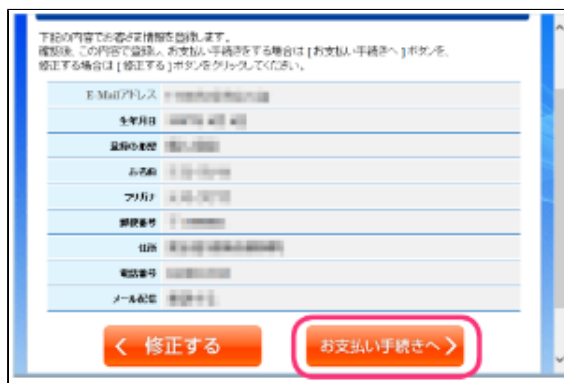
③ 【お預かりする個人情報の取り扱いについて】の内容をご確認いただき、【同意する】を選択し【確認画面】ボタンをクリックします。



+ 補足

- デジタルアーツ株式会社からの情報メール（メールマガジンなど）の受け取りを希望されない場合は、【メール配信】で【希望しない】を選択してください。なお【希望しない】を選んだ場合でも重要なお知らせメールはお送りさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

④ 『お客さま情報の登録』画面が開きます。入力したお客さま情報をご確認いただき、内容が正しければ [お支払い手続きへ] ボタンをクリックします。



+ 補足

- お客さま情報の内容が正しくない場合は、 [修正する] ボタンをクリックして、お客さま情報を修正してください。

STEP3

『お支払い情報の入力』画面が開きます。お支払いに使われるクレジットカードの情報を入力し、 [確認画面] ボタンをクリックします。



STEP4

『お支払い情報の確認』画面が開きます。入力した情報をご確認いただき、内容が正しければ [この内容で支払いをする] ボタンをクリックします。



+ 補足

- お支払い情報の内容が正しくない場合は、 [修正する] ボタンをクリックして、お支払い情報を修正してください。

STEP5

『ライセンスご購入完了』画面が開きます。[ダウンロード] ボタンをクリックして、i-フィルターのインストーラーをダウンロードします。



2-1-2 「i-フィルター 6.0」月額版を新規インストールする

「i-フィルター」月額版のお申し込み後の新規でパソコンにインストールする方法を説明しています。「i-フィルター」のインストーラーはデジタルアーツ株式会社のウェブサイトからダウンロードすることができます。

STEP1


「i-フィルター」のインストーラーを起動します。

STEP2

[インストール] ボタンをクリックします。



+ 補足

- [インストール先フォルダーを選択する] にチェックマークを付けて [インストール] ボタンをクリックすると、インストール先フォルダーを選択することができます。通常のインストール先は「C:¥Program Files¥Digital Arts¥IFP6」または「C:¥Program Files(x86)¥Digital Arts¥IFP6」です。
- [操作マニュアルを見る] ボタンをクリックすると、本操作マニュアルが表示されます。
- 最新のマニュアルが配信されている場合は、最新のマニュアルのダウンロードページを開くことができます。
- 本操作マニュアルをパソコン上で見られない場合は、Adobe Readerが必要です。
-  をクリックして、Adobe Readerをお使いのパソコンにインストールしてください。
- [とじる] ボタンをクリックすると、インストールを中止します。

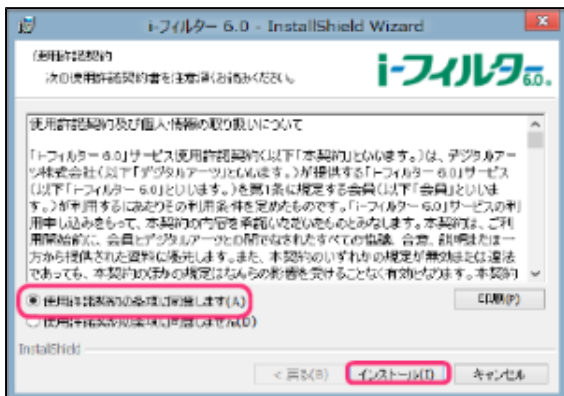
STEP3

「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?」というメッセージが表示されたら [はい] ボタンをクリックします。



STEP4

[使用許諾契約の条項に同意します] を選択し [インストール] ボタンをクリックします。



注意

- 使用許諾契約に同意していただけない場合、インストールができません。

STEP5

『「i-フィルター」の開始』画面が開きます。 [シリアルID] にシリアルIDを入力し [次へ] ボタンをクリックします。



補足

- シリアルIDは、半角英数字で入力します。

注意

- 『「i-フィルター」の開始』画面を開くには管理者 (Administrator) 権限が必要です。必ず管理者 (Administrator) 権限で操作を行ってください。

STEP6


以前に設定した管理パスワードを入力し、[次へ]ボタンをクリックします。



STEP7

『シリアルIDを確認しました』画面が開きます。[完了] ボタンをクリックします。

+ 補足

- 「i-フィルター」がインストールされました。通知領域（タスクトレイ）のアイコンに  が表示されます。

2-1-3 「i-フィルター 6.0」月額版を再インストールする

新しいパソコンを購入した場合などで、「i-フィルター」を再インストールする手順を説明します。

STEP1

「i-フィルター 6.0」月額版をダウンロードし、インストールします。

+ 補足

- インストールについて詳しくは【2-1-2 「i-フィルター 6.0」月額版を新規インストールする】のSTEP1~7をご覧ください。

STEP2

『「i-フィルター」の開始』画面を開き、[再インストールの方] ボタンをクリックします。
[シリアルID] にシリアルIDを入力し [次へ] ボタンをクリックします。



+ 補足

- シリアルIDは、半角英数字で入力します。

STEP3

以前に設定した管理パスワードを入力し、[次へ] ボタンをクリックします。

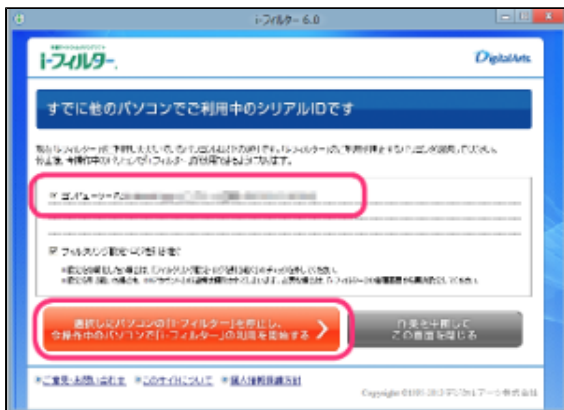


+ 補足

- 管理パスワードは以前にご利用の管理パスワードを正しく入力してください。

STEP4

『すでに他のパソコンでご利用中のシリアルIDです』画面が開きます。
今操作中のパソコンに設定を引き継いで「i-フィルター」をインストールする場合、「フィルタリング設定・ログを引き継ぐ」にチェックマークを付けて[選択したパソコンの「i-フィルター」を停止し、今操作中のパソコンで「i-フィルター」の利用を開始する] ボタンをクリックします。




+ 補足

- 「i-フィルター」は1シリアルIDにつき1台のパソコンでご利用いただけます。複数台のパソコンで「i-フィルター」をご利用いただく場合は、ご利用台数分のライセンスが必要になります。
- 設定を初期化したい場合は「フィルタリング設定・ログを引き継ぐ」のチェックマークをはずしてください。
- シリアルIDを停止したパソコンの「i-フィルター」はご利用いただけなくなりますので、アンインストールしてください。アンインストールについては【7-7 「i-フィルター」をアンインストールする】をご覧ください。

STEP5

『シリアルIDを確認しました』画面が開きます。[完了] ボタンをクリックします。

+ 補足

- 「i-フィルター」のインストールが完了すると、通知領域（タスクトレイ）のアイコンに  が表示されます。

2-2 「i-フィルター」を使う

「i-フィルター」の基本的な使い方を説明します。

2-2-1 ウェブブラウザで管理画面を開く

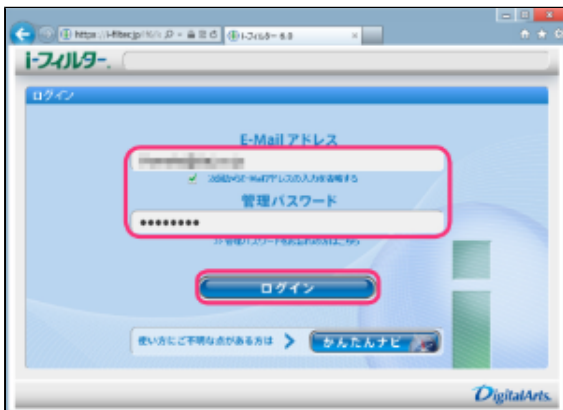
「i-フィルター」の管理画面はインストールしたパソコン以外のパソコンからでもウェブブラウザを使い、デジタルアーツ株式会社のウェブサイトから開くことができます。

STEP1

ウェブブラウザを使い、デジタルアーツ株式会社のウェブサイト<<https://www.daj.jp/cs/>>にアクセスし、案内に従って、『ログイン』画面を開きます。

STEP2

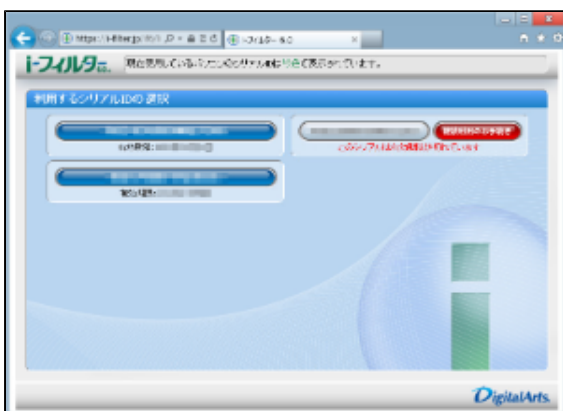
『ログイン』画面で、E-Mailアドレスと管理パスワードを入力し [ログイン] ボタンをクリックします。



+ 補足

- 管理パスワードは、大文字と小文字が区別されます。
- 管理パスワードを忘れてしまった場合は [管理パスワードをお忘れの方はこちら] をクリックして、画面の案内に従って管理パスワードの再設定を行ってください。

複数のシリアルIDをご利用の場合、『利用するシリアルIDの選択』画面でログインするシリアルIDをクリックします。



管理画面の『トップページ』画面が開きます。

+ 補足

- 管理画面の『トップページ』について詳しくは【2-2-3 管理画面の『トップページ』について】をご覧ください。


注意

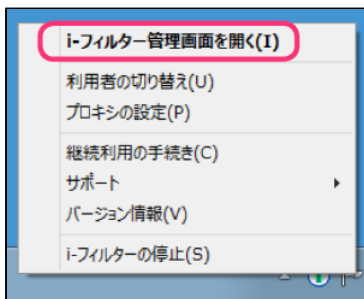
- ウェブブラウザでは以下の操作を行うことができません。
 - 「利用者の追加・編集・削除」
 - 「利用者の切り替え」
 - 「「i-フィルター」のバージョン情報閲覧」
 - 「「i-フィルター」の手動アップデート」
 - 「プロキシの指定」
- これらの操作を行う場合は「i-フィルター」をインストールしたパソコンから操作をしてください。
詳しくは【2-2-2 「i-フィルター」から管理画面を開く】をご覧ください。

2-2-2 「i-フィルター」から管理画面を開く



インストールしたパソコンから管理画面を表示する方法を説明します。

STEP1

通知領域（タスクトレイ）の  をクリックして [i-フィルター管理画面を開く] をクリックします。

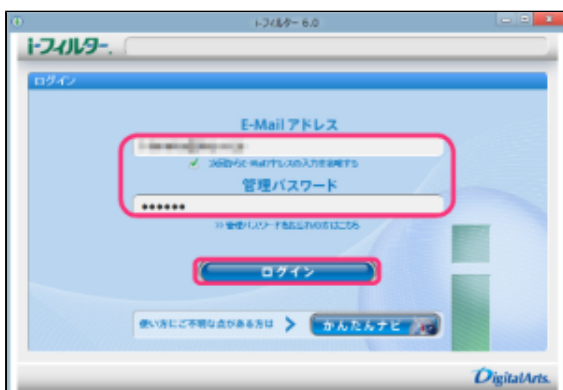


+ 補足

- 通知領域（タスクトレイ）の  をダブルクリックしても同様の操作となります。
- 通知領域（タスクトレイ）の  は、設定によっては表示されないことがあります。詳しくは【6-4 「i-フィルター」の起動に関する設定をする】の【○通知領域（タスクトレイ）にアイコンを表示する／しない】をご覧ください。また、お客さまの設定により通知領域（タスクトレイ）のアイコンが隠れてしまう場合があります。通知領域（タスクトレイ）の [△] をクリックし、隠れているアイコンを表示させてください。
- Windowsのスタートボタンから [すべてのプログラム]（または [プログラム]）→ [i-フィルター 6.0] をクリックしても同様の操作となります。

STEP2

『ログイン』画面で、E-Mailアドレスと管理パスワードを入力し [ログイン] ボタンをクリックします。



+ 補足

- 管理パスワードは、大文字と小文字が区別されます。
- 管理パスワードを忘れてしまった場合は「[管理パスワードをお忘れの方はこちら](#)」をクリックして、画面の指示に従ってください。

複数のシリアルIDをご利用の場合、『利用するシリアルIDの選択』画面でログインするシリアルIDをクリックします。



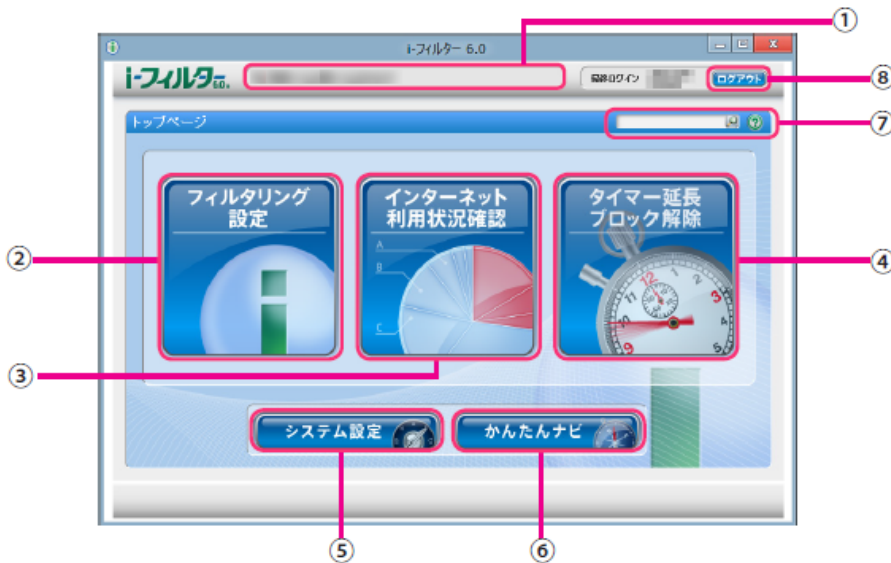
管理画面の『トップページ』画面が開きます。

+ 補足

- 管理画面の『トップページ』について詳しくは【[2-2-3 管理画面の『トップページ』について](#)】をご覧ください。

2-2-3 管理画面の『トップページ』について

管理画面の『トップページ』画面では以下のことを行うことができます。



①	ご利用中のシリアルIDが表示されます。
②	[フィルタリング設定] ボタン フィルターを設定できます。詳しくは【第3章 フィルターを設定しよう】をご覧ください。
③	[インターネット利用状況確認] ボタン インターネットの利用状況をグラフやランキングで確認できます。詳しくは【第4章 インターネット利用状況を知ろう】をご覧ください。
④	[タイマー延長ブロック解除] ボタン インターネットタイマーの延長申請やブロック解除申請を許可する/許可しないの操作ができます。詳しくは【第5章 「i-フィルター」のブロックを解除する】をご覧ください。
⑤	[システム設定] ボタン 「i-フィルター」の設定を行います。詳しくは【第6章 「i-フィルター」の設定をする（システム設定）】をご覧ください。
⑥	[かんたんナビ] ボタン 「i-フィルター」の設定方法を目的からかんたんに検索することができます。詳しくは【2-3 かんたんナビで操作がすぐわかる】をご覧ください。
⑦	かんたんナビの検索 かんたんナビの項目を検索します。詳しくは【2-3 かんたんナビで操作がすぐわかる】をご覧ください。
⑧	[ログアウト] ボタン 管理画面からログアウトします。

+ 補足

- 「i-フィルター」年額版をご利用中の場合は、利用期限までの日数が表示されます。

⚠ 注意

- 「i-フィルター」は管理画面での不正な操作を防ぐために一定時間操作を行わなかった場合、自動でログアウトします。

2-2-4 フィルターを設定する

かんたんにフィルターを設定する方法を紹介します。初期設定では「家族みんな」という利用者が登録されています。利用者「家族みんな」のインターネットへのアクセスに「小学生」のフィルター強度に設定を変更する方法を説明します。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。



STEP2

『フィルタリング設定』画面が開きます。[フィルター強度設定] ボタンをクリックします。



STEP3

『フィルター強度設定』画面が開きます。利用者に応じた、フィルター設定ボタン(例：小学生)をクリックして、[設定保存] ボタンをクリックします。


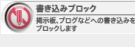




+ 補足

- 利用者に応じて、フィルター設定ボタンより [ファミリー]、[小学生]、[中学生]、[高校生]、[大人] のフィルター強度を選ぶことができます。

[ファミリー]	ご家庭のリビングで保護者とお子さまが閲覧するのに相応しい環境を整えつつ、刺激の強いサイトがブロックされます。保護者の閲覧ニーズが高いカテゴリを表示します。
[小学生]	低年齢のお子さまにも安心してインターネットをお使いいただける環境を整えます。この設定では、ショッピングや懸賞サイト、ウェブメールなどもブロック対象に含まれます。
[中学生]	インターネットを便利に利用できるようにしつつ、刺激の強いサイトがブロックされます。チャットや掲示板など不特定多数とのコミュニケーションもブロック対象に含まれます。
[高校生]	情報源としてのインターネットを十分に活用できる環境です。特に刺激の強い内容や、犯罪や暴力、不正IT技術に関する内容のほか、出会い系サイト、メル友募集のウェブサイトがブロックされます。
[大人]	不正IT技術や特に有害な情報やウェブサイトがブロックされます。

+ 補足

- 利用者ごとに、最大6名まで個別のフィルター強度を設定していただけます。詳しくは【3-3 フィルターの強度を設定する】をご覧ください。
- [フィルター-OFF] ボタンをクリックすると、フィルターをかけずにインターネットをお楽しみいただけます。詳しくは【3-3-4 個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する】をご覧ください。
- [書き込みブロック] の  をクリックし、  を表示させると、掲示板やブログなどで、情報を発信させないように設定できます。詳しくは【3-3-2 掲示板・ブログへの書き込みを禁止する】をご覧ください。
- [購入ページブロック] の  をクリックし、  を表示させると、ネットショッピング、オークションなどで購入できないよう設定できます。詳しくは【3-3-3 オンラインショッピング/オークションでの購入を禁止する】をご覧ください。
- [設定保存] ボタンをクリックせずに [もどる] ボタンをクリックすると、操作した設定は保存されません。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

2-3 かんたんナビで操作がすぐわかる


かんたんナビでは、目的から「i-フィルター」の使い方をかんたんに探すことができます。
かんたんナビを活用して「i-フィルター」による安心・安全・快適なインターネットをお楽しみください。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で [かんたんナビ] ボタンをクリックします。



+ 補足

- ログイン画面の [かんたんナビ] ボタンをクリックしても同様の操作になります。
- 画面右上のテキストボックスで知りたい項目を検索できます。
- 各画面の  ボタンをクリックすると、該当する画面のかんたんナビが開きます。

STEP2

『かんたんナビ』画面が開きます。 [かんたんナビでかんたん検索] で知りたい項目を検索できます。検索結果が表示されますので、知りたい項目をクリックします。



+ 補足

- 管理画面の右上のテキストボックスからも同様に検索ができます。
- よく利用される項目、よく利用されるワードをクリックすることで、その項目のかんたんナビを見ることができます。

第3章 フィルターを設定しよう

フィルターを設定する方法を説明します。

3-1 利用者の追加・編集・削除

- 3-1-1 「i-フィルター」の利用者とは
- 3-1-2 新しい利用者を追加する
- 3-1-3 利用者情報を変える
- 3-1-4 利用者を切り替える
- 3-1-5 起動時の利用者を選ぶ
- 3-1-6 利用者を削除する

3-2 フィルタリング設定のいろいろ

- 3-2-1 フィルタリング順序について

3-3 フィルターの強度を設定する

- 3-3-1 フィルタリングカテゴリの設定をする
- 3-3-2 掲示板・ブログへの書き込みを禁止する
- 3-3-3 オンラインショッピング/オークションでの購入を禁止する
- 3-3-4 個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する

3-4 見せて良いサイトの設定をする

- 3-4-1 見せて良いサイトのURLを登録する
- 3-4-2 見せて良いサイトのURLを削除する

3-5 見せたくないサイトの設定をする

- 3-5-1 見せたくないサイトのURLを登録する
- 3-5-2 見せたくないサイトのURLを削除する

3-6 インターネットの利用時間を制限する(インターネットタイマー)

- 3-6-1 インターネットの利用時間帯を設定する
- 3-6-2 インターネットの利用制限時間を設定する

3-7 アプリケーションの利用を制限する(アプリケーション制御)

- 3-7-1 起動を禁止するアプリケーションのプロセス名を登録する
- 3-7-2 起動を禁止するアプリケーションのプロセス名を削除する

3-8 その他のフィルターを設定する(詳細設定)

- 3-8-1 HTTPS通信の内容を復号化する(HTTPSデコード)
- 3-8-2 個人情報を保護する(個人情報保護)
- 3-8-3 禁止単語を設定する(単語フィルター)
- 3-8-4 ブロック画面の設定をする(ブロック画面)
- 3-8-5 ファイルをダウンロードさせない(ダウンロード禁止)
- 3-8-6 検索結果に成人向けコンテンツを表示させない(セーフサーチ連動)
- 3-8-7 見せたくないサイトを検索結果に表示させない(検索結果フィルター)
- 3-8-8 登録したサイトだけを見せる(ホワイトリスト)
- 3-8-9 サイトの内容を自動的に判断する(ページスキャン)
- 3-8-10 自主規制信号のあるサイトを見せたくない(PICSフィルター)
- 3-8-11 フィルタリング対象から除外する(フィルター除外設定)

3-1 利用者の追加・編集・削除

複数の人が1台のパソコンを使う場合、利用者ごとにインターネットアクセスをフィルタリングできます。利用者の追加・編集・削除は「i-フィルター」をインストールしたパソコンからのみ行うことができます。

3-1-1 「i-フィルター」の利用者とは

複数の利用者で「i-フィルター」を使う方法を説明します。複数の人が同じパソコンで「i-フィルター」を使うには、次の2つの方法があります。

[1] 複数の利用者を作って、Windowsのユーザーアカウントを使い分ける方法

Windowsのユーザーアカウントと「i-フィルター」の利用者を関連付けることにより、Windowsのログオン時に利用者が切り替わります。この方法で「i-フィルター」を使うには、新たに利用者を追加する必要があります。詳しくは【3-1-2 新しい利用者を追加する】をご覧ください。

[2] 複数の利用者を作って、1つのWindowsのユーザーアカウントで使う方法


Windows起動時は既定で起動するよう設定された利用者で起動されますが、ログオフ/ログオンせずに利用者を切り替えられます。この方法で「i-フィルター」を使うには、新たに利用者を作る必要があります。利用者を作る方法については【3-1-2 新しい利用者を追加する】を、フィルターをかける利用者を切り替える方法については【3-1-4 利用者を切り替える】をご覧ください。

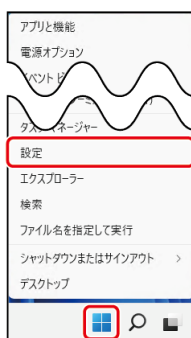
[1] の「i-フィルター」の利用者を新たに作り、利用者ごとにフィルターを使い分ける方法をお勧めします。Windowsのユーザーアカウントと「i-フィルター」の利用者を関連付ければ、ログオンとともにユーザーアカウントに適したフィルターが自動的にかけられます。

■ Windowsのユーザーアカウントを作る (Windows 11の場合)

Windows 11の場合のユーザーアカウントを作る方法を説明します。「i-フィルター」の利用者とWindowsのユーザーアカウントを関連付けることで、Windowsにログオンするとともにユーザーアカウントに関連付けた利用者でフィルターが自動的にかけられます。

STEP1

 を右クリックし、「設定」をクリックします。



STEP2

「設定」画面が表示されます。左ペインから「アカウント」をクリックします。



STEP3

「家族とその他のユーザー」をクリックします。



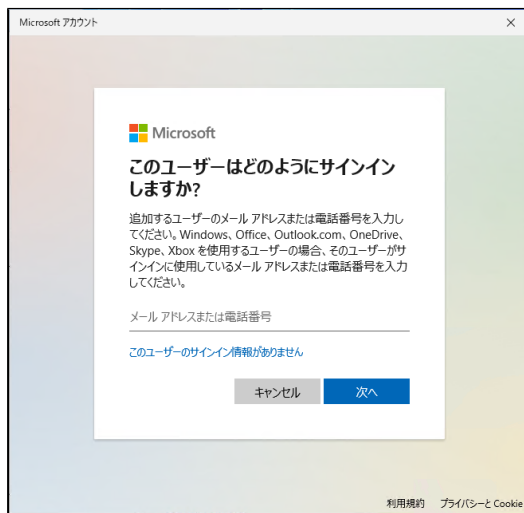
STEP4

「他のユーザー」から「アカウントの追加」をクリックします。



STEP5

「Microsoftアカウント」画面が表示されます。指示に従い、ユーザーアカウントを作成してください。

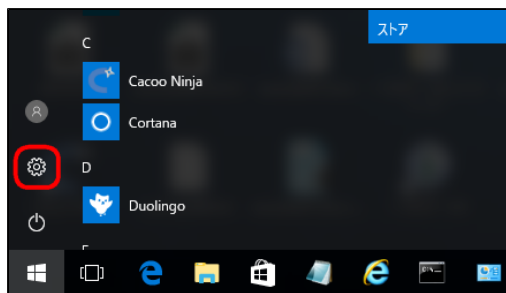


■ Windowsのユーザーアカウントを作る (Windows 10の場合)

Windows 10の場合のユーザーアカウントを作る方法を説明します。「i-フィルター」の利用者とWindowsのユーザーアカウントを関連付けることで、Windowsにログオンするとともにユーザーアカウントに関連付けられた利用者が自動的にかけられます。

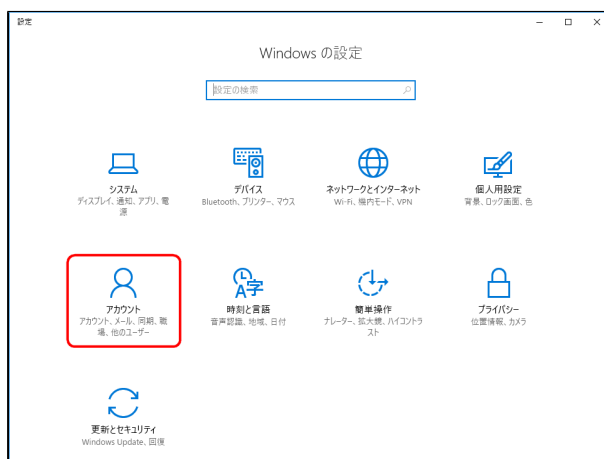
STEP1

スタートメニューの「設定」をクリックします。



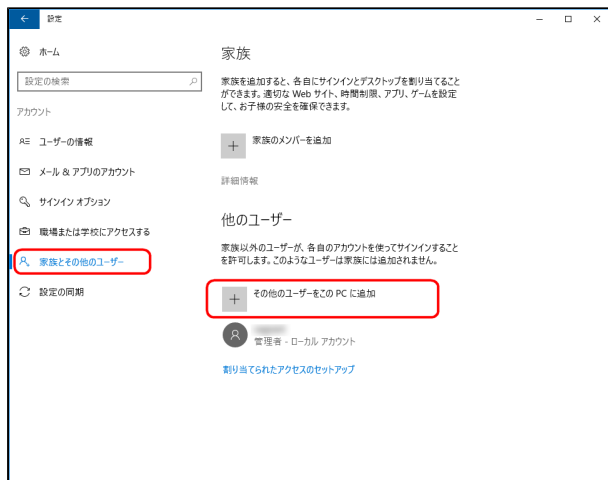
STEP2

設定メニューが表示されます。「アカウント」アイコンをクリックします。



STEP3

「家族とその他のユーザー」を選択し、「その他のユーザーをこのPCに追加」をクリックします。ユーザー登録画面が表示されるので、指示に従い、ユーザーアカウントを作成してください。



■ Windowsのユーザーアカウントを作る (Windows 8.1の場合)

Windows 8.1の場合のユーザーアカウントを作る方法を説明します。「i-フィルター」の利用者とWindowsのユーザーアカウントを関連付けることで、Windowsにログオンするとともにユーザーアカウントに関連付けた利用者でフィルターが自動的にかかります。

STEP1

画面左下の[スタートチップ]をクリックします。



次に『スタート』画面が表示されるので、画面左下の をクリックします。表示された『アプリ』一覧画面の中から[コントロールパネル]をクリックします。

STEP2

『コントロールパネル』画面が表示されます。[アカウントの種類と変更] をクリックします。



+ 補足

- 上記画面と異なる画面が表示された場合、画面右上にある [表示方法] から「カテゴリ」を選択してください。

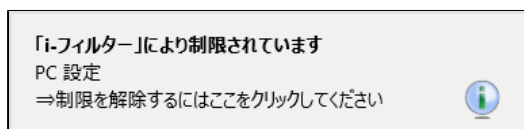
STEP3

[PC設定で新しいユーザーを追加] をクリックします。



STEP4

「i-フィルター」をインストールしている場合、以下のメッセージが表示されます。メッセージをクリックし、「i-フィルター」の管理パスワードを入力することでPC設定の制限が解除されます。



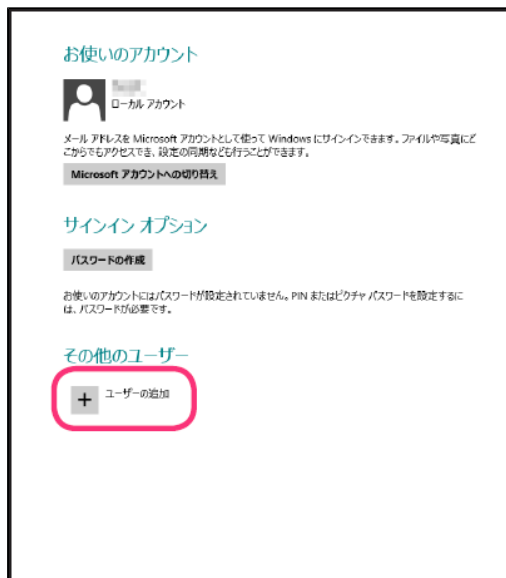
STEP5

パスワードの入力が確認されると、以下のメッセージが表示されます。再度、[PC設定で新しいユーザーを追加] をクリックします。



STEP6

PC設定の画面が開きます。その他のユーザーより [ユーザーの追加] をクリックし、Windowsのユーザーアカウントを追加します。



+ 補足

- Windowsのユーザーアカウントには2種類あります。セキュリティ向上のため、「i-フィルター」の利用者と関連付けるユーザーアカウントは標準ユーザー（または制限ユーザー）に設定することをお勧めします。

3-1-2 新しい利用者を追加する

複数の人でフィルターを使い分けるには、新しい利用者を追加します。利用者は6人まで追加できます。後から利用者の情報を変えたり、削除することもできます。

注意

- この操作は「i-フィルター」の管理画面で行ってください。詳しくは【2-2-2 「i-フィルター」から管理画面を開く】をご覧ください。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。



STEP2

『フィルタリング設定』画面で、[利用者の追加・編集・削除] ボタンをクリックします。



STEP3

『利用者の編集』画面が開きます。未設定の利用者枠にマウスポインターを移動し、[新規利用者を作成] ボタンをクリックします。



STEP4

利用者の情報を設定し [設定保存] ボタンをクリックします。



設定項目	設定内容
アイコン	利用者の目印となるアイコンを選びます。 ※12種類から選べます。
名前	利用者の名前を入力します。 ※他の利用者とは異なる名前を入力してください。 ※全角半角を問わず、20文字以内で入力してください。
生年月日 (西暦)	利用者の生年月日を選びます。
関連付けるOSアカウント	Windowsのユーザーアカウントと「i-フィルター」の利用者を関連付けるときに設定します。 [▼]をクリックし、関連付けたいWindowsユーザーアカウントを選びます。 Windowsのユーザーアカウントと「i-フィルター」の利用者を関連付けない場合は、「<関連付けを行わない>」を選びます。
PC起動時にこの設定を使用する	チェックマークが付いている利用者の設定で、パソコン起動時にフィルタリングがかかります。

+ 補足

- 利用者の作成を中止するには、画面右上の [×] ボタンをクリックします。

STEP5

確認メッセージが表示されます。 [OK] ボタンをクリックし、新しい利用者を追加します。



+ 補足

- 新しく追加した利用者にはSTEP4で設定した生年月日を元に、最適と考えられるフィルターが自動で適用されます。
- 利用者年齢に応じた推奨設定については【2-2-4 フィルターを設定する】をご覧ください。

3-1-3 利用者情報を変える

利用者の情報を変更することができます。

注意

- この操作は「i-フィルター」をインストールしたパソコンからのみ行うことができます。詳しくは【2-2-2 「i-フィルター」から管理画面を開く】をご覧ください。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『フィルタリング設定』画面で、[利用者の追加・編集・削除] ボタンをクリックします。



STEP3

『利用者情報の編集』画面が開きます。情報を変えたい利用者にはマウスポインターを移動し [編集] ボタンをクリックします。



STEP4

必要に応じて利用者情報を変更し、「設定保存」ボタンをクリックします。確認メッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。




+ 補足

- 利用者情報の内容については【3-1-2 新しい利用者を追加する】のSTEP4をご覧ください。
- 利用者情報の変更を中止するには、画面右上の [x] ボタンをクリックします。

3-1-4 利用者を切り替える

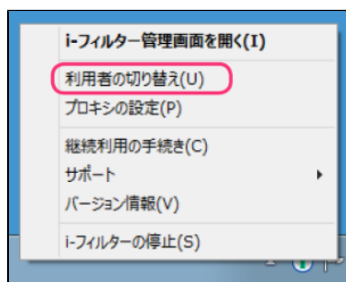
複数の利用者で「i-フィルター」を使っている場合は、利用者を切り替えてフィルターをかけられます。例えば、大人がパソコンでインターネットを使っているときに小学生の子どもに利用させる場合、利用者を子ども用に切り替えることで、Windowsのユーザーアカウントを切り替えなくても子ども用のフィルターをすばやくかけられます。

■ 通知領域（タスクトレイ）のアイコンから利用者を切り替える

通知領域（タスクトレイ）の  から利用者を切り替える方法を説明しています。

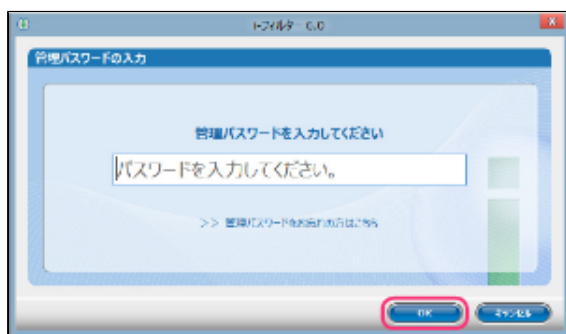
STEP1

通知領域（タスクトレイ）の  をクリックし、「利用者の切り替え」をクリックします。



STEP2

『管理パスワードの入力』画面が開きます。管理パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



+ 補足

- 管理パスワードは、大文字・小文字が区別されます。

STEP3

『利用者の切り替え』画面が開きます。[利用者を選択してください] で [▼] をクリック、「i-フィルター」の利用者を選び、[OK] ボタンをクリックします。



「i-フィルター」の利用者が切り替わります。

3-1-5 起動時の利用者を選ぶ

パソコン起動時の利用者を選びます。パソコン起動時の利用者は『フィルタリング設定』画面で、「PC起動時にこの設定を使う」と表示されます。また利用者のアイコンが緑の背景で表示されます。次回のパソコン起動時には、この利用者の設定でフィルタリングがかかります。

注意

- この操作は「i-フィルター」の管理画面で行ってください。詳しくは【2-2-2 「i-フィルター」から管理画面を開く】をご覧ください。
- Windowsのユーザーアカウントと「i-フィルター」の利用者を関連付けている場合は、この設定は適用されません。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『フィルタリング設定』画面で、[利用者の追加・編集・削除] ボタンをクリックします。



STEP3

『利用者情報の編集』画面が開きます。パソコン起動時に使用する利用者にマウスポインターを移動し [編集] ボタンをクリックします。



STEP4

〔PC起動時にこの設定を使用する〕にチェックマークを付け、〔設定保存〕ボタンをクリックします。



パソコン起動時に使用される利用者アイコンは緑の背景で表示されます。

3-1-6 利用者を削除する

利用者を削除できます。ただし、「i-フィルター」に初期設定で登録されている「家族みんな」（名前は変更られます）は削除できません。

注意

- 利用者を削除する操作は「i-フィルター」をインストールしたパソコンからのみ行うことができます。詳しくは【2-2-2 「i-フィルター」から管理画面を開く】をご覧ください。
- 一度削除した利用者を元にもどすことはできません。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で、〔フィルタリング設定〕ボタンをクリックします。

STEP2

『フィルタリング設定』画面で、〔利用者の追加・編集・削除〕ボタンをクリックします。



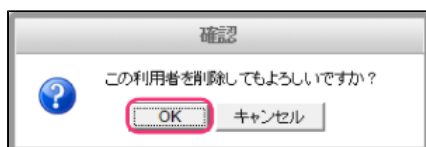
STEP3

『利用者情報の編集』画面が開きます。削除したい利用者にマウスポインターを移動し [削除] ボタンをクリックします。



STEP4

以下のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。



利用者が削除されます。

+ 補足

- 現在フィルターを適用している利用者を削除すると初期設定の「家族みんな」のフィルタリング設定が適用されます。
- 「PC起動時にこの設定を使用する」に設定されている利用者を削除すると初期設定の「家族みんな」が「PC起動時にこの設定を使う」に関連付けられます。

3-2 フィルタリング設定のいろいろ

フィルタリング設定はさまざまな方法があります。フィルタリングの方法について説明します。フィルタリングの方法は、大きく分けて7つあります。各方法の複数の機能を併用することで、さらに高い精度のフィルター環境を得られます。環境やご家庭のポリシーに応じたフィルタリング方法をお使いください。

[1] サイトをブロックする方法

○ フィルター強度

カテゴリによって見せたくないサイトをブロックできます。フィルター強度の設定を選ぶことで、利用者の年齢に応じたカテゴリに該当するページがブロックされます。詳しくは【2-2-4 フィルターを設定する】、【3-3 フィルターの強度を設定する】をご覧ください。

○ 見せたくないサイト

見せたくないサイトをブロックします。個別のサイト（URL）を登録し、ご自身の「見せたくないサイト」（URL）登録リストを作ることができます。詳しくは【3-5 見せたくないサイトの設定をする】をご覧ください。

○ ページスキャン

「i-フィルター」のフィルターデータに登録されていないサイトを独自のフィルタリングエンジンでチェックします。詳しくは【3-8-7 サイトの内容を自動的に判断する（ページスキャン）】をご覧ください。

○ 単語フィルター

指定したサイト内に、あらかじめ登録した単語があった場合、当該サイトをブロックしたり、当該単語を伏字にすることができます。詳しくは、【3-8-3 禁止単語を設定する（単語フィルター）】をご覧ください。

○ PICSフィルター

PICSとは、ウェブサイトを作った人が自分のコンテンツに付与した自主規制信号（PICSラベル）を元に、受信者がアクセスするかどうかを選べるという機能です。PICSフィルターを使った場合は、アクセス先のサイトにPICSラベルがあるかどうかを読み取って、PICSラベルがあるサイトをブロックします。詳しくは【3-8-10 自主規制信号のあるサイトを見せたくない（PICSフィルター）】をご覧ください。

○ 検索結果フィルター

検索サイトで検索した結果に、ブロック対象サイトを表示させないようにします。詳しくは【3-8-7 見せたくないサイトを検索結果に表示させない（検索結果フィルター）】をご覧ください。

○ セーフサーチ連動

セーフサーチ機能に対応した検索エンジンの成人向けコンテンツ表示制限機能と連動して検索結果の表示を制限できます。詳しくは【3-8-6 検索結果に成人向けコンテンツを表示させない（セーフサーチ連動）】をご覧ください。

[2] 表示を許可する方法

○ 見せて良いサイト

個別のサイト（URL）を「見せて良いサイト」（URL）登録リストに登録することで「i-フィルター」のデータベースでブロックされていても、表示するようになります。詳しくは【3-4 見せて良いサイトの設定をする】をご覧ください。

○ フィルターOFF

閲覧の制限なくすべてのサイトを見ることができます。ただし、インターネットタイマー、アプリケーション制御、個人情報保護機能は有効にできます。詳しくは【3-3-4 個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する】をご覧ください。

○ フィルター除外設定

指定した条件に合致した通信をすべてフィルタリング対象外とします。フィルタリング対象外と判定された通信のアクセス履歴は記録されません。IPアドレス、ポート番号、プロセスを条件として指定できます。

[3] 情報発信をブロックする方法

○ 個人情報の保護

氏名や住所、クレジットカード番号などをあらかじめ登録しておく、掲示板や送信フォームから個人情報を送信しようとしたときに送信をブロックします。詳しくは【3-8-2 個人情報を保護する（個人情報保護）】をご覧ください。

○ 書き込みの禁止

掲示板やブログ、SNSやチャットなどから、トラブルが起こったり、個人情報が漏れたりすることもあります。コミュニケーションカテゴリ（Webメール、ホスティングを除く）に属するサイトでの情報発信を禁止することができます。詳しくは【3-3-2 掲示板・ブログへの書き込みを禁止する】をご覧ください。

○ オンラインショッピング/オークションでの購入を禁止

おさまが通販サイトやオンラインゲームサイトなどで、保護者のクレジットカードを使った買い物をするといたトラブルも相次いで報告されています。ショッピングカテゴリや金融・経済カテゴリ（投資情報、不動産を除く）に属するサイトでの購入操作を禁止することができます。詳しくは【3-3-3 オンラインショッピング/オークションでの購入を禁止する】をご覧ください。

[4] 表示を制限する方法

○ ホワイトリスト

サイト（URL）を登録することで、登録したサイトだけを表示させるホワイトリスト形式のフィルタリングを行います。ホワイトリストを有効にすると、フィルター強度設定、見せて良いサイト、見せたくないサイト、ダウンロード禁止、検索結果フィルター、単語フィルター、ページスキャン、PICSフィルターは無効になり、登録したサイト以外のサイトはブロックされます。詳しくは【3-8-8 登録したサイトだけを見せる（ホワイトリスト）】をご覧ください。

[5] インターネットの利用を時間で制限する方法

○ インターネットの利用時間帯/制限時間（インターネットタイマー）

インターネットの利用できる時間を設定できます。曜日と時間を指定してインターネットの利用時間帯を禁止する時間帯、許可する時間帯に設定できます。また、1日の制限時間を設定することもできます。詳しくは【3-6 インターネットの利用時間を制限する（インターネットタイマー）】をご覧ください。

[6] ファイルのダウンロードを禁止する方法

○ ダウンロード禁止

ファイルの拡張子を登録して、該当するファイルのダウンロードを禁止することができます。詳しくは【3-8-5 ファイルをダウンロードさせない（ダウンロード禁止）】をご覧ください。

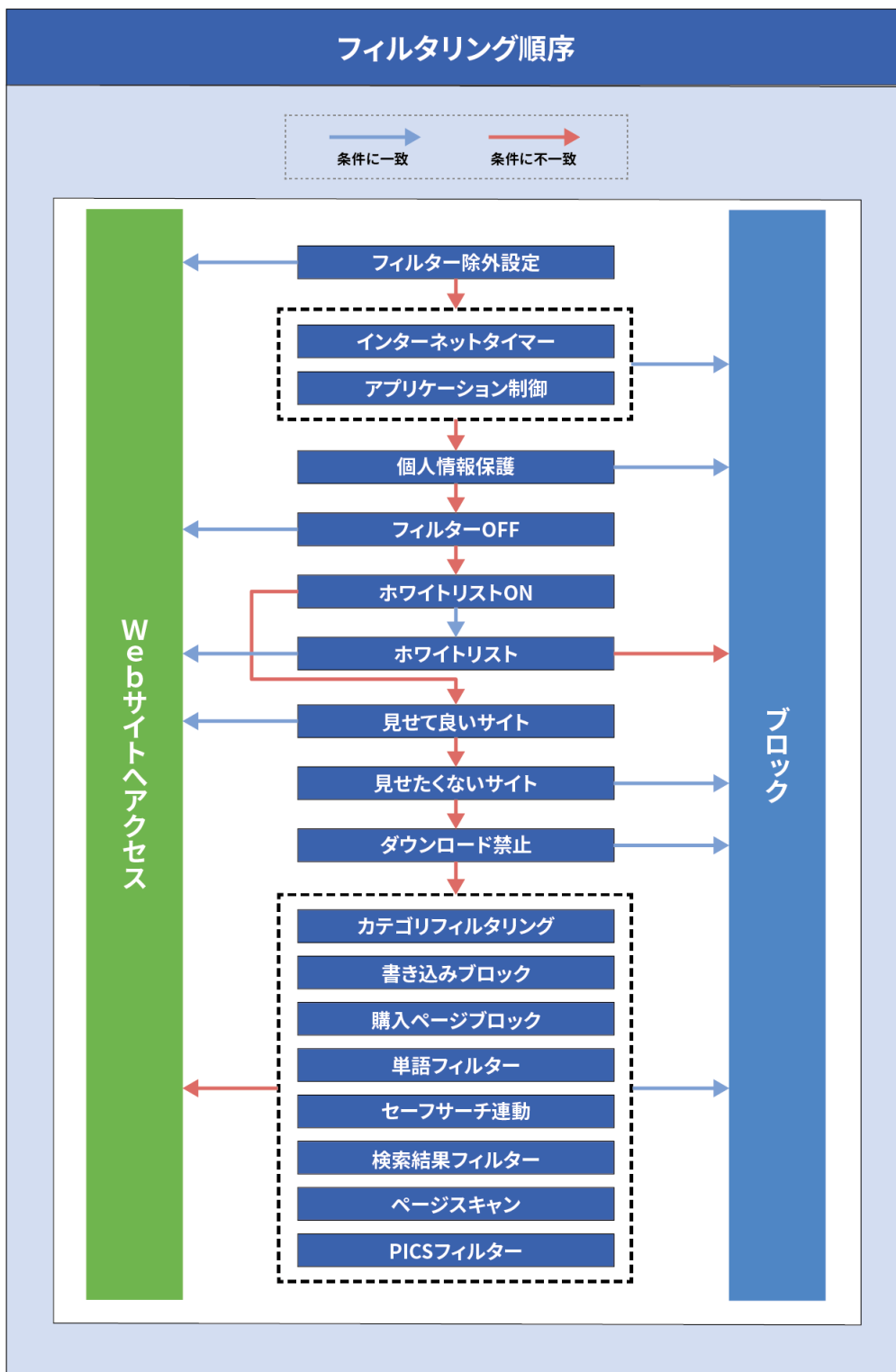
[7] アプリケーションの利用を制限する方法

○ アプリケーション制御

アプリケーションのプロセス名を登録して、該当するアプリケーションの起動や利用時間を制限することができます。詳しくは【3-7 アプリケーションの利用を制限する（アプリケーション制御）】をご覧ください。

3-2-1 フィルタリング順序について

フィルタリング順序は下図のようになっています。



+ 補足

- カテゴリフィルタリング（データベースによるカテゴリ判定）とホワイトリストを併用することはできません。

3-3 フィルターの強度を設定する

サイトをブロックするためのフィルター強度（カテゴリ）の設定方法を説明します。

3-3-1 フィルタリングカテゴリの設定をする

フィルタリングカテゴリの設定方法を説明します。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『フィルタリング設定』画面で、フィルター強度を変更したい利用者をクリックし [フィルター強度設定] ボタンをクリックします。





STEP3

『フィルター強度設定』画面が開きます。[フィルター設定] ボタン（利用者の年齢に応じた推奨設定）から設定したい強度のボタンをクリックし、[設定保存] ボタンをクリックします。カテゴリリストのブロックしたいカテゴリにチェックマークを付けて、カテゴリごとにブロックする設定もできます。



+ 補足

- [フィルター設定ボタン] のフィルター強度については【2-2-4 フィルターを設定する】をご覧ください。
- カテゴリの内容については【8-1 フィルターのカテゴリ一覧】をご覧ください。
- [フィルターOFF] ボタンをクリックすると、フィルターをかけずにインターネットをお使いいただけます。詳しくは【3-3-4 個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する】をご覧ください。
- [書き込みブロック] で  を表示させると、掲示板やブログなどで情報を発信させないように設定できます。詳しくは【3-3-2 掲示板・ブログへの書き込みを禁止する】をご覧ください。
- [購入ページブロック] で  を表示させると、オンラインショッピングやオークションなどで購入させないように設定できます。詳しくは【3-3-3 オンラインショッピング/オークションでの購入を禁止する】をご覧ください。
- [設定保存] ボタンをクリックせずに [もどる] ボタンをクリックすると、操作した設定は保存されません。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

3-3-2 掲示板・ブログへの書き込みを禁止する

掲示板・ブログ・SNS・チャットなど、コミュニケーションカテゴリに属するサイト（Webメール、ホスティングを除く）で、情報の発信をブロックすることができます。

STEP1



管理画面の『トップページ』画面で [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『フィルタリング設定』画面で書き込みを禁止する利用者をクリックし [フィルター強度設定] ボタンをクリックします。





STEP3

『フィルター強度設定』画面が開きます。[書き込みブロック] の  をクリックし、 を表示させ、[設定保存] ボタンをクリックします。



+ 補足

- 書き込みブロックを無効にしたい場合は [書き込みブロック] の  をクリックし、 を表示させ、[設定保存] ボタンをクリックします。
- フィルター強度の設定について、詳しくは【3-3 フィルターの強度を設定する】をご覧ください。
- [フィルター-OFF] ボタンをクリックすると、フィルターをかけずにインターネットをお使いいただけます。詳しくは【3-3-4 個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する】をご覧ください。
- [設定保存] ボタンをクリックせずに [もどる] ボタンをクリックすると、操作した設定は保存されません。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

3-3-3 オンラインショッピング/オークションでの購入を禁止する

ショッピングカテゴリ、または金融・経済カテゴリ（投資情報・不動産を除く）に該当するサイトでの購入操作をブロックすることができます。

STEP1



管理画面の『トップページ』画面で [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『フィルタリング設定』画面で、オンラインショッピング/オークションでの購入を禁止する利用者をクリックして [フィルター強度設定] ボタンをクリックします。





STEP3

『フィルター強度設定』画面が開きます。[購入ページブロック] の  をクリックし、 を表示させ [設定保存] ボタンをクリックします。



+ 補足

- 購入ページブロックを無効にしたい場合は [購入ページブロック] の  をクリックし、 を表示させ、[設定保存] ボタンをクリックします。
- フィルター強度の設定について、詳しくは【3-3 フィルターの強度を設定する】をご覧ください。
- [フィルター-OFF] ボタンをクリックすると、フィルターをかけずにインターネットをお使いいただけます。詳しくは【3-3-4 個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する】をご覧ください。
- [設定保存] ボタンをクリックせずに [もどる] ボタンをクリックすると、操作した設定は保存されません。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

3-3-4 個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する

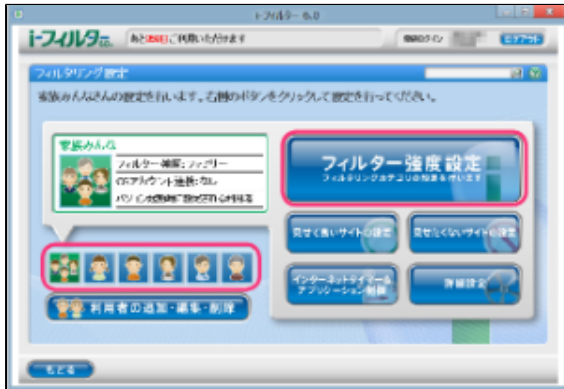
利用者を選んで、すべてのサイトを見られるよう許可できます。フィルターOFFの設定にした場合もインターネットタイマー、アプリケーション制御、個人情報保護、ブロック解除、ブロック解除申請は有効にできます。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『フィルタリング設定』画面で、すべてのサイトを見ることを許可する利用者をクリックし [フィルター強度設定] ボタンをクリックします。



STEP3

『フィルター強度設定』画面が開きます。 [フィルターOFF] ボタンをクリックし [設定保存] ボタンをクリックします。



+ 補足

- インターネットタイマーについては【3-6 インターネットの利用時間を制限する（インターネットタイマー）】をご覧ください。
- アプリケーション制御については【3-7 アプリケーションの利用を制限する（アプリケーション制御）】をご覧ください。
- 個人情報保護については【3-8-2 個人情報を保護する（個人情報保護）】をご覧ください。
- [設定保存] ボタンをクリックせずに [もどる] ボタンをクリックすると、操作した設定は保存されません。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

3-4 見せて良いサイトの設定をする

ブロックされたサイトを見せて良いサイトとして、表示することができます。「見せて良いサイト」（URL）登録リスト作成、見せて良いサイト機能の有効/無効は利用者ごとに設定ができます。

+ 補足

- 「フィルター除外設定」とは異なり、指定したサイトへの通信は、アクセス履歴に記録されます。ただし、「フィルター除外設定」へ指定した条件と一致する場合、「見せて良いサイトの設定」へ指定したサイトへの通信についても、アクセス履歴に記録されません。「フィルター除外設定」について詳しくは【3-8-11 フィルタリング対象から除外する（フィルター除外設定）】をご覧ください。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

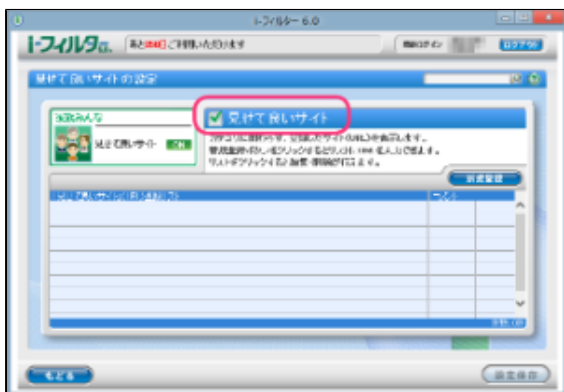
STEP2

『フィルタリング設定』画面で見せて良いサイト機能を有効にする利用者をクリックし [見せて良いサイトの設定] ボタンをクリックします。



STEP3

『見せて良いサイトの設定』画面が開きます。[見せて良いサイト] にチェックマークを付け [設定保存] ボタンをクリックします。画面左上に **ON** と表示され、見せて良いサイト機能が有効になります。



+ 補足

- 見せて良いサイト機能を無効にしたい場合は、[見せて良いサイト] のチェックマークをはずし [設定保存] をクリックします。画面左上に **OFF** と表示され、見せて良いサイト機能が無効になります。
- 「見せて良いサイト」（URL）登録リストに見せて良いサイトのURLを登録できます。詳しくは【3-4-1 見せて良いサイトのURLを登録する】をご覧ください。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

3-4-1 見せて良いサイトのURLを登録する

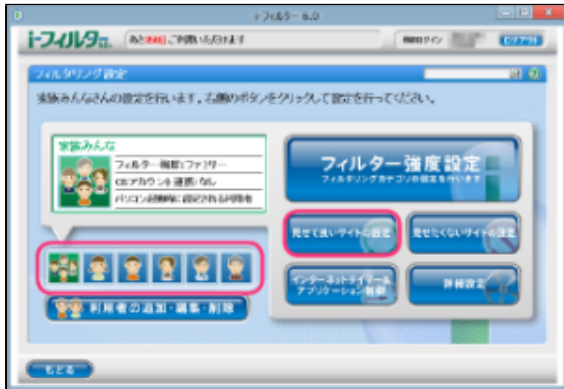
「見せて良いサイト」（URL）登録リストにURLを登録する手順を説明しています。「見せて良いサイト」（URL）登録リストには、1件につき半角英数記号4文字以上500文字以下、利用者1名につき100件までのURLが登録できます。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

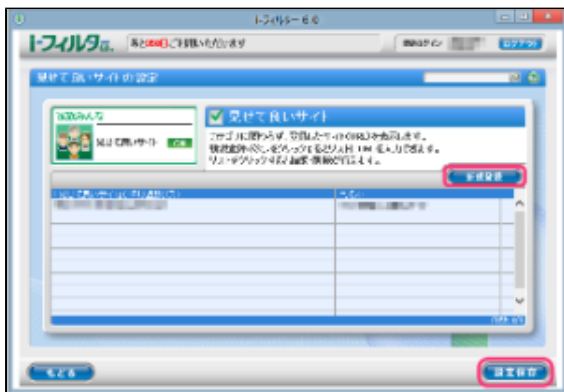
STEP2

『フィルタリング設定』画面で、見せて良いサイトのURLを登録したい利用者をクリックし [見せて良いサイトの設定] ボタンをクリックします。



STEP3

『見せて良いサイトの設定』画面が開きます。[新規登録] ボタンをクリックし、「見せて良いサイト」（URL）登録リストに見せて良いサイトのURLを入力し [設定保存] ボタンをクリックします。



注意

- 見せて良いサイトに登録したURLと部分的に一致するURLを持つサイトはすべて表示されます。例えば「www.daj」と登録すると、<http://www.daj.jp/cs>や<http://www.daj.co.jp/>といったサイトは表示されます。
 - 見せて良いサイトとして「http」を登録すると、すべてのサイトが表示されます。これはすべてのサイトのURLで「http」を含むためです。
 - 以下の場合、「https」で始まるサイトは、性質上ホスト名しか参照することができません。URLのホスト名の部分のみを入力してください。例えば<https://www.daj.jp/cs>の場合、「www.daj.jp」と入力します。
 - インストールしている「i-フィルター」のバージョンが「6.00.46」以下の場合
 - インストールしている「i-フィルター」のバージョンが「6.00.47」以上で「HTTPSデコード」が無効な場合
 - ※ 「HTTPSデコード」が無効な場合とは、以下の状態のことです。
 - 「HTTPSデコード」がOFFの場合
 - 「HTTPSデコード」がONで対象のサイトのドメインを「HTTPSデコード除外ドメイン」に登録している場合
- 「HTTPSデコード」について詳しくは【3-8-1 HTTPS通信の内容を復号化する（HTTPSデコード）】をご覧ください。

+ 補足

- 1件のURLは、4文字以上500文字以下の半角英数記号で入力してください。
- 「?」、「*」をワイルドカードとして使うことはできません。
- 「見せて良いサイト」登録（URL）リストには全角、半角問わず32文字以下のコメントを入力することができます。

STEP4

続けて登録する場合、STEP3を繰り返します。



+ 補足

- 「見せて良いサイト」（URL）登録リストには利用者1名につき100件までの見せて良いサイトを登録できます。
- 「見せて良いサイト」（URL）登録リストのURLをクリックすると、URLを書き換えることができます。
- [設定保存] ボタンをクリックせずに [もどる] ボタンをクリックすると、追加入力したURLは保存されずに削除されます。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

3-4-2 見せて良いサイトのURLを削除する

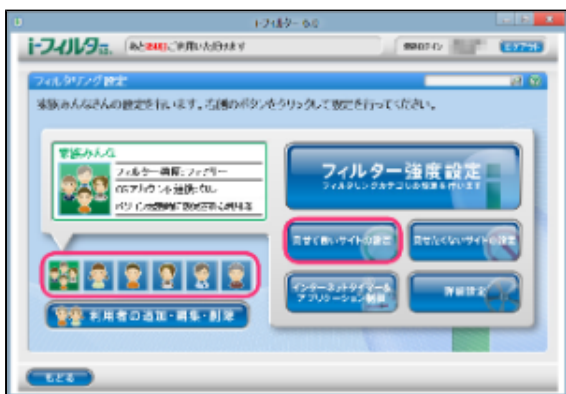
「見せて良いサイト」（URL）登録リストから、URLを削除する手順を説明します。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

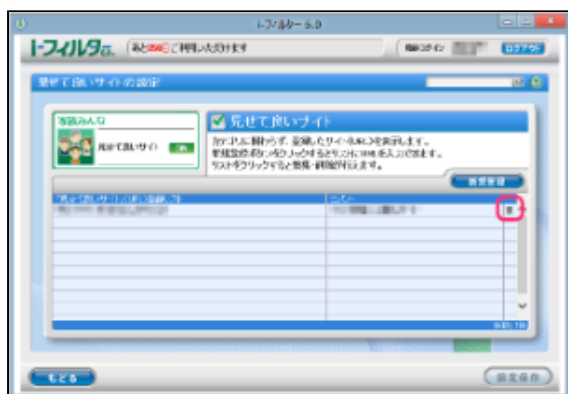
STEP2

『フィルタリング設定』画面で、見せて良いサイトのURLを削除したい利用者をクリックし [見せて良いサイトの設定] ボタンをクリックします。



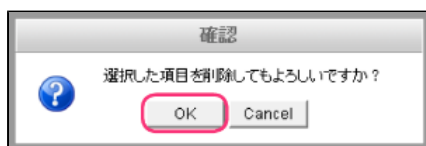
STEP3

『見せて良いサイトの設定』画面が開きます。「見せて良いサイト」(URL)登録リストから削除したいURLのボタンをクリックします。



STEP4

以下のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。



STEP5

続けて削除する場合、STEP3、4を繰り返し [設定保存] ボタンをクリックします。



+ 補足

- [設定保存] ボタンをクリックせずに [もどる] ボタンをクリックすると、削除操作したURLは削除されずに保存されたままとなります。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

3-5 見せたくないサイトの設定をする

個別にブロックしたいサイトを見せたくないサイトとしてブロックすることができます。「見せたくないサイト」(URL)登録リスト作成、見せたくないサイト機能の有効/無効は利用者ごとに設定ができます。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『フィルタリング設定』画面で、見せたくないサイトを有効にする利用者をクリックし [見せたくないサイトの設定] ボタンをクリックします。



STEP3

『見せたくないサイトの設定』画面が開きます。[見せたくないサイト] にチェックマークを付けて [設定保存] ボタンをクリックします。画面左上に **ON** と表示され、見せたくないサイト機能が有効になります。



+ 補足

- 見せたくないサイト機能を無効にしたい場合は、[見せたくないサイト] のチェックマークをはずして [設定保存] ボタンをクリックします。画面左上に **OFF** と表示され、見せたくないサイト機能が無効になります。
- 「見せたくないサイト」(URL) 登録リストに見せたくないサイトのURLを登録できます。詳しくは【3-5-1 見せたくないサイトのURLを登録する】をご覧ください。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

3-5-1 見せたくないサイトのURLを登録する

「見せたくないサイト」（URL）登録リストにURLを登録する手順を説明します。「見せたくないサイト」（URL）登録リストには、1件につき半角英数記号4文字以上500文字以下、利用者1名につき100件までのURLが登録できます。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

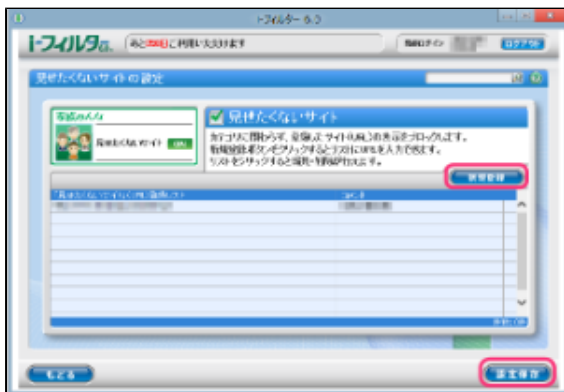
STEP2

『フィルタリング設定』画面で見せたくないサイトのURLを登録したい利用者をクリックし [見せたくないサイトの設定] ボタンをクリックします。



STEP3

『見せたくないサイトの設定』画面が開きます。[新規登録] ボタンをクリックし「見せたくないサイト」（URL）登録リストに見せたくないサイトのURLを入力し [設定保存] ボタンをクリックします。



⚠ 注意

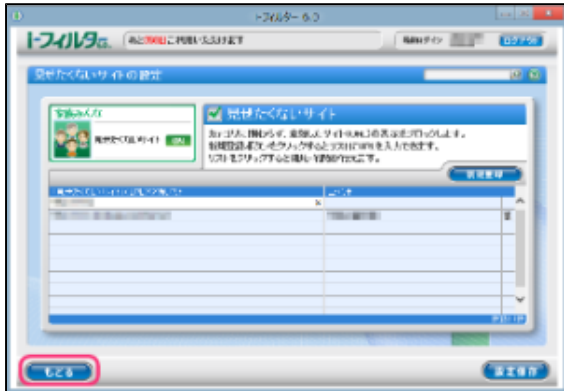
- 見せたくないサイトに登録したURLと部分的に一致するURLを持つサイトはすべてブロックされます。例えば「www.daj」と登録すると、<http://www.daj.jp/cs>や<http://www.daj.co.jp/>といったサイトはブロックされます。
 - 見せたくないサイトとして「http」を登録すると、すべてのサイトが表示されなくなります。これはすべてのサイトのURLで「http」を含むためです。
 - 以下の場合、「https」で始まるサイトは、性質上ホスト名しか参照することができません。URLのホスト名の部分のみを入力してください。例えば<https://www.daj.jp/cs>の場合、「www.daj.jp」と入力します。
 - インストールしている「i-フィルター」のバージョンが「6.00.46」以下の場合
 - インストールしている「i-フィルター」のバージョンが「6.00.47」以上で「HTTPSデコード」が無効な場合
 - ※ 「HTTPSデコード」が無効な場合とは、以下の状態のことです。
 - 「HTTPSデコード」がOFFの場合
 - 「HTTPSデコード」がONで対象のサイトのドメインを「HTTPSデコード除外ドメイン」に登録している場合
- 「HTTPSデコード」について詳しくは【3-8-1 HTTPS通信の内容を復号化する（HTTPSデコード）】をご覧ください。

+ 補足

- 1件のURLは、4文字以上500文字以下の半角英数記号で入力してください。
- 「?」、「*」をワイルドカードとして使うことはできません。
- 「見せたくないサイト」(URL)登録リストには全角半角問わず32文字以下でコメントを入力することができます。

STEP4

続けて登録する場合、STEP3を繰り返します。



+ 補足

- 「見せたくないサイト」(URL)登録リストには利用者1名につき100件までの見せたくないサイトを登録できます。
- 「見せたくないサイト」(URL)登録リストのURLをクリックすると、URLを書き換えることができます。
- [設定保存] ボタンをクリックせずに [もどる] ボタンをクリックすると、追加入力したURLは保存されません。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

3-5-2 見せたくないサイトのURLを削除する

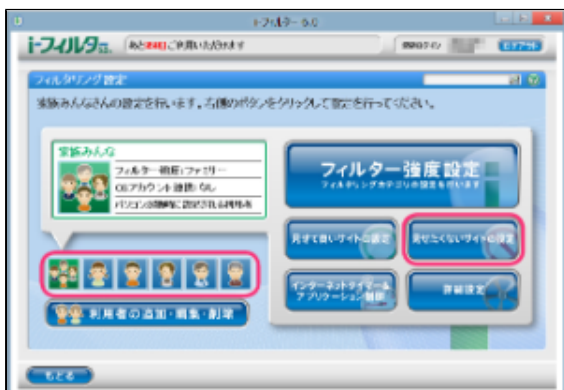
「見せたくないサイト」登録 (URL) リストから、URLを削除する手順を説明します。

STEP1


管理画面の『トップページ』画面で [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

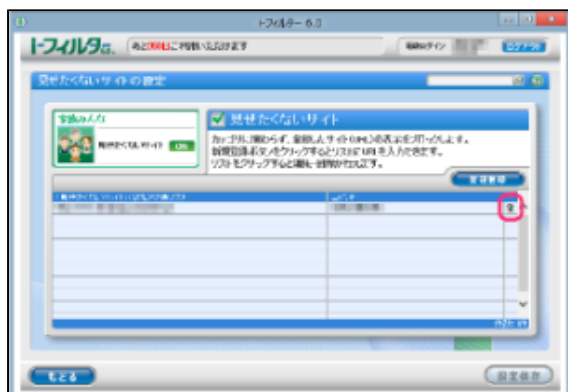
STEP2

『フィルタリング設定』画面で見せたくないサイトのURLを削除したい利用者をクリックし [見せたくないサイトの設定] ボタンをクリックします。



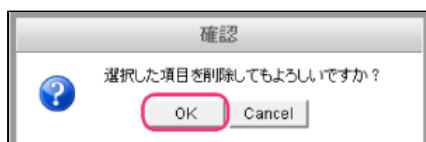
STEP3

『見せたくないサイトの設定』画面が開きます。「見せたくないサイト」（URL）登録リストから削除したいURLの  ボタンをクリックします。



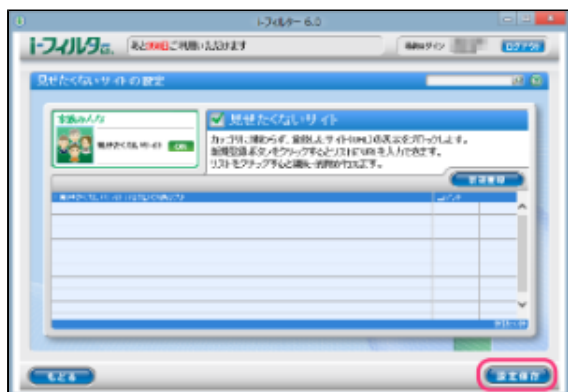
STEP4

以下のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。



STEP5

続けて削除する場合、STEP3、4を繰り返し [設定保存] ボタンをクリックします。

**+ 補足**

- [設定保存] ボタンをクリックせずに [もどる] ボタンをクリックすると、削除操作したURLは削除されず保存されたままとなります。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

3-6 インターネットの利用時間を制限する(インターネットタイマー)

曜日ごとにインターネットの利用時間帯を設定したり、1日に利用可能な時間を設定することができます。この機能を「インターネットタイマー」と呼びます。

注意

- インターネットタイマーの設定内容によってはインターネットに接続できない場合があります。「i-フィルター」を管理する利用者には、インターネットタイマーの設定をしないことをお勧めします。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『フィルタリング設定』画面で、インターネットタイマーを設定する利用者をクリックし [インターネットタイマー&アプリケーション制御] ボタンをクリックします。



STEP3

『タイマー/アプリケーション制御』画面が開きます。[インターネットタイマー] にチェックマークを付け [設定保存] ボタンをクリックします。画面左上に **ON** と表示され、インターネットタイマーが有効になります。



+ 補足

- 『アプリケーション制御』画面が表示されている場合は、[インターネットタイマー] ボタンをクリックします。
- インターネットタイマーを無効にしたい場合は、[インターネットタイマー] のチェックマークをはずし [設定保存] ボタンをクリックします。画面左上に **OFF** と表示され、インターネットタイマーが無効になります。
- [利用時間帯] では、曜日ごとにインターネットの利用時間帯を設定できます。詳しくは【3-6-1 インターネットの利用時間帯を設定する】をご覧ください。
- [制限時間] では、曜日ごとにインターネットの制限時間を設定できます。詳しくは【3-6-2 インターネットの利用制限時間を設定する】をご覧ください。
- [禁止時間帯になった場合、および制限時間を超えた場合は自動的にブラウザを閉じる] にチェックマークを付けると、設定した禁止時間帯または制限時間になると自動的にウェブブラウザが閉じるよう設定できます。このとき、複数のウェブブラウザを起動していると、ウェブブラウザを閉じるメッセージが複数回表示されることがあります。また、自動的にウェブブラウザが閉じるため、「タイマー延長申請」、「ブロック解除申請」、「ブロック解除」がご利用いただけなくなります。各機能については【第5章 「i-フィルター」のブロックを解除する】をご覧ください。
- [禁止時間帯になる5分前、および制限時間終了5分前にメッセージを表示する] にチェックマークを付けると、設定した禁止時間帯または制限時間になる5分前にメッセージが表示されます。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

3-6-1 インターネットの利用時間帯を設定する

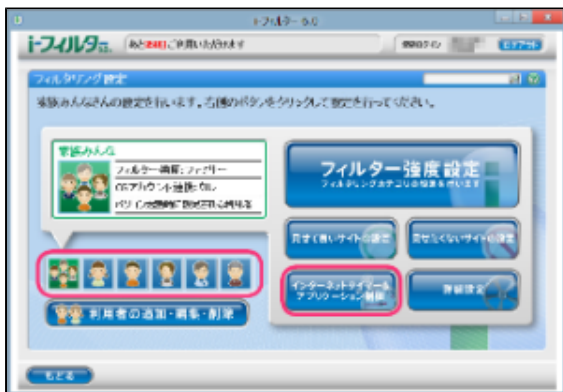
曜日ごとにインターネットの利用時間帯を設定することができます。例えば、0～8時、20～24時までにはインターネットの利用を禁止することで、深夜の利用や過剰利用を防げます。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

STEP2

インターネットタイマーを設定する利用者をクリックして [インターネットタイマー&アプリケーション制御] ボタンをクリックします。



STEP3

[利用時間帯] でインターネットを禁止/許可する時間を設定し、[設定保存] ボタンをクリックします。



+ 補足

- 『アプリケーション制御』画面が表示されている場合は、[インターネットタイマー] ボタンをクリックします。
- [利用時間帯] で時間帯をクリックまたはドラッグすると、[禁止する時間帯] と [許可する時間帯] の設定が切り替わります。ピンク色が禁止する時間帯、白色が許可する時間帯です。
- 禁止/許可する時間帯は、30分単位で設定できます。
- 禁止/許可する時間帯は、曜日ごとに設定できます。
- インターネットアクセスを遮断する場合は、表のすべてをクリックまたはドラッグしてピンク色にし、禁止設定にします。
- [制限時間] では、1日にインターネットを使える時間を制限できます。詳しくは【3-6-2 インターネットの利用制限時間を設定する】をご覧ください。
- [禁止時間帯になった場合、および制限時間を超えた場合は自動的にブラウザを閉じる] にチェックマークを付けると、設定した禁止時間帯または制限時間に自動的にウェブブラウザが閉じるように設定できます。このとき複数ウェブブラウザを起動していると、ウェブブラウザを閉じるメッセージが複数回表示されることがあります。また、自動的にウェブブラウザが閉じるため「タイマー延長申請」、「ブロック解除申請」、「ブロック解除」がご利用いただけなくなります。各機能については【第5章 「i-フィルター」のブロックを解除する】をご覧ください。
- [禁止時間帯になる5分前、および制限時間終了5分前にメッセージを表示する] にチェックマークを付けると、設定した禁止時間帯または制限時間になる5分前にメッセージが表示されます。
- [設定保存] ボタンをクリックせずに [もどる] ボタンをクリックすると、そのとき設定操作した利用時間帯は保存されません。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

3-6-2 インターネットの利用制限時間を設定する

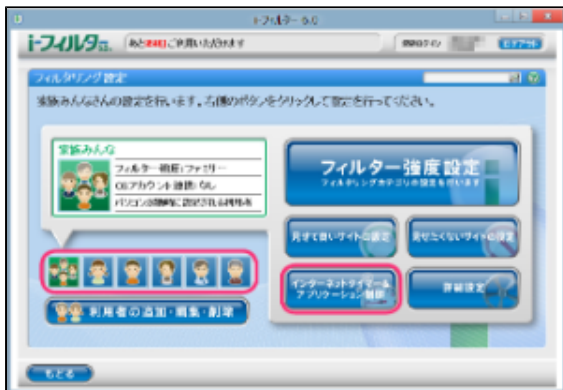
1日にインターネットを使える時間を制限することができます。曜日ごとに設定できるので、平日は1時間、週末は3時間まで、といった柔軟な制限時間を設定できます。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

STEP2

インターネットタイマーを設定する利用者をクリックして [インターネットタイマー&アプリケーション制御] ボタンをクリックします。



STEP3

〔制限時間〕にインターネットを使える時間を設定し、〔設定保存〕ボタンをクリックします。



+ 補足

- 『アプリケーション制御』の他の画面が表示されている場合、〔インターネットタイマー〕ボタンをクリックします。
- 制限時間の単位は分です。〔制限時間〕には、数字を入力してください。
- 〔制限時間〕に「0」を入力すると、インターネットを禁止します。また、「1440」と入力すると、〔制限時間〕による制限がされません（1440分は24時間です）。
- 〔利用時間帯〕では、インターネットの利用時間帯を設定できます。詳しくは【3-6-1 インターネットの利用時間帯を設定する】をご覧ください。
- 〔禁止時間帯になった場合、および制限時間を超えた場合は自動的にブラウザを閉じる〕にチェックマークを付けると、設定した禁止時間帯または制限時間に自動的にウェブブラウザが閉じるように設定できます。このとき、複数ウェブブラウザを起動していると、ウェブブラウザを閉じるメッセージが複数回表示されることがあります。また、自動的にウェブブラウザが閉じるため「タイマー延長申請」、「ブロック解除申請」、「ブロック解除」がご利用いただけなくなります。各機能については【第5章 「i-フィルター」のブロックを解除する】をご覧ください。
- 〔禁止時間帯になる5分前、および制限時間終了5分前にメッセージを表示する〕にチェックマークを付けると、設定した禁止時間帯または制限時間になる5分前にメッセージが表示されます。
- 〔設定保存〕ボタンをクリックせずに〔もどる〕ボタンをクリックすると、設定操作した制限時間は保存されません。
- 〔もどる〕ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

3-7 アプリケーションの利用を制限する（アプリケーション制御）

登録したアプリケーションの利用を制限することができます。この機能を「アプリケーション制御」と呼びます。アプリケーションの利用を禁止するだけでなくインターネットタイマーと連動することで、オンラインゲームなどのアプリケーションの利用に制限時間を設定することもできます。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『フィルタリング設定』画面で、アプリケーション制御を設定する利用者をクリックし [インターネットタイマー&アプリケーション制御] ボタンをクリックします。



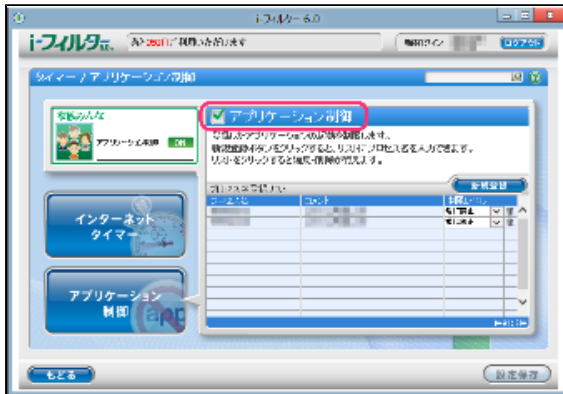
STEP3

『タイマー/アプリケーション制御』画面が開きます。 [アプリケーション制御] ボタンをクリックします。



STEP4

【アプリケーション制御】にチェックマークを付けて【設定保存】ボタンをクリックします。画面左上に **ON** と表示されて、アプリケーション制御が有効になります。



+ 補足

- アプリケーション制御を無効にしたい場合は、【アプリケーション制御】のチェックマークをはずし【設定保存】ボタンをクリックします。画面左上に **OFF** と表示され、アプリケーション制御が無効になります。
- プロセス名登録リストにアプリケーションのプロセス名を登録できます。詳しくは【3-7-1 起動を禁止するアプリケーションのプロセス名を登録する】をご覧ください。
- 【もどる】ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

3-7-1 起動を禁止するアプリケーションのプロセス名を登録する

プロセス名リストに起動を禁止するアプリケーションのプロセス名を登録する手順を説明します。プロセス名リストには1件につき全角半角問わず2文字以上100文字以下、利用者1名につき100件までのアプリケーションのプロセス名を登録できます。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で、【フィルタリング設定】ボタンをクリックします。

STEP2

『フィルタリング設定』画面で、起動を禁止するアプリケーションのプロセス名を登録する利用者をクリックし【インターネットタイマー&アプリケーション制御】ボタンをクリックします。



STEP3

『タイマー/アプリケーション制御』画面が開きます。[アプリケーション制御] ボタンをクリックします。



STEP4

【新規登録】をクリックし、プロセス名リストに起動を禁止するアプリケーションのプロセス名を入力します。



+ 補足

- アプリケーションのプロセス名は、1件につき全角半角問わず2文字以上100文字以下で入力してください。
- アプリケーションのプロセス名については本節の【■ アプリケーションのプロセス名を調べる (Windows 10をお使いの場合)】、【■ アプリケーションのプロセス名を調べる (Windows 8.1をお使いの場合)】をご覧ください。
- プロセス名リストには全角半角問わず32文字以下でコメントを入力することができます。

! 注意

- アプリケーション制御は登録されたプロセス名に、完全に一致するアプリケーションの起動を禁止します。

STEP5

【制限レベル】から「常に禁止」または「タイマー連動」を選び、【設定保存】ボタンをクリックします。



+ 補足

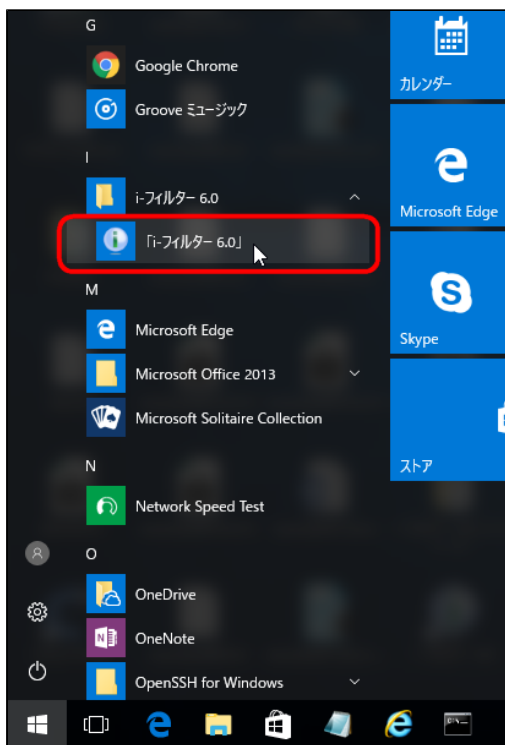
- 「常に禁止」は登録したアプリケーションの起動を常に禁止します。
- 「タイマー連動」はインターネットタイマーでインターネットの利用を禁止した時間帯または制限時間を過ぎた場合に登録したアプリケーションの起動を禁止します。インターネットタイマーの詳細な設定方法は【3-6 インターネットの利用時間を制限する(インターネットタイマー)】をご覧ください。
- プロセス名リストには、利用者1名につき100件までのプロセス名を登録できます。
- プロセス名リストのプロセス名をクリックすると、プロセス名を書き換えることができます。
- [設定保存] ボタンをクリックせずに [もどる] ボタンをクリックすると追加入力したプロセス名は保存されません。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

■ アプリケーションのプロセス名を調べる (Windows 10をお使いの場合)

アプリケーションのプロセス名を調べる方法を説明しています。

STEP1

スタートメニューを開き、[i-フィルター 6.0] > 「i-フィルター 6.0」を開いてクリックします。



STEP2

「スタートメニュー」タブから [アプリ情報表示モードONにする] をクリックします。

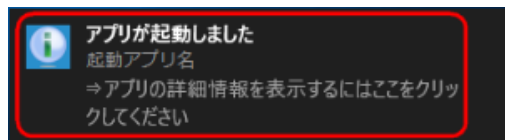


STEP3

起動を禁止したいアプリケーションを起動します。

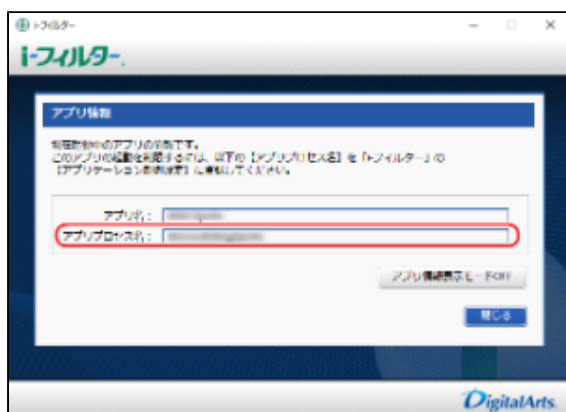
STEP4

画面に表示された通知のメッセージをクリックします。



STEP5

『アプリ情報』画面が表示されます。表示されたアプリプロセス名を登録してください。



■ アプリケーションのプロセス名を調べる (Windows 8.1をお使いの場合)

デスクトップアプリケーション、Windows Store アプリのプロセス名を調べる方法を説明しています。

STEP1

マウスポインターを画面右上に合わせチャームを表示し、「スタート」ボタンをクリックします。



STEP2

『スタート』画面（または『アプリ』一覧画面）から「i-フィルター 6.0」をクリックします。



STEP3

「スタートメニュー」タブから「アプリ情報表示モードONにする」をクリックします。

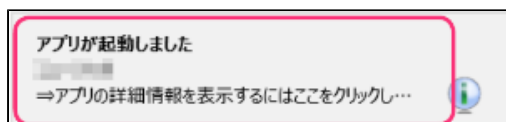


STEP4

起動を禁止したいアプリケーションを起動します。

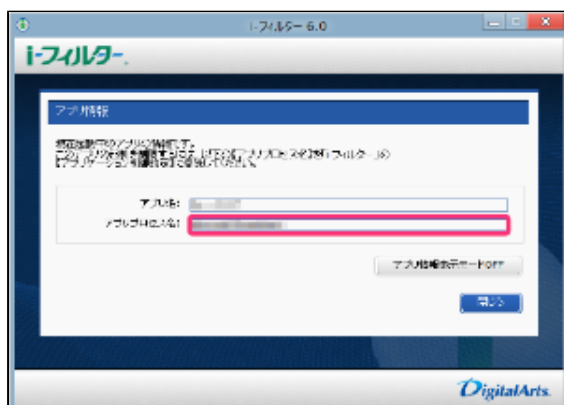
STEP5

画面右上にメッセージが表示されます。メッセージをクリックします。



STEP6

『アプリ情報』画面が表示されます。表示されたアプリプロセス名を登録してください。



 **補足**

- アプリプロセス名の登録については【3-7-1 起動を禁止するアプリケーションのプロセス名を登録する】をご覧ください。
- [アプリ情報表示モードOFF]ボタンをクリックすることで、画面右上に表示されるメッセージがアプリケーション起動時に表示されなくなります。

 **注意**

- アプリケーション制御は登録されたプロセス名に完全に一致するアプリケーションの起動を禁止します。

3-7-2 起動を禁止するアプリケーションのプロセス名を削除する

プロセス名リストから起動を禁止するアプリケーションのプロセス名を削除する手順を説明します。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『フィルタリング設定』画面で、起動を禁止するアプリケーションのプロセス名を削除する利用者をクリックし [インターネットタイマー&アプリケーション制御] ボタンをクリックします。



STEP3

『タイマー/アプリケーション制御』画面が開きます。[アプリケーション制御] ボタンをクリックします。



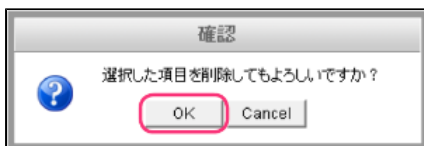
STEP4

プロセス名リストから削除したいプロセス名の  ボタンをクリックします。



STEP5

以下のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。



STEP6

続けて削除する場合、STEP4、5を繰り返し、[設定保存] ボタンをクリックします。



+ 補足

- [設定保存] ボタンをクリックせずに [もどる] ボタンをクリックすると、削除操作したプロセス名は削除されず保存されたままとなります。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

3-8 その他のフィルターを設定する（詳細設定）

その他のフィルターの設定方法を説明します。さまざまなケースに対応できるよう、以下のフィルターを用意しています。

フィルターケース	説明
HTTPS通信の内容を復号化する（HTTPSデコード）	HTTPS通信の内容を復号化することで、HTTPSサイトに対して高精度なフィルタリングを実現します。
個人情報を保護する（個人情報保護）	登録した氏名やパスワード、クレジットカード番号などを発信しないように設定できます。
見せたくない単語を設定する（単語フィルター）	登録した単語を伏字にしたり、単語を含むサイトをブロックするように設定できます。
ブロック画面の設定をする（ブロック画面）	サイトがブロックされたときに表示されるブロック画面を選択、設定できます。また、「i-フィルター」のブロックを一時的に解除するブロック解除、ブロックされたサイトの閲覧を管理者に申請するブロック解除申請の有効/無効を設定できます。
ファイルをダウンロードさせない（ダウンロード禁止）	ファイルの拡張子を登録して、該当するファイルをダウンロードさせないように設定できます。
成人向けコンテンツを検索結果に表示させない（セーフサーチ連動）	セーフサーチ機能に対応した検索エンジンの成人向けコンテンツ表示制限機能と連動して検索結果の表示を制限できます。
見せたくないサイトを検索結果に表示させない（検索結果フィルター）	ブロックされるサイトを検索結果にも表示させないよう設定できます。
登録したサイトだけを見せる（ホワイトリスト）	登録したサイトだけにアクセスすることができる、ホワイトリスト機能について設定できます。
サイトの内容を自動的に判断する（ページスキャン）	フィルターデータに未登録のサイトを内容から判断し、自動的にブロックするように設定できます。
自主規制信号のあるサイトを見せたくない（PICSフィルター）	サイトの作成者が自主的に発信している規制信号を元にブロックするように設定できます。
フィルタリング対象から除外する（フィルター除外設定）	指定した条件によって「i-フィルター」のフィルタリング対象から除外します。

3-8-1 HTTPS通信の内容を復号化する（HTTPSデコード）

HTTPS通信の内容を復号化して「i-フィルター」に通信内容を送信します。復号化することにより、HTTPSサイトに対してもHTTPサイトと同様に高精度なフィルタリングで通信をブロックできます。HTTPSデコード除外ドメインリスト、HTTPSデコードの有効/無効などの設定は、利用者ごとに設定できます。

注意

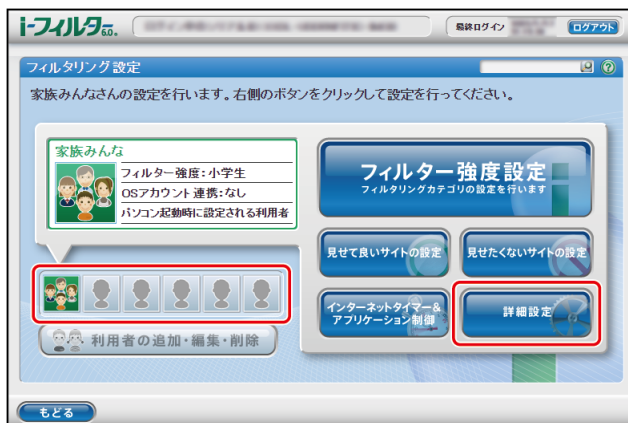
- 本機能は、インストールしている「i-フィルター」のバージョンが「6.00.47」以上の場合に利用できます。
- 本機能が無効またはHTTPSデコード除外対象ドメインの場合、HTTPSサイトへの通信に対して、以下の機能が利用できません。
 - ブロック画面の表示
 - パス以下を利用したフィルタリング
 - 個人情報保護機能
 - ダウンロード禁止機能
 - セーフサーチ連動
 - 単語フィルター
 - ページスキャンフィルター
 - PICSフィルター

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

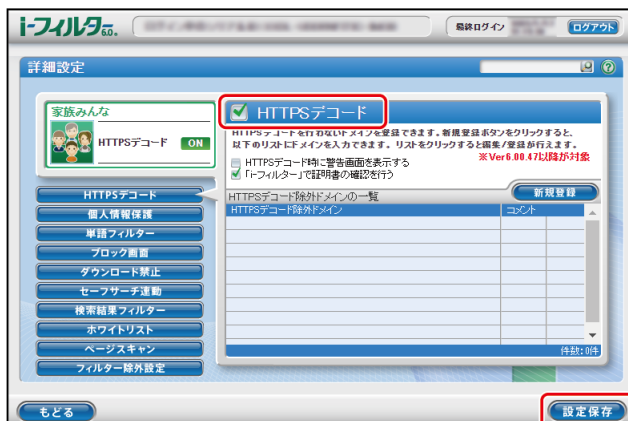
STEP2

『フィルタリング設定』画面で、HTTPSデコードを設定する利用者をクリックし [詳細設定] ボタンをクリックします。



STEP3

『詳細設定』画面が開きます。[HTTPSデコード] にチェックマークを付けて [設定保存] ボタンをクリックします。画面左上に **ON** と表示され、HTTPSデコードが有効になります。



+ 補足

- 『詳細設定』画面の他の画面が表示されている場合は、[HTTPSデコード] ボタンをクリックします。
- HTTPSデコードを無効にしたい場合は、[HTTPSデコード] のチェックマークをはずして[設定保存] ボタンをクリックします。画面左上に **OFF** と表示され、HTTPSデコードが無効になります。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

○ HTTPSデコード時に警告画面を表示する

HTTPSデコード時に警告画面を表示する手順を説明します。

HTTPSデコード機能を使用すると、利用者がHTTPSサイトにアクセスする際に以下のような警告画面を表示できます。



[同意する] ボタンをクリックすると、「i-フィルター」がHTTPSデコード処理を行うことを承諾した上でHTTPSサイトにアクセスできるようになります。

+ 補足

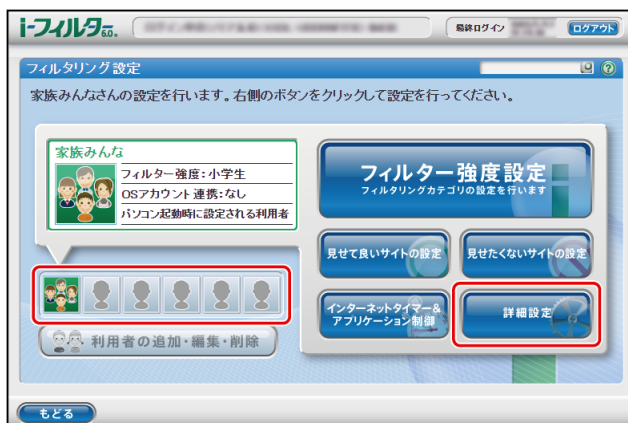
- 本設定は、初期状態では無効になっています。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

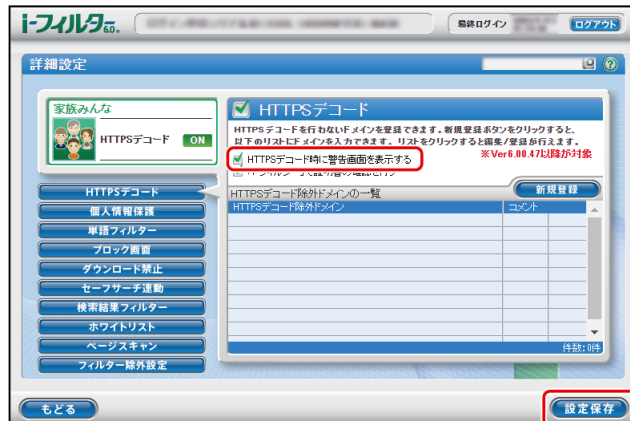
STEP2

『フィルタリング設定』画面で、HTTPSデコード時に警告画面を表示したい利用者をクリックし [詳細設定] ボタンをクリックします。



STEP3

『詳細設定』画面が開きます。[HTTPSデコード時に警告画面を表示する] にチェックマークを付けて [設定保存] ボタンをクリックします。

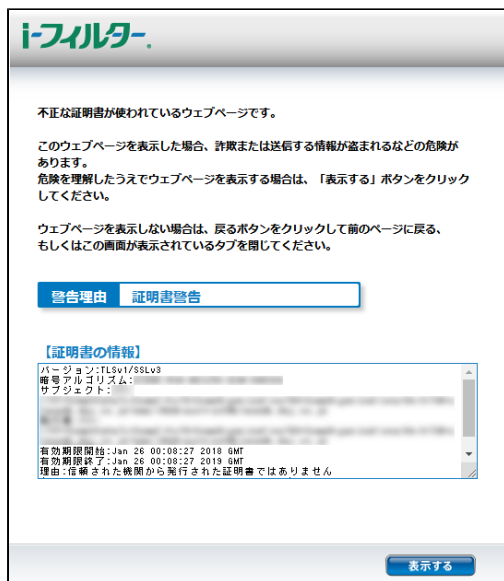


+ 補足

- 『詳細設定』画面の他の画面が表示されている場合は、[HTTPSデコード] ボタンをクリックします。
- [設定保存] ボタンをクリックせずに [もどる] ボタンをクリックすると、操作した内容は保存されません。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

○ 「i-フィルター」で証明書の確認を行う

「i-フィルター」による証明書確認の手順を説明します。利用者がHTTPSサイトにアクセスした際に、「i-フィルター」がWebサーバー証明書の確認を行うかどうかを指定します。サーバー証明書が不正である場合、以下のエラー画面が表示されます。



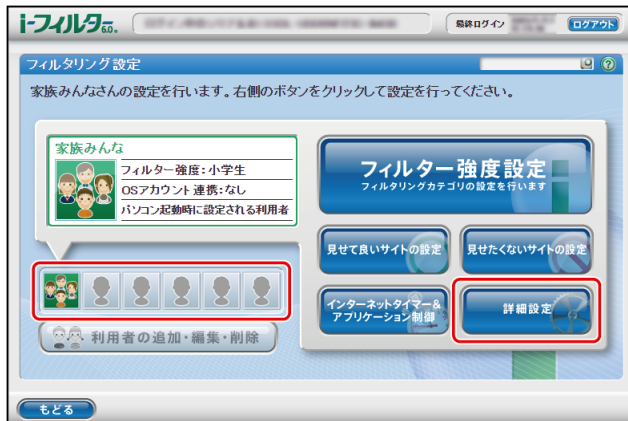
サーバー証明書が不正である場合でも [表示する] ボタンをクリックすると対象のWebサイトを閲覧できます。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

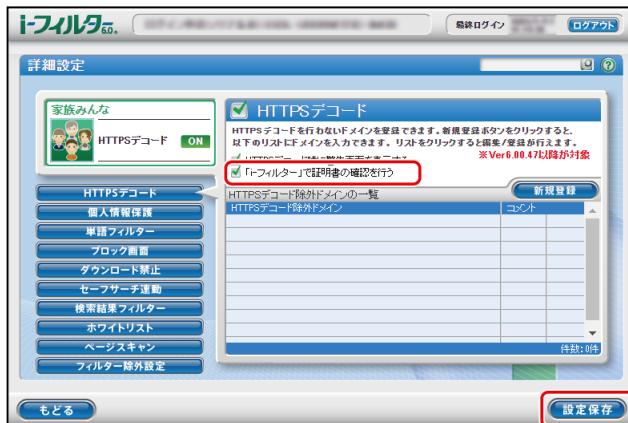
STEP2

『フィルタリング設定』画面で「i-フィルター」による証明書確認をしたい利用者をクリックし [詳細設定] ボタンをクリックします。



STEP3

[「i-フィルター」で証明書の確認を行う] にチェックマークを付けて [設定保存] ボタンをクリックします。



+ 補足

- 詳細設定で他のページが表示されている場合は [HTTPSデコード] ボタンをクリックします。
- [設定保存] ボタンをクリックせずに [もどる] ボタンをクリックすると、操作した内容は保存されません。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

○ HTTPSデコード除外ドメインを登録する

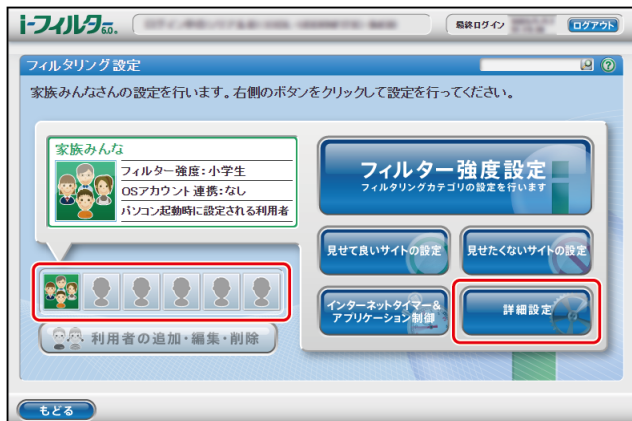
HTTPSデコードしないドメインを登録する手順を説明します。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

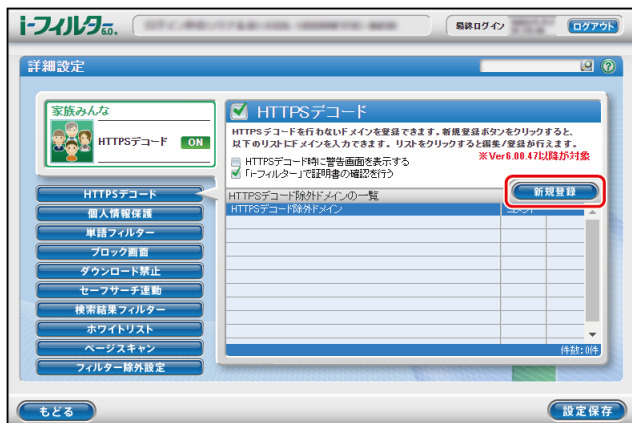
STEP2

『フィルタリング設定』画面で、HTTPSデコード除外ドメインを登録する利用者をクリックし [詳細設定] ボタンをクリックします。



STEP3

『詳細設定』画面が開きます。[新規登録] ボタンをクリックします。

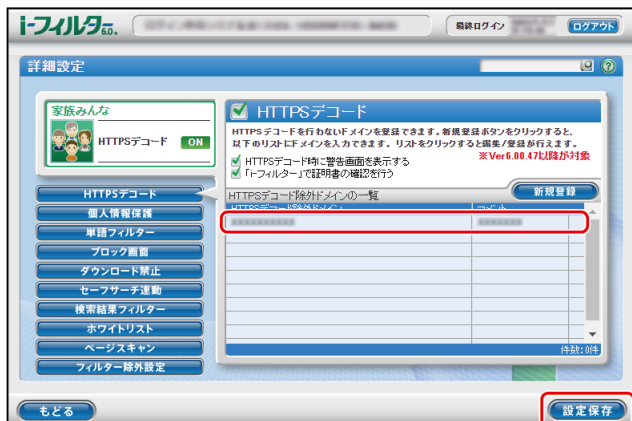


+ 補足

- 『詳細設定』画面の他の画面が表示されている場合は、[HTTPSデコード] ボタンをクリックします。

STEP4

HTTPSデコード除外ドメインの一覧にHTTPSデコードから除外したドメインを入力し [設定保存] ボタンをクリックします。

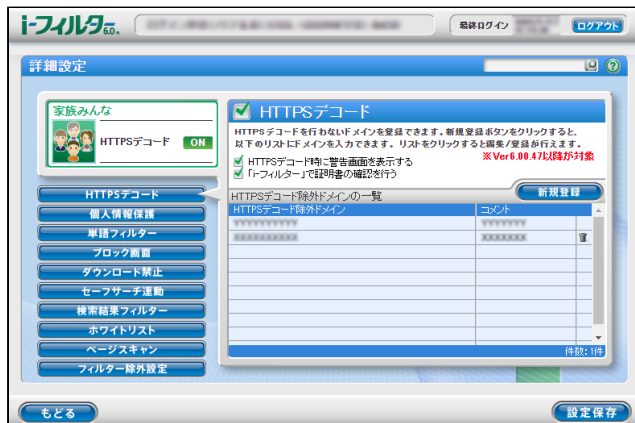


+ 補足

- 「HTTPSデコード除外ドメインの一覧」の [HTTPSデコード除外ドメイン] は、部分一致で判定されます。
- 「HTTPSデコード除外ドメインの一覧」の [HTTPSデコード除外ドメイン] には、半角英数記号4文字以上500文字以下で登録できます。また「?」、「*」をワイルドカードとして使用することはできません。
- 「HTTPSデコード除外ドメインの一覧」の [コメント] には、全角半角問わず32文字以下で入力できます。

STEP5

続けて登録する場合、STEP3、4を繰り返します。



+ 補足

- HTTPSデコード除外ドメインは、利用者1名につき100件まで登録できます。
- HTTPSデコード除外ドメインの一覧の項目をクリックすると、項目を書き換えることができます。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

○ HTTPSデコード除外ドメインを削除する

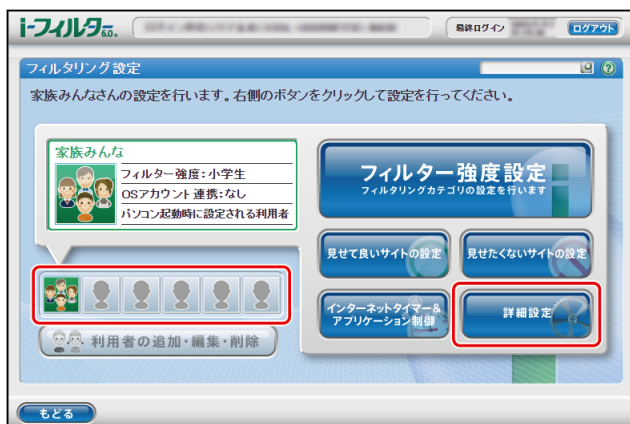
HTTPSデコード除外ドメイン一覧からドメインを削除する手順を説明します。

STEP1


管理画面の『トップページ』画面で、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『フィルタリング設定』画面でHTTPSデコード除外ドメインを削除したい利用者をクリックし [詳細設定] ボタンをクリックします。



STEP3

『詳細設定』画面が開きます。HTTPSデコード除外ドメインの一覧から削除したいドメインの  ボタンをクリックします。

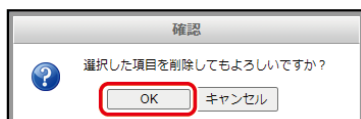


+ 補足

- 詳細設定で他のページが表示されている場合は [HTTPSデコード] ボタンをクリックします。

STEP4

以下のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。



STEP5

続けて削除する場合、STEP3、4を繰り返して「設定保存」ボタンをクリックします。

**+ 補足**

- 「設定保存」ボタンをクリックせずに「もどる」ボタンをクリックすると、削除したドメインは削除されず保存されたままとなります。
- 「もどる」ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

3-8-2 個人情報を保護する（個人情報保護）

氏名やパスワード、クレジットカード番号などの大切な個人情報等がインターネットから漏洩しないように、個人情報等を登録して、該当する情報を発信しないよう設定できます。個人情報等登録リスト、個人情報保護の有効／無効は、利用者ごとに設定できます。

注意

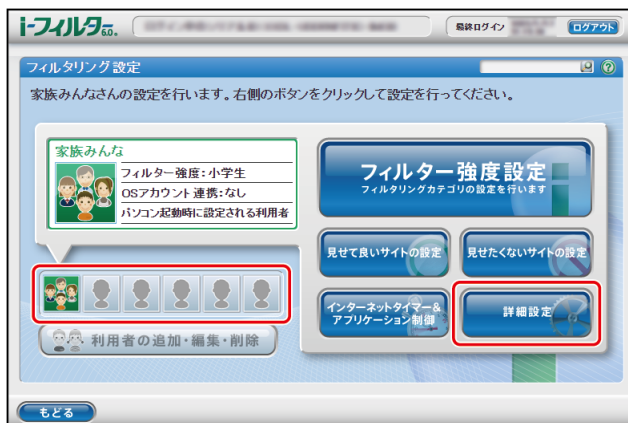
- インストールしている「i-フィルター」のバージョンが「6.00.46」以下の場合、本機能はInternet ExplorerのみHTTPS（SSLの暗号化通信をHTTPに実装したプロトコル）に対応しております。
- インストールしている「i-フィルター」のバージョンが「6.00.47」以上の場合、本機能は「HTTPSデコード」がONかつ「HTTPSデコード除外ドメインの一覧」に登録されていないドメインのみ、HTTPS通信に対応しています。HTTPSデコードの設定について、詳しくは、【3-8-1 HTTPS通信の内容を復号化する（HTTPSデコード）】をご覧ください。
- 個人情報保護機能の対象は送信（POST）データの32KBytesまでです。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『フィルタリング設定』画面で、個人情報を保護する利用者をクリックし [詳細設定] ボタンをクリックします。



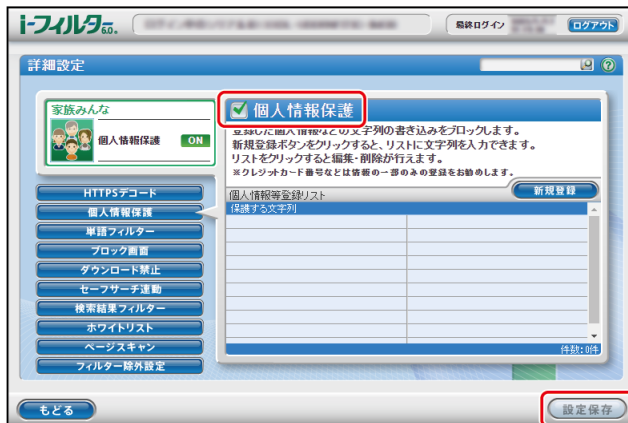
STEP3

『詳細設定』画面が開きます。[個人情報保護] ボタンをクリックします。



STEP4

〔個人情報保護〕にチェックマークを付けて〔設定保存〕ボタンをクリックします。画面左上に **ON** と表示され、個人情報保護が有効になります。



+ 補足

- 個人情報保護を無効にしたい場合は、〔個人情報保護〕のチェックマークをはずして〔設定保存〕ボタンをクリックします。画面左上に **OFF** と表示され、個人情報保護が無効になります。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

○ 保護したい個人情報等を登録する

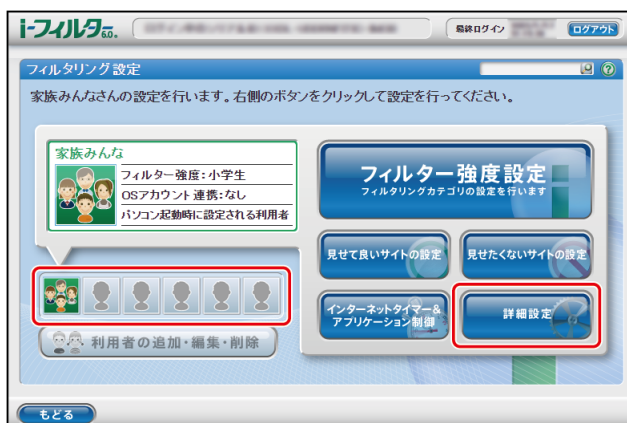
個人情報等登録リストに保護したい情報を登録する手順を説明しています。個人情報等登録リストには1件につき全角半角問わず2文字以上100文字以下、利用者1名につき100件までの個人情報等が登録できます。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で、〔フィルタリング設定〕ボタンをクリックします。

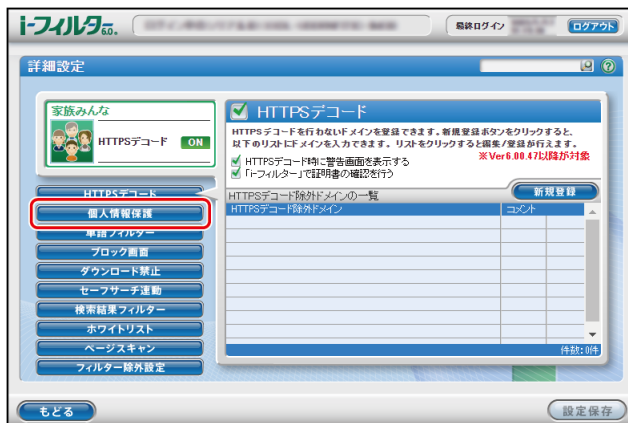
STEP2

『フィルタリング設定』画面で、保護したい個人情報等を登録する利用者をクリックし〔詳細設定〕ボタンをクリックします。



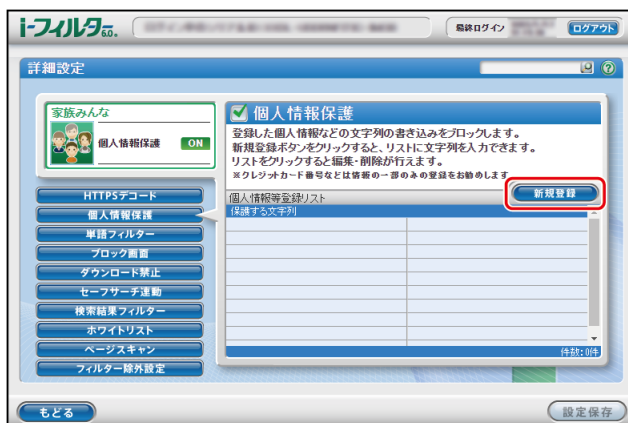
STEP3

『詳細設定』画面が開きます。[個人情報保護] ボタンをクリックします。



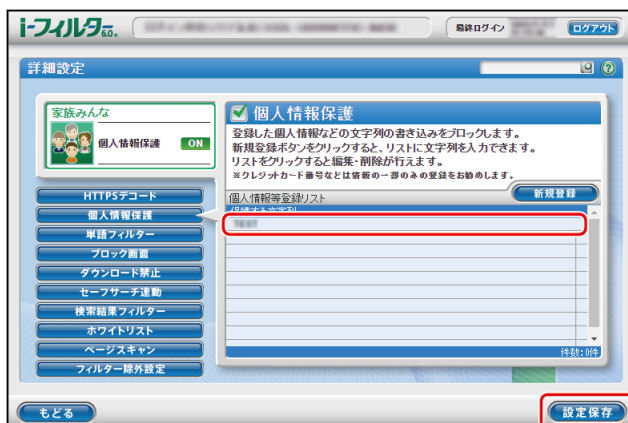
STEP4

[新規登録] ボタンをクリックします。



STEP5

個人情報等登録リストに保護したい個人情報等を入力し [設定保存] ボタンをクリックします。

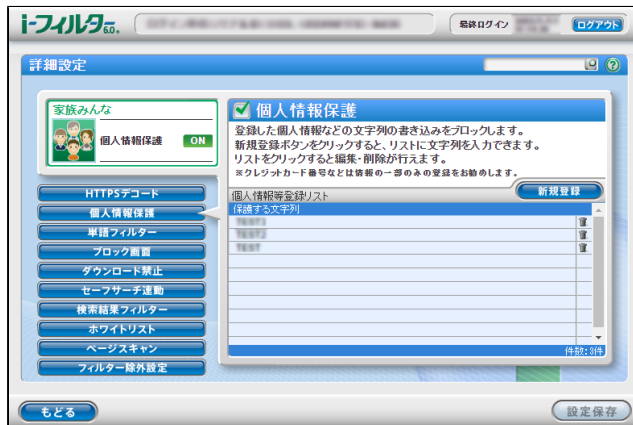


+ 補足

- 個人情報等登録リストには全角半角問わず2文字以上100文字以下の文字列が入力できます。
- 個人情報等登録リストに入力した文字が短すぎると、意図しないページがブロックされることがあります。
- 個人情報等登録リストにクレジットカード番号を入力する場合は、番号のすべてを入力せず、一部のみを入力することを勧めます。より安全にクレジットカード番号を管理することができます。

STEP6

続けて登録する場合、STEP4、5を繰り返します。



+ 補足

- 個人情報等登録リストには、利用者1名につき100件までの個人情報等を登録できます。
- 個人情報等登録リストの個人情報等をクリックすると、個人情報等を書き換えることができます。
- [設定保存] ボタンをクリックせずに [もどる] ボタンをクリックすると、追加入力した個人情報は保存されません。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

○ **保護したい個人情報等を削除する**

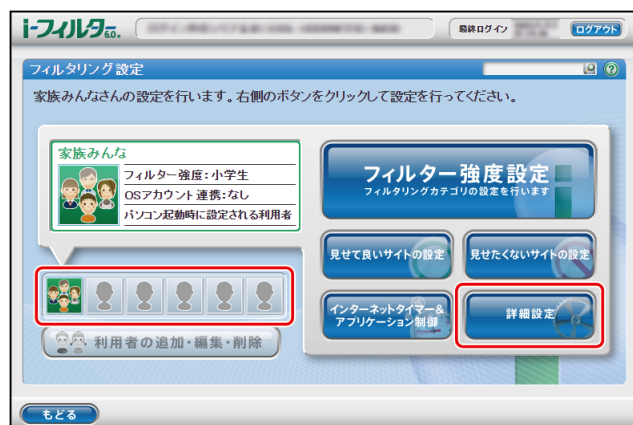
個人情報等登録リストの個人情報等を削除する手順について説明します。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『フィルタリング設定』画面で個人情報等を削除したい利用者をクリックし [詳細設定] ボタンをクリックします。




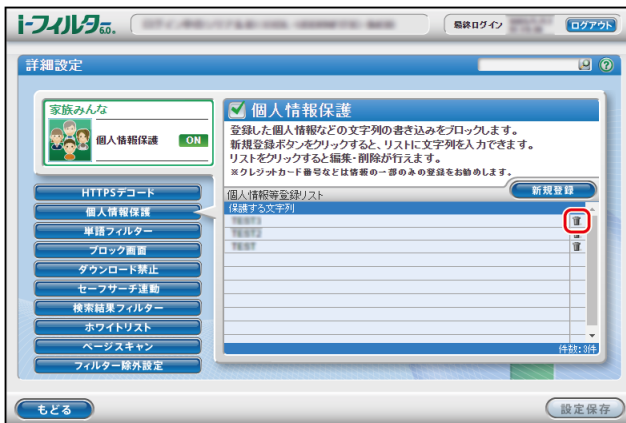
STEP3

『詳細設定』画面が開きます。[個人情報保護] ボタンをクリックします。



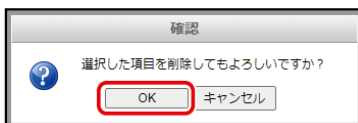
STEP4

個人情報等登録リストから削除したい個人情報等の  ボタンをクリックします。



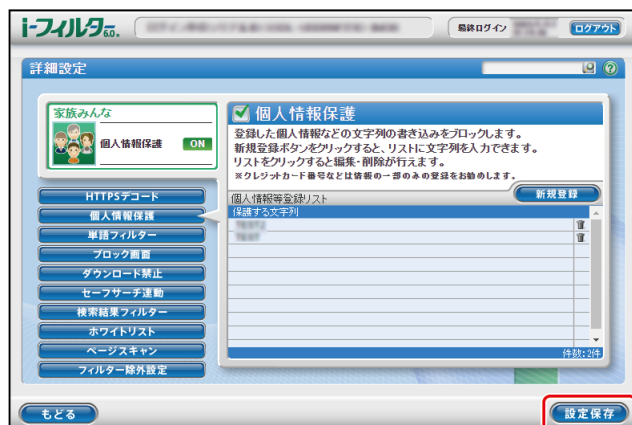
STEP5

以下のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。



STEP6

続けて削除する場合、STEP4、5を繰り返して「設定保存」ボタンをクリックします。



+ 補足

- 「設定保存」ボタンをクリックせずに「もどる」ボタンをクリックすると、削除操作した個人情報等は削除されず保存されたままとなります。
- 「もどる」ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

3-8-3 禁止単語を設定する（単語フィルター）

登録した単語を「***」（伏字）で表示させたり、登録した単語を含むサイトをブロックすることができます。例えば、「ヌード」という単語を指定しておく、「ヌード」という文字が「***」に代わって表示されたり、「ヌード」という文字を含むサイトをブロックすることができます。この機能を「単語フィルター」と呼び、登録した単語を禁止単語と呼びます。禁止単語登録リスト、単語フィルターの有効/無効、伏字にする、ブロックにするといった設定は利用者ごとに設定できます。

+ 補足

- インストールしている「i-フィルター」のバージョンが「6.00.46」以下の場合、本機能は、Internet ExplorerのみHTTPS（SSLの暗号化通信をHTTPに実装したプロトコル）に対応しております。
- インストールしている「i-フィルター」のバージョンが「6.00.47」以上の場合、本機能は「HTTPSデコード」がONかつ「HTTPSデコード除外ドメインの一覧」に登録されていないドメインのみ、HTTPS通信に対応しています。HTTPSデコードの設定について、詳しくは、【3-8-1 HTTPS通信の内容を復号化する（HTTPSデコード）】をご覧ください。

○ 禁止単語を含むサイトをブロックする

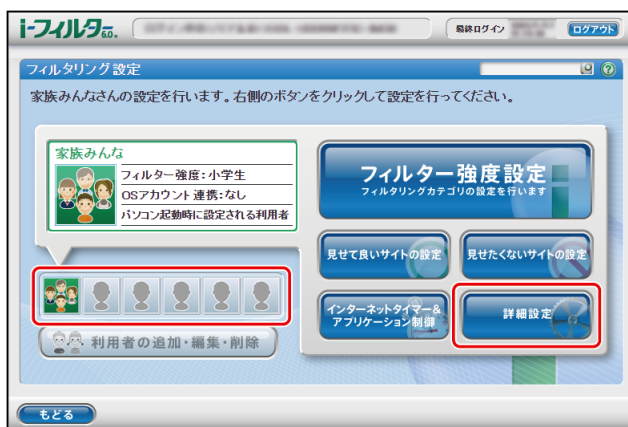
禁止単語を含むサイトをブロックする手順を説明しています。例えば、「ヌード」を禁止単語として登録している場合、「ヌード」という文字を含むサイトがブロックされます。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『フィルタリング設定』画面で、禁止単語を含むサイトをブロックに設定する利用者をクリックし [詳細設定] ボタンをクリックします。



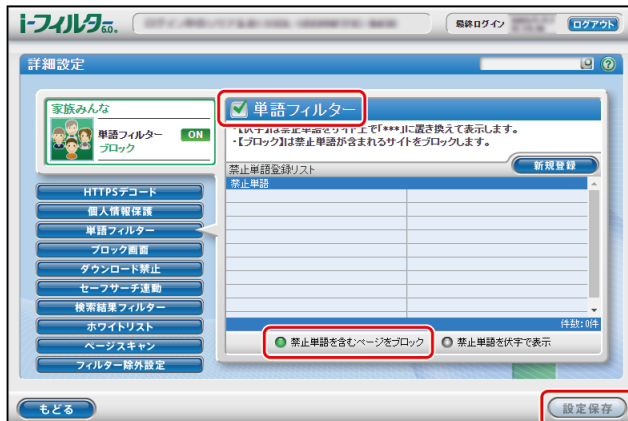
STEP3

『詳細設定』画面が開きます。[単語フィルター] ボタンをクリックします。



STEP4

【単語フィルター】にチェックマークを付けて【禁止単語を含むページをブロック】を選択し【設定保存】ボタンをクリックします。画面左上に **ON** と表示され、単語フィルターが有効になり、禁止単語がブロックされます。



+ 補足

- 単語フィルター機能を無効にしたい場合は、【単語フィルター】のチェックマークをはずして【設定保存】ボタンをクリックします。画面左上に **OFF** と表示され、単語フィルターが無効になります。
- 【禁止単語を伏字で表示】ボタンをクリックすると、禁止単語を「***」（伏字）で表示します。詳しくは本節の【○禁止単語を伏字にする】をご覧ください。
- 【もどる】ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

○ 禁止単語を伏字にする

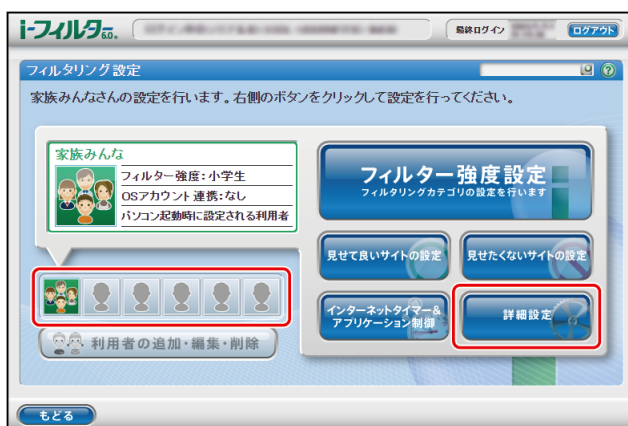
禁止単語を「***」という伏字で表示させる手順を説明しています。例えば「ヌード」という単語を禁止単語として設定している場合、「ヌード」という文字が「***」で表示されます。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で【フィルタリング設定】ボタンをクリックします。

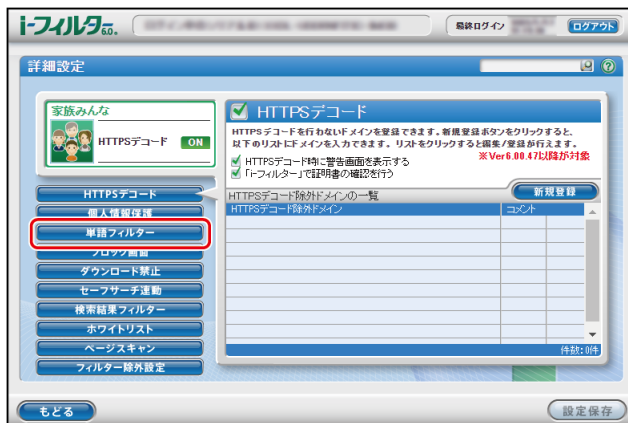
STEP2

『フィルタリング設定』画面で、禁止単語を伏字に設定する利用者をクリックし【詳細設定】ボタンをクリックします。



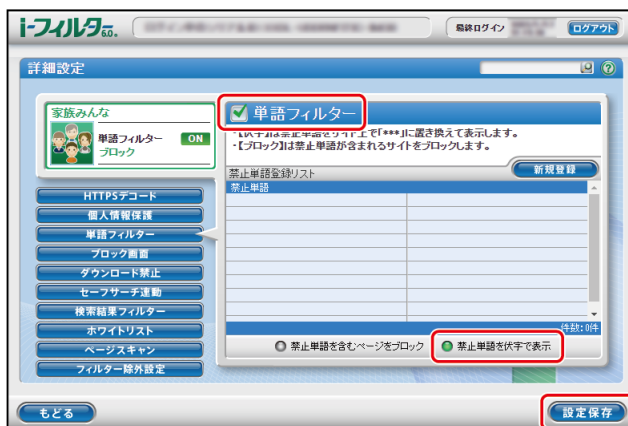
STEP3

『詳細設定』画面が開きます。[単語フィルター] ボタンをクリックします。



STEP4

[単語フィルター] にチェックマークを付けて [禁止単語を伏字で表示] を選択し [設定保存] ボタンをクリックします。画面左上に **ON** が表示され、単語フィルターが有効になり禁止単語が伏字になります。



+ 補足

- 単語フィルターを無効にしたい場合は、[単語フィルター] のチェックマークをはずして [設定保存] ボタンをクリックします。画面左上に **OFF** が表示され、単語フィルターが無効になります。
- [禁止単語を含むページをブロック] ボタンをクリックすると、禁止単語を含むサイトをブロックします。詳しくは【○禁止単語を含むサイトをブロックする】をご覧ください。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

! 注意

- 短すぎる単語を禁止単語に設定すると、ほとんどのサイトがブロックされることがあります。ご注意ください。
- ひらがなや漢字などの全角文字を登録したとき、ブロック対象となるページの文字コードに制限があります。以下の文字コードのみブロックされます。
【日本語 (シフトJIS) / 日本語 (EUC) / Unicode (UTF-8) 】
- ウェブページから単語を検索するときの検索対象は、ウェブページの先頭から80KBytesまでの内容です。

○ 禁止単語を登録する

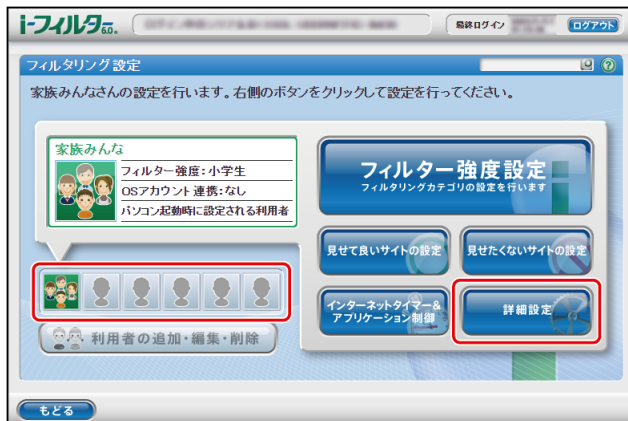
禁止単語登録リストに禁止単語を登録する手順を説明しています。禁止単語登録リストには1件につき全角半角問わず2文字以上100文字以下、利用者1名につき100件までの禁止単語が登録できます。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

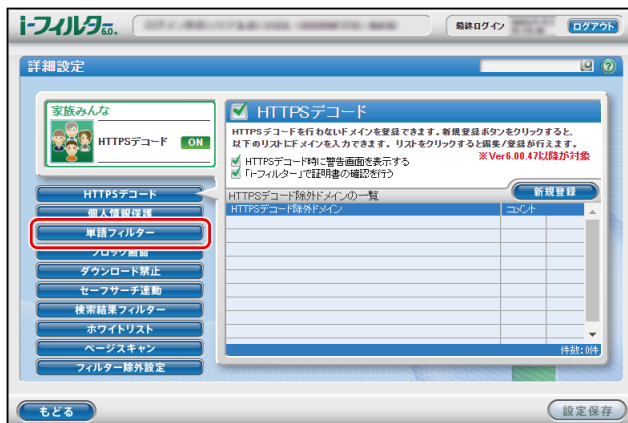
STEP2

『フィルタリング設定』画面で、禁止単語を登録する利用者をクリックし [詳細設定] ボタンをクリックします。



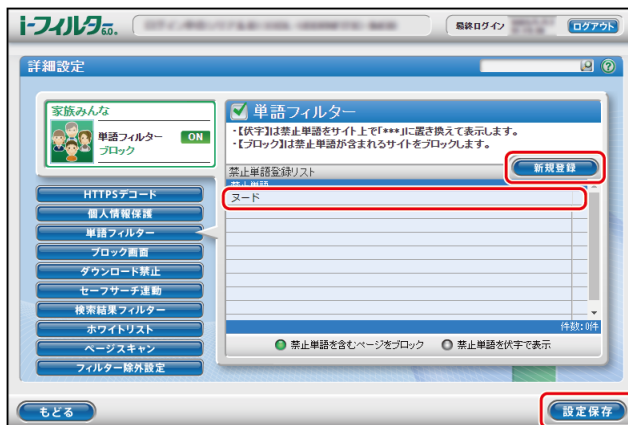
STEP3

『詳細設定』画面が開きます。 [単語フィルター] ボタンをクリックします。



STEP4

[新規登録] ボタンをクリックし、禁止単語登録リストに禁止単語を入力し [設定保存] ボタンをクリックします。



+ 補足

- 禁止単語登録リストには、全角半角問わず2文字以上100文字以下の単語が入力できます。
- 「?」、「*」をワイルドカードとして使うことはできません。
- 禁止単語登録リストの禁止単語をクリックすると、禁止単語を編集することができます。
- 禁止単語登録リストには、利用者1名につき100件まで禁止単語を登録できます。
- [禁止単語を含むページをブロック] を選ぶと、禁止単語を含むサイトをブロックします。詳しくは本節の【○禁止単語を含むサイトをブロックする】をご覧ください。
- [禁止単語を伏字で表示] を選ぶと単語を伏字で表示します。詳しくは本節の【○禁止単語を伏字にする】をご覧ください。
- [設定保存] をクリックせずに [もどる] ボタンをクリックすると、登録操作した単語は保存されません。
- [もどる] ボタンをクリックすると、フィルタリング設定にもどります。

! 注意

- 短すぎる単語を禁止単語に設定すると、ほとんどのサイトがブロックされることがありますので、ご注意ください。
- ひらがなや漢字などの全角文字を登録したとき、ブロック対象となるページの文字コードに制限があります。以下の文字コードのみブロックされます。
【日本語 (シフトJIS) /日本語 (EUC) /Unicode (UTF-8)】
- ウェブページから禁止単語を検索するときの検索対象は、ウェブページの先頭から80KBytesまでの内容です。

○ 禁止単語を削除する

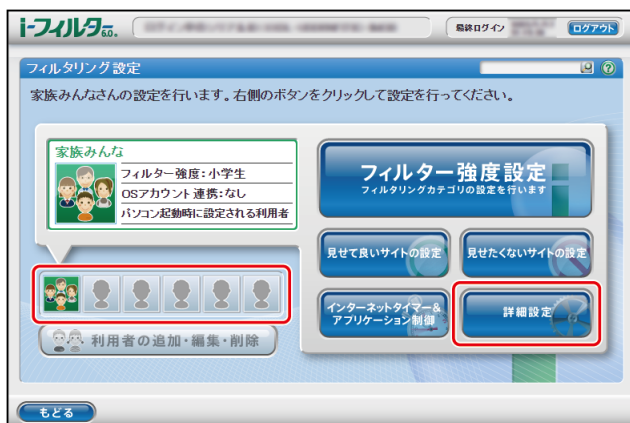
禁止単語登録リストから禁止単語を削除する手順を説明しています。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

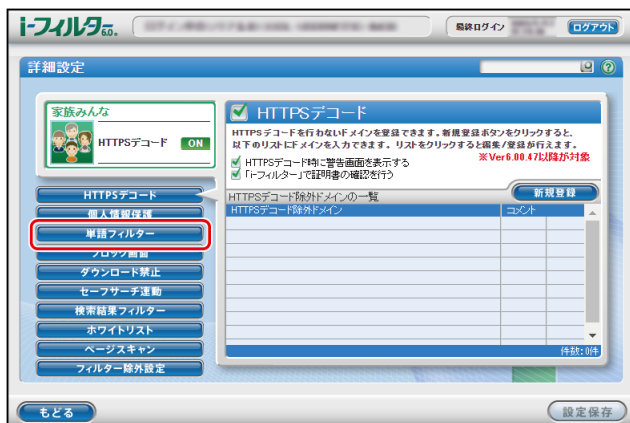
STEP2

『フィルタリング設定』画面で、禁止単語を削除する利用者をクリックし [詳細設定] ボタンをクリックします。




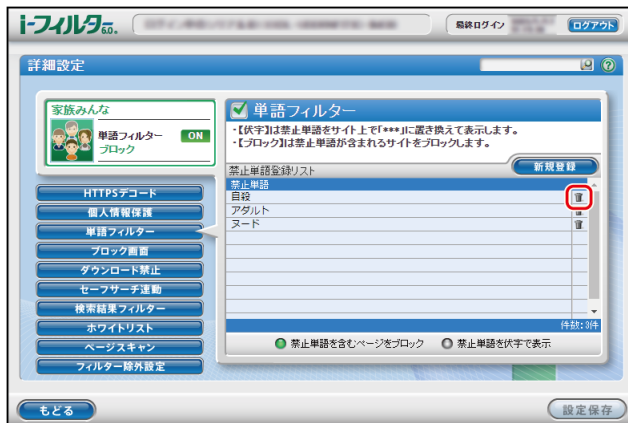
STEP3

『詳細設定』画面が開きます。[単語フィルター] ボタンをクリックします。



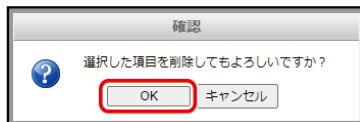
STEP4

禁止単語リストから削除したい禁止単語の  ボタンをクリックします。



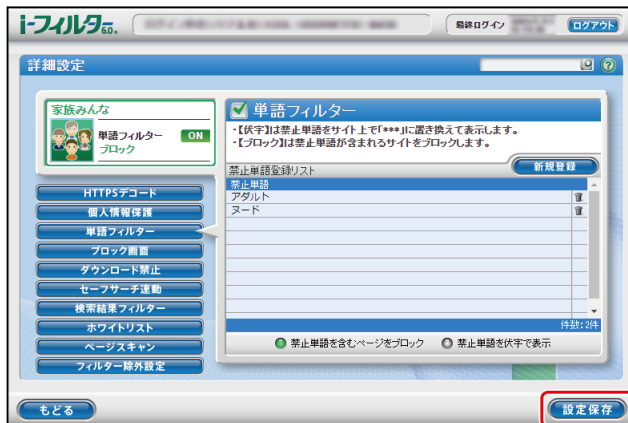
STEP5

以下のメッセージが表示されたら [OK] をクリックします。



STEP6

続けて削除する場合、STEP4、5を繰り返して [設定保存] ボタンをクリックします。



+ 補足

- [設定保存] ボタンをクリックせずに [もどる] ボタンをクリックすると、削除操作した単語は削除されず保存されたままとなります。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

3-8-4 ブロック画面の設定をする（ブロック画面）

ウェブサイトがブロックされたとき、ウェブブラウザにはブロック画面が表示されます。ブロック画面の種類は以下のとおりです。利用者ごとにお好みのブロック画面を設定することができます。ブロック画面はオリジナルで作成することもできます。また、ブロックを一時的に解除するブロック解除、管理者にブロックされたサイトの閲覧申請をするブロック解除申請機能の有効/無効の設定をすることもできます。

○ 標準ブロック画面

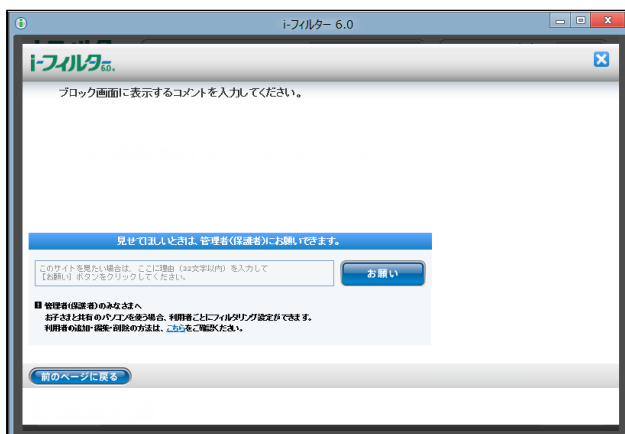
「i-フィルター」標準のブロック画面です。ブロックの理由を表示、ブロック解除、ブロック解除申請を有効/無効にする設定ができます。



【図：標準ブロック画面】

○ カスタムブロック画面

ブロック画面のカスタマイズができます。ブロック画面に表示される文字を自由に設定できます。ブロック解除、ブロック解除申請を有効/無効にする設定ができます。



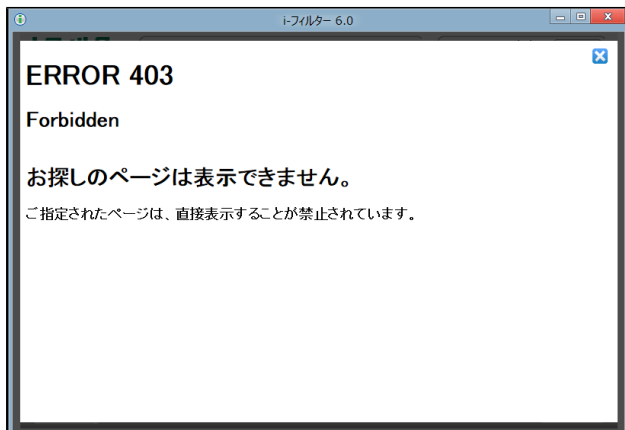
【図：カスタムブロック画面】

+ 補足

- お使いのウェブブラウザによっては画像が正しく表示されないことがあります。

○ 「アクセス禁止」画面

エラーコード403の「Forbiddenお探しのページは表示できません。」画面が表示されます。一般的にはサーバーが「読み出し禁止」にしているコンテンツを読み込もうとしたときに表示される画面です。ブロック解除、ブロック解除申請は設定できません。



【図：「アクセス禁止」画面】

■ ブロック画面を選択する

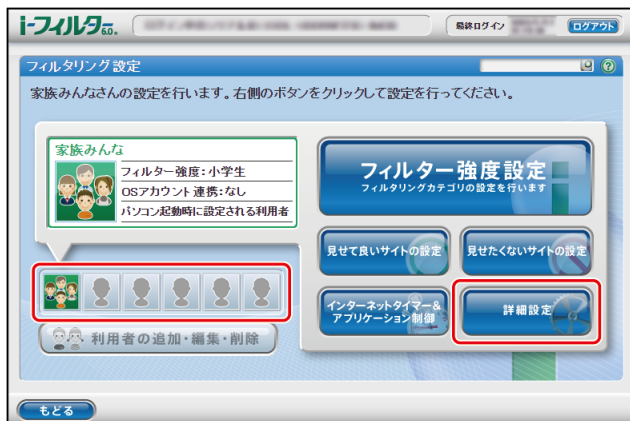
ウェブサイトがブロックされたときに表示されるブロック画面を選択する手順を説明しています。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

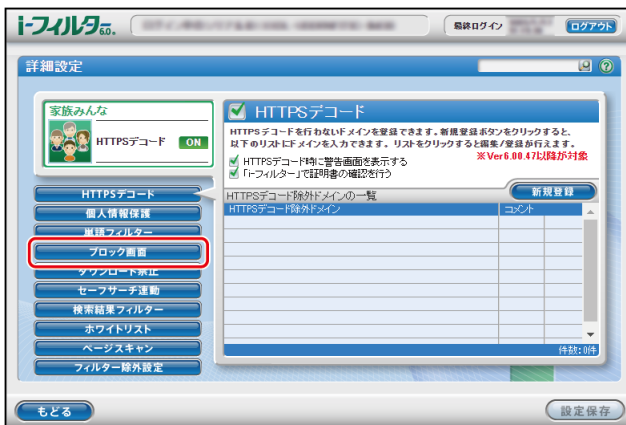
STEP2

『フィルタリング設定』画面で、ブロック画面を選択する利用者をクリックし [詳細設定] ボタンをクリックします。



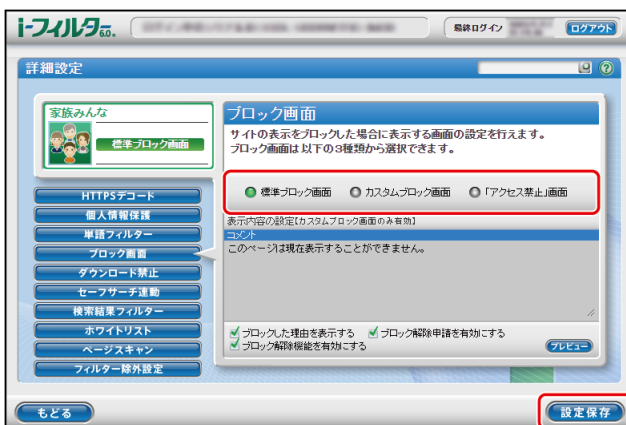
STEP3

『詳細設定』画面が開きます。[ブロック画面] ボタンをクリックします。



STEP4

[ブロック画面] でお好みのブロック画面をクリックし、[設定保存] ボタンをクリックします。



+ 補足

- [プレビュー] ボタンをクリックすると、選択しているブロック画面が表示されます。
- ブロック画面は以下より選べます。【3-8-4 ブロック画面の設定をする(ブロック画面)】を参考にしてください。
【標準ブロック画面/カスタムブロック画面/「アクセス禁止」画面】
- [設定保存] ボタンをクリックせずに [もどる] ボタンをクリックすると、設定操作したブロック画面は保存されません。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

■ 表示されるブロック画面を設定する

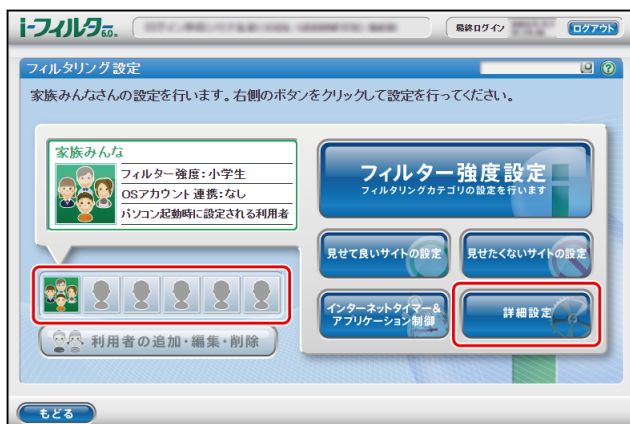
ウェブサイトがブロックされたときに表示されるブロック画面を設定する手順を説明しています。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

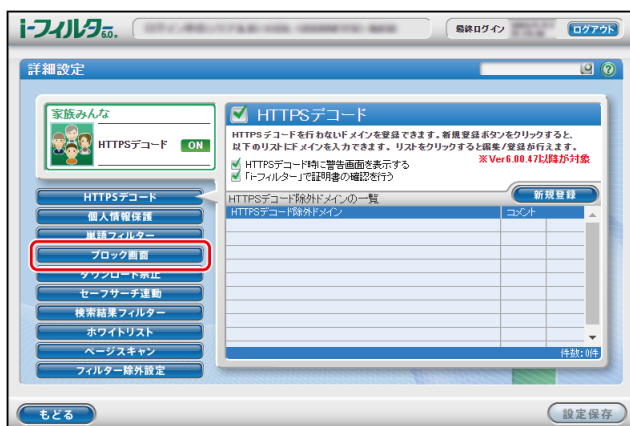
STEP2

『フィルタリング設定』画面で、表示されるブロック画面を設定する利用者をクリックし、[詳細設定] ボタンをクリックします。



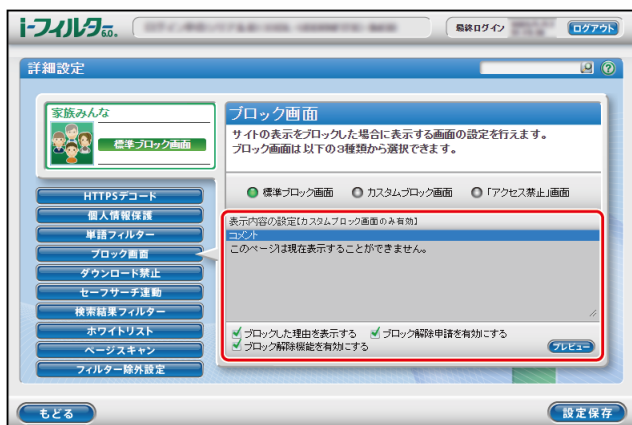
STEP3

『詳細設定』画面が表示されます。[ブロック画面] ボタンをクリックします。



STEP4

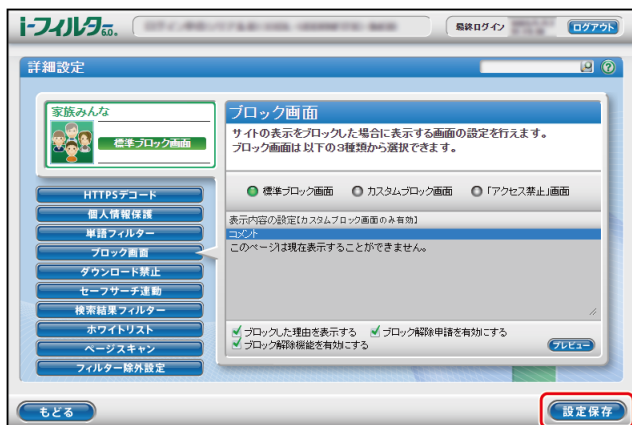
表示される標準ブロック画面またはカスタムブロック画面の設定をします。



設定項目	設定内容
表示内容の設定 (カスタムブロック画面のみ有効)	ブロック画面に表示されるコメントをオリジナルに変えられます。 ※【コメント】は全角半角問わず450文字以下で入力してください。
ブロックした理由を表示する (標準ブロック画面のみ有効)	チェックマークを付けると、ブロックした理由がブロック画面に表示されます。 (例：カテゴリ：インターネット禁止時間)
ブロック解除申請を有効にする (標準ブロック画面、 カスタムブロック画面のみ有効)	チェックマークを付けると、ブロック画面に【お願い】ボタンが表示されます。 ブロック画面が表示された際に、利用者が【お願い】ボタンをクリックすると、管理者にブロック解除申請を送信できます。 ブロック解除申請が許可されることで、利用者は申請したブロックされるサイトを閲覧することができるようになります。 詳しくは【第5章 「i-フィルター」のブロックを解除する】をご覧ください。
ブロック解除機能を有効にする (標準ブロック画面、 カスタムブロック画面のみ有効)	チェックマークを付けると、ブロック画面に【ブロック解除】ボタンが表示されます。 利用者が管理パスワードを入力し、【ブロック解除】ボタンをクリックすると、3分間フィルタリングがからなくなり、すべてのウェブサイトを見ることができます。 個人情報保護によってブロックされたページをブロック解除することはできません。 詳しくは【5-1 管理者がブロックを解除する (一時的なブロック解除機能)】をご覧ください。

STEP5

【設定保存】ボタンをクリックします。



+ 補足

- 表示されるブロック画面の設定を変えるには、STEP4を操作しなおしてください。
- 【設定保存】ボタンをクリックせずに【もどる】ボタンをクリックすると、設定操作したブロック画面は保存されません。
- 【もどる】ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

3-8-5 ファイルをダウンロードさせない（ダウンロード禁止）

ファイルの拡張子を登録して、該当する拡張子のファイルをダウンロードさせないように設定できます。初期設定では、「exe」「msi」「bat」「scr」「zip」「lzh」「rar」が登録されています。この登録を変えなければ、各形式のファイルはダウンロードできません。拡張子登録リスト、ダウンロード禁止の有効／無効は、利用者ごとに設定できます。

注意

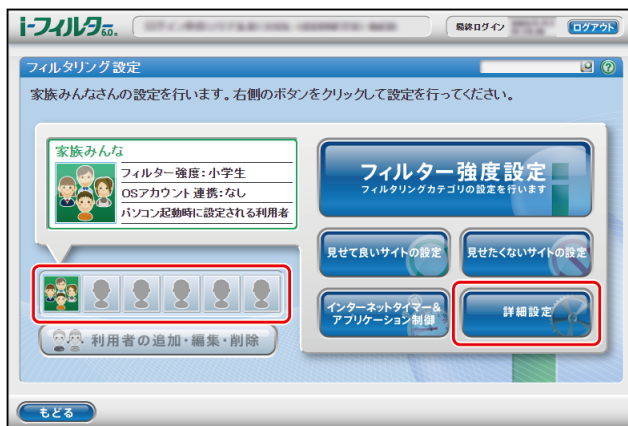
- インストールしている「i-フィルター」のバージョンが「6.00.46」以下の場合、本機能はInternet ExplorerのみHTTPS（SSLの暗号化通信をHTTPに実装したプロトコル）に対応しております。
- インストールしている「i-フィルター」のバージョンが「6.00.47」以上の場合、本機能は「HTTPSデコード」がONかつ「HTTPSデコード除外ドメインの一覧」に登録されていないドメインのみ、HTTPS通信に対応しています。HTTPSデコードの設定について、詳しくは、【3-8-1 HTTPS通信の内容を復号化する（HTTPSデコード）】をご覧ください。
- 「i-フィルター」がダウンロードを禁止できるのは、ウェブブラウザ経由のダウンロードのみです。ダウンロード専用のソフトウェアを使ったダウンロードを禁止することはできません。
- FTPサイトからのダウンロードを禁止することはできません。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『フィルタリング設定』画面で、ダウンロード禁止の設定をする利用者をクリックし、[詳細設定] ボタンをクリックします。



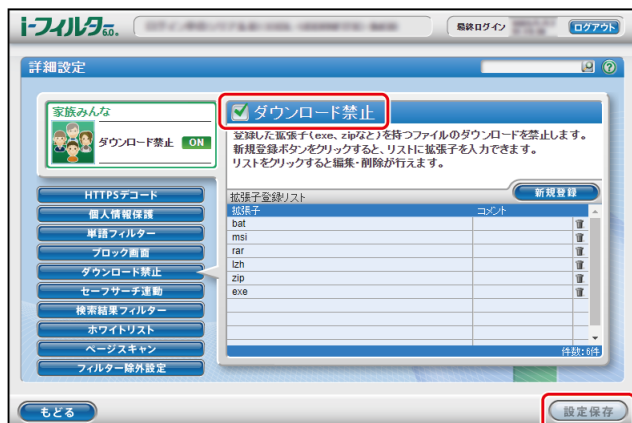
STEP3

『詳細設定』画面が開きます。[ダウンロード禁止] ボタンをクリックします。



STEP4

〔ダウンロード禁止〕にチェックマークを付けて〔設定保存〕ボタンをクリックします。画面左上に **ON** と表示され、ダウンロード禁止が有効になります。



+ 補足

- ダウンロード禁止を無効にしたい場合は、〔ダウンロード禁止〕のチェックマークをはずし〔設定保存〕ボタンをクリックします。画面左上に **OFF** が表示され、ダウンロード禁止が無効になります。
- 〔もどる〕ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』にもどります。

○ダウンロードを禁止する拡張子を登録する

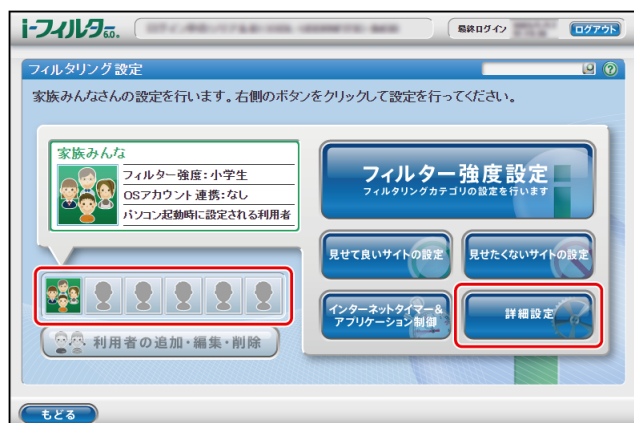
拡張子登録リストにダウンロードを禁止する拡張子を登録する手順を説明しています。拡張子登録リストには1件につき半角3文字以上100文字以下、利用者1名につき100件までの拡張子が登録できます。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で、〔フィルタリング設定〕ボタンをクリックします。

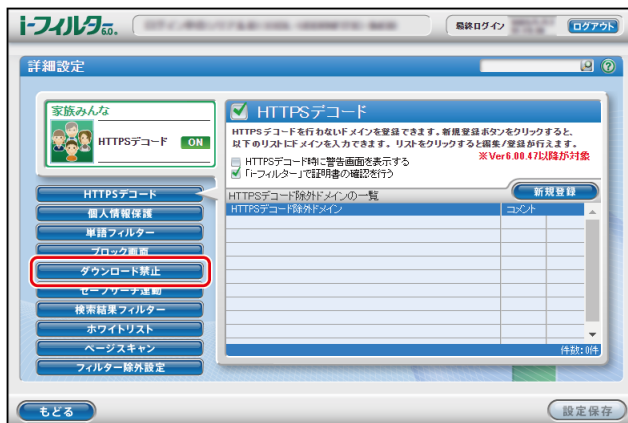
STEP2

『フィルタリング設定』画面で、ダウンロードを禁止する拡張子を登録する利用者をクリックし〔詳細設定〕ボタンをクリックします。



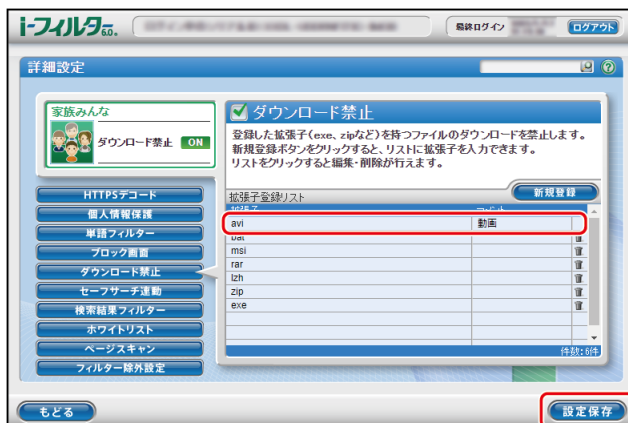
STEP3

『詳細設定』画面が開きます。[ダウンロード禁止] ボタンをクリックします。



STEP4

[新規登録] をクリックし、拡張子登録リストにダウンロードを禁止する拡張子を入力して [設定保存] ボタンをクリックします。

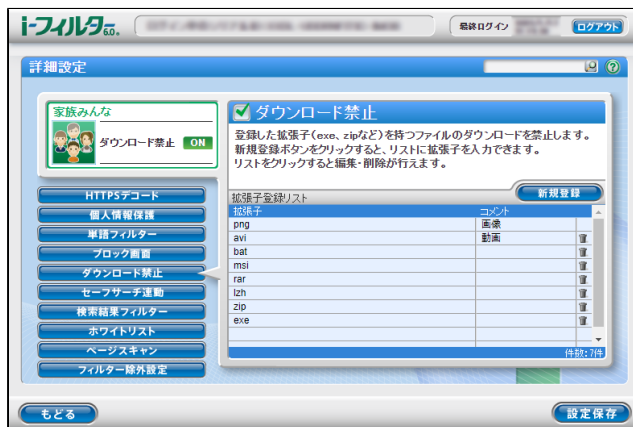


+ 補足

- 拡張子の前に付ける「.」（ドット）は不要です。
- 拡張子登録リストには1件につき半角3文字以上100文字以下の拡張子が入力できます。
- ダウンロード禁止に登録した拡張子と部分的に一致する拡張子を持つファイルは、すべてダウンロードされません。例えば「jpe」と登録すると、「.jpe」や「.jpeg」の拡張子を持つファイルはダウンロードされません。
- 拡張子登録リストには全角半角問わず32文字以下でコメントを入力することができます。

STEP5

必要があればSTEP4を繰り返します。



+ 補足

- 拡張子登録リストには利用者1名につき100件まで登録ができます。
- 拡張子登録リストの拡張子をクリックすると、拡張子を書き換えることができます。
- [設定保存] ボタンをクリックせずに [もどる] ボタンをクリックすると、追加登録した拡張子は保存されません。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

○ダウンロードを禁止する拡張子を削除する

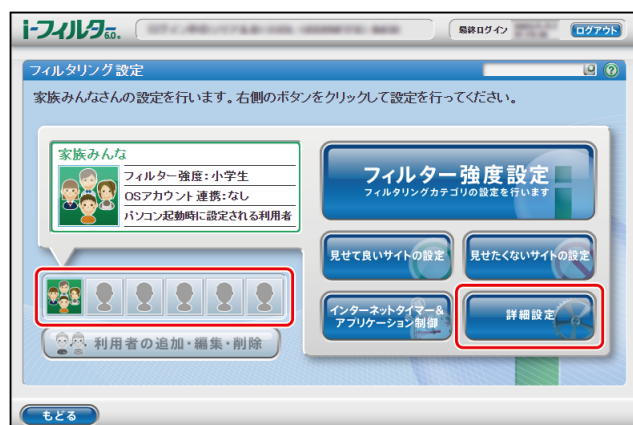
拡張子登録リストから拡張子を削除する手順を説明しています。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

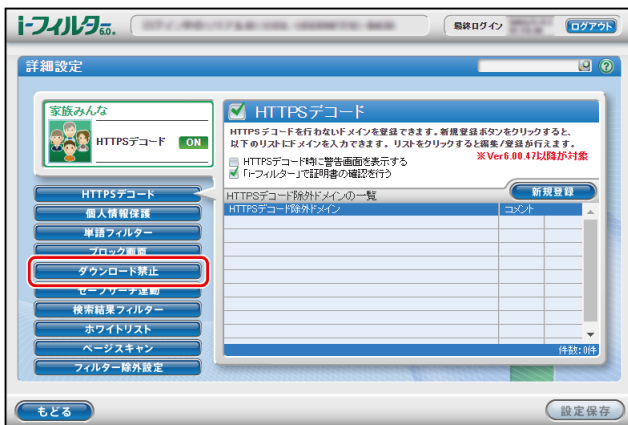
STEP2

『フィルタリング設定』画面で、ダウンロード禁止する拡張子を削除する利用者をクリックし [詳細設定] ボタンをクリックします。



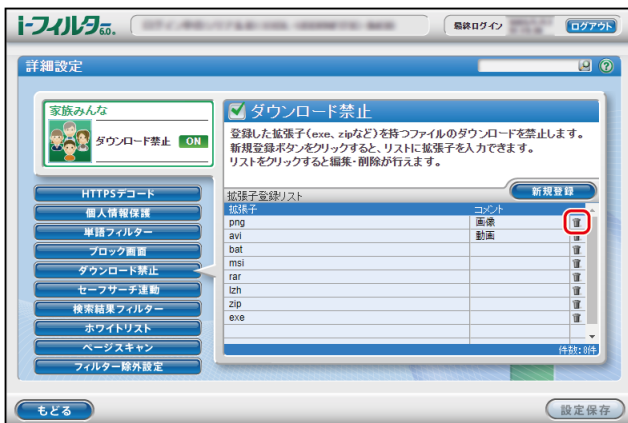
STEP3

『詳細設定』画面が開きます。[ダウンロード禁止] ボタンをクリックします。



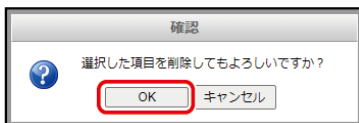
STEP4

拡張子登録リストから削除したい拡張子のボタンをクリックします。



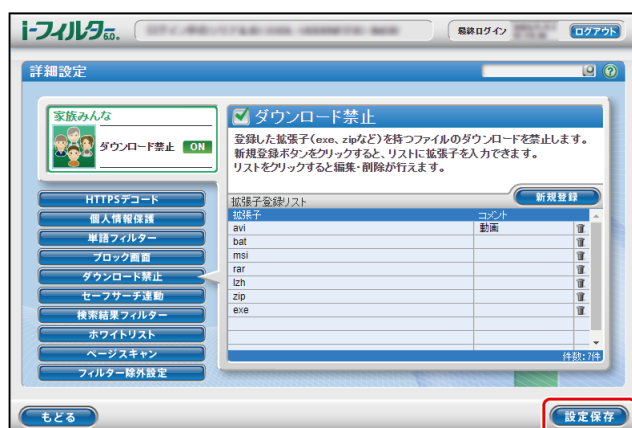
STEP5

以下のメッセージが表示されたら [OK] をクリックします。



STEP6

続けて削除する場合、STEP4、5を繰り返し、[設定保存] ボタンをクリックします。

**+ 補足**

- [設定保存] ボタンをクリックせずに [もどる] ボタンをクリックすると、削除操作した拡張子は削除されず保存されたままとなります。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

3-8-6 検索結果に成人向けコンテンツを表示させない（セーフサーチ連動）

検索エンジンによる成人向けコンテンツ表示制限機能と連動し、検索結果に成人向けコンテンツを表示させないよう設定できます。セーフサーチ連動による検索結果は、お使いの検索エンジンによって異なります。セーフサーチ連動の有効/無効は、利用者ごとに設定できます。

+ 補足

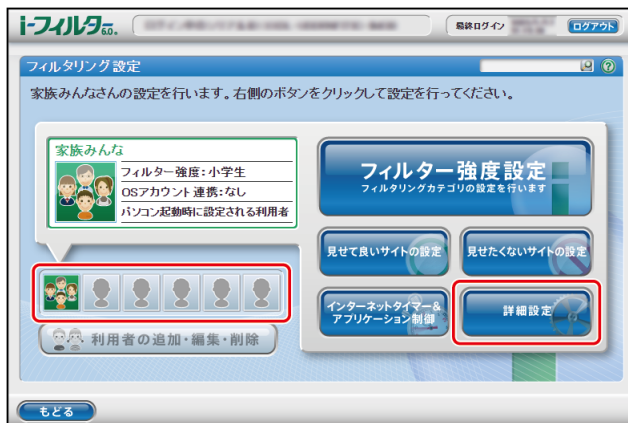
- 本機能は、以下の条件をすべて満たす場合のみ有効になります。
 - インストールしている「i-フィルター」のバージョンが「6.00.47」以上である
 - 「HTTPSデコード」をONにしており、対象の検索エンジンのドメインを「HTTPSデコード除外ドメインの一覧」に登録していない
- HTTPSデコードの設定について、詳しくは、【3-8-1 HTTPS通信の内容を復号化する（HTTPSデコード）】をご覧ください。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『フィルタリング設定』画面でセーフサーチ連動を設定する利用者をクリックし [詳細設定] ボタンをクリックします。



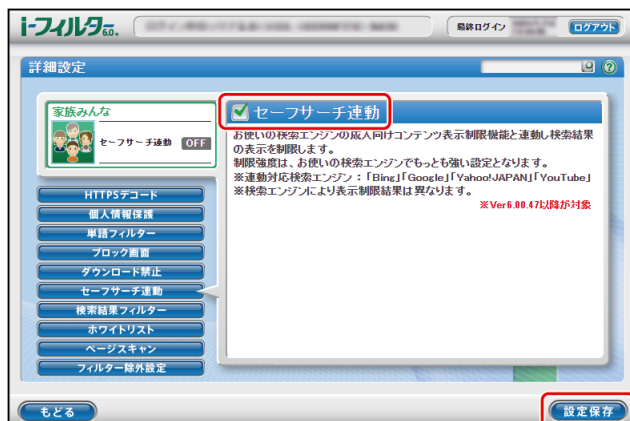
STEP3

『詳細設定』画面が開きます。[セーフサーチ連動] ボタンをクリックします。



STEP4

「セーフサーチ連動」にチェックマークを付けて「設定保存」ボタンをクリックします。画面左上に **ON** と表示され、検索結果フィルターが有効になります。

**+ 補足**

- セーフサーチ連動機能を無効にしたい場合は、「セーフサーチ連動」のチェックマークをはずして「設定保存」ボタンをクリックします。画面左上に **OFF** と表示され、セーフサーチ連動が無効になります。
- 「もどる」ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

3-8-7 見せたくないサイトを検索結果に表示させない（検索結果フィルター）

ブロックされるサイトを検索サイトの検索結果一覧にも表示させないように設定できます。例えば、「アダルト」カテゴリをブロックするように設定している場合、検索結果にアダルト関連のサイトは表示されません。この機能を「検索結果フィルター」と呼びます。検索結果フィルターの有効/無効は、利用者ごとに設定できます。

+ 補足

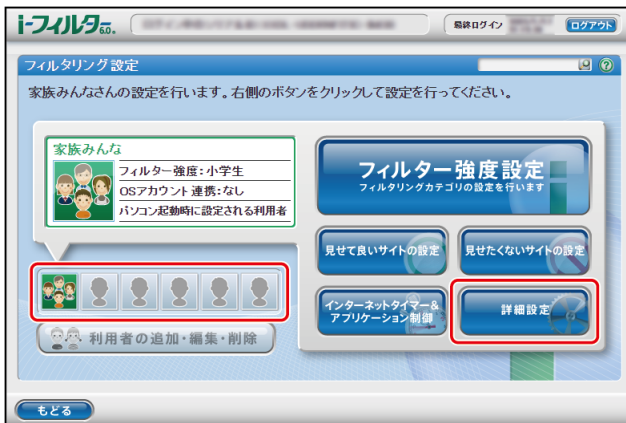
- 検索結果フィルターは、Internet ExplorerのみHTTPS（SSLの暗号化通信をHTTPに実装したプロトコル）に対応していません。
- 本機能は、インストールしている「i-フィルター」のバージョンが「6.00.46」以下の場合のみ対応しております。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『フィルタリング設定』画面で検索結果フィルターを設定する利用者をクリックし [詳細設定] ボタンをクリックします。



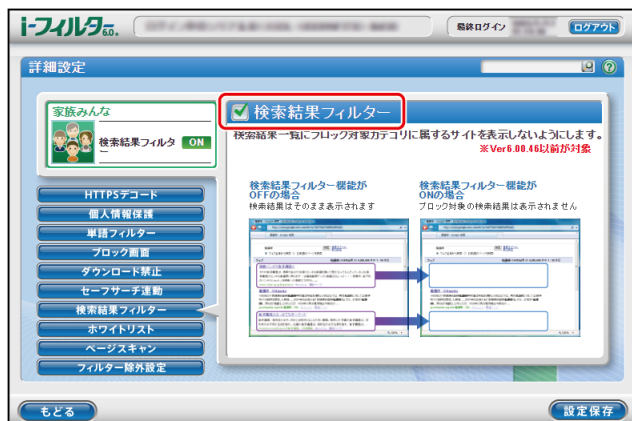
STEP3

『詳細設定』画面が開きます。[検索結果フィルター] ボタンをクリックします。



STEP4

「検索結果フィルター」にチェックマークを付けて「設定保存」ボタンをクリックします。画面左上に **ON** と表示され、検索結果フィルターが有効になります。

**+ 補足**

- 検索結果フィルター機能を無効にしたい場合は、「検索結果フィルター」のチェックマークをはずして「設定保存」ボタンをクリックします。画面左上に **OFF** と表示され、検索結果フィルターが無効になります。
- 「もどる」ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

3-8-8 登録したサイトだけを見せる（ホワイトリスト）

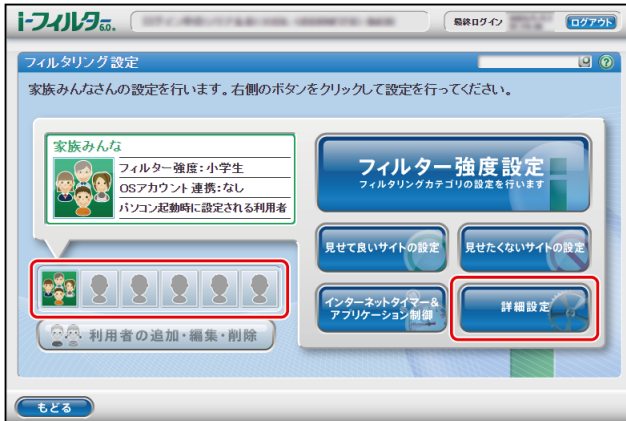
あらかじめ登録したサイトのみを表示できるように制限することができます。この機能を「ホワイトリスト」と呼びます。ホワイトリストを有効にすると、フィルター強度設定、見せて良いサイト、見せたくないサイト、ダウンロード禁止、検索結果フィルター、単語フィルター、ページスキャン、PICSフィルターは無効となり、ホワイトリストに登録されていないサイトはすべてブロックされます。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『フィルタリング設定』画面で、ホワイトリストの設定をする利用者をクリックし [詳細設定] ボタンをクリックします。



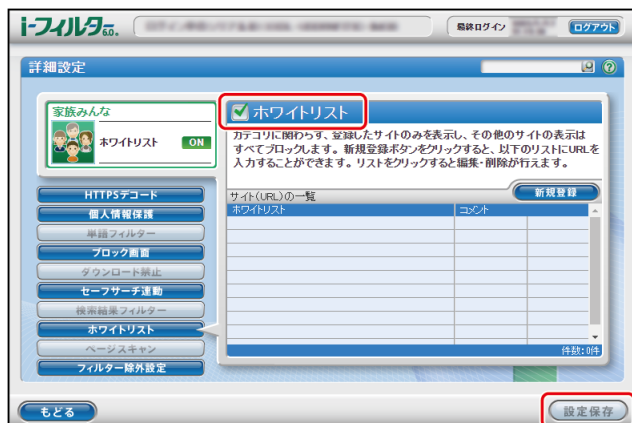
STEP3

『詳細設定』画面が開きます。[ホワイトリスト] ボタンをクリックします。



STEP4

「ホワイトリスト」にチェックマークを付けて「設定保存」ボタンをクリックします。画面左上に「ON」と表示され、ホワイトリストが有効になります。



+ 補足

- ホワイトリストを無効にしたい場合、「ホワイトリスト」のチェックマークをはずし「設定保存」ボタンをクリックします。画面左上に「OFF」と表示され、ホワイトリストが無効になります。
- ホワイトリストを有効に設定した場合、「フィルター強度設定」、「見せて良いサイトの設定」、「見せたくないサイトの設定」、「ダウンロード禁止」、「検索結果フィルター」、「単語フィルター」、「ページスキャン」の各ボタンがグレーで表示され、操作ができなくなります。
- サイト（URL）登録リストに表示を許可するサイトのURLを登録できます。詳しくは本節の【○ホワイトリストを登録する】をご覧ください。
- 「もどる」ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

○ホワイトリストを登録する

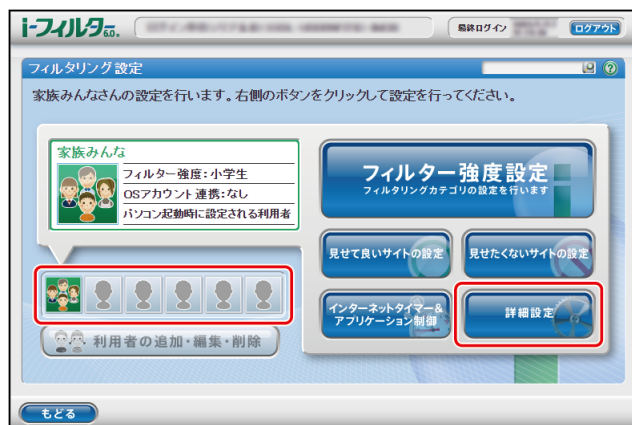
サイト（URL）登録リストにURLを登録する手順を説明しています。サイト（URL）登録リストは、1件につき半角英数記号4文字以上500文字以下、利用者1名につき100件までのURLが登録できます。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で、「フィルタリング設定」ボタンをクリックします。

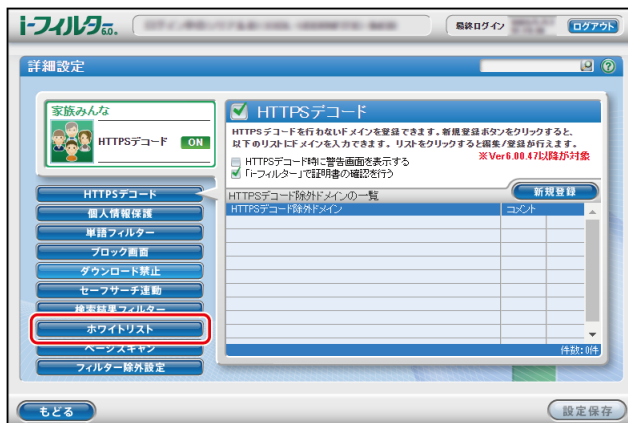
STEP2

『フィルタリング設定』画面で、ホワイトリストにURLを登録する利用者をクリックし「詳細設定」ボタンをクリックします。



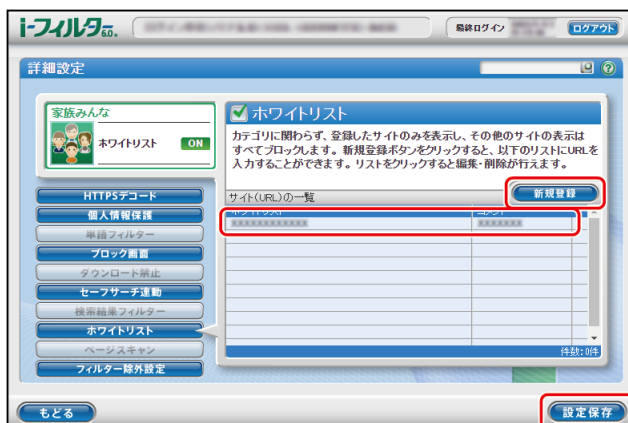
STEP3

『詳細設定』画面が開きます。[ホワイトリスト] ボタンをクリックします。



STEP4

[新規登録] ボタンをクリックし、サイト (URL) 登録リストにURLを入力し [設定保存] ボタンをクリックします。



! 注意

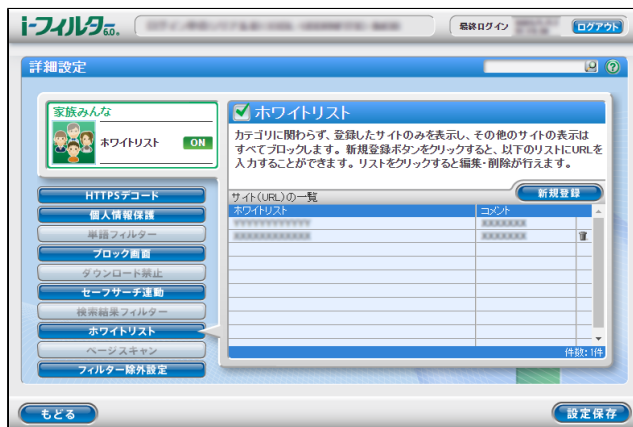
- ホワイトリストに登録したURLと部分的に一致するURLを持つサイトはすべて表示されます。
例えば「www.daj」と登録すると、<http://www.daj.jp/cs>や<https://www.daj.co.jp/>といったサイトは表示されます。
 - ホワイトリストとして「http」を登録するとすべてのサイトが表示されます。これはすべてのサイトのURLで「http」を含むためです。
 - 以下の場合、「https」で始まるサイトは、性質上ホスト名しか参照することができません。URLのホスト名の部分のみを入力してください。例えば<https://www.daj.jp/cs>の場合、「www.daj.jp」と入力します。
 - インストールしている「i-フィルター」のバージョンが「6.00.46」以下の場合
 - インストールしている「i-フィルター」のバージョンが「6.00.47」以上で「HTTPSデコード」が無効な場合
 - ※ 「HTTPSデコード」が無効な場合とは、以下の状態のことです。
 - 「HTTPSデコード」がOFFの場合
 - 「HTTPSデコード」がONで対象のサイトのドメインを「HTTPSデコード除外ドメイン」に登録している場合
- 「HTTPSデコード」について詳しくは【3-8-1 HTTPS通信の内容を復号化する (HTTPSデコード)】をご覧ください。

+ 補足

- サイト (URL) 登録リストには、半角英数記号4文字以上500文字以下のURLを登録できます。
- 「?」、「*」をワイルドカードとして使うことはできません。
- サイト (URL) 登録リストには、全角半角問わず32文字以下でコメントを入力することができます。

STEP5

続けて登録する場合、STEP4を繰り返します。



+ 補足

- 利用者1名につき100件までのURLをサイト（URL）登録リストに登録できます。
- サイト（URL）登録リストのURLをクリックすると、URLを書き換えることができます。
- 「[設定保存] ボタンをクリックせずに [もどる] ボタンをクリックすると、追加で入力したURLは保存されません。
- 「[もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

○ホワイトリストを削除する

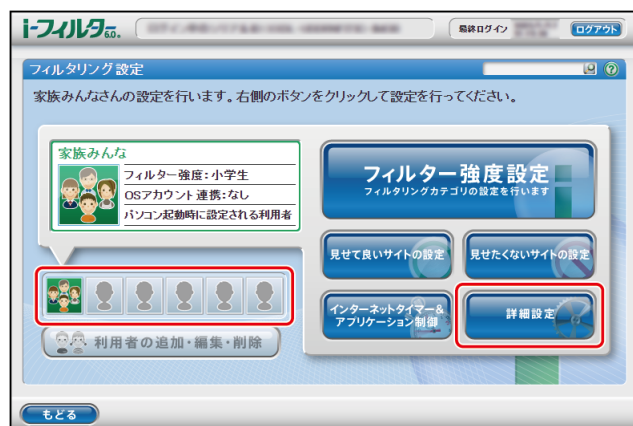
サイト（URL）登録リストからURLを削除する手順を説明しています。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

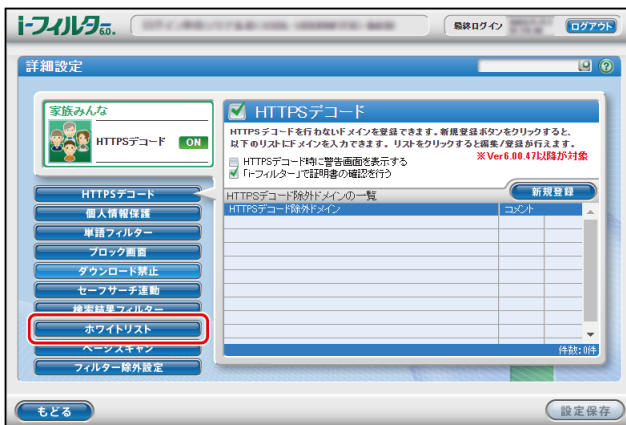
STEP2

『フィルタリング設定』画面で、URLを削除する利用者をクリックし [詳細設定] ボタンをクリックします。




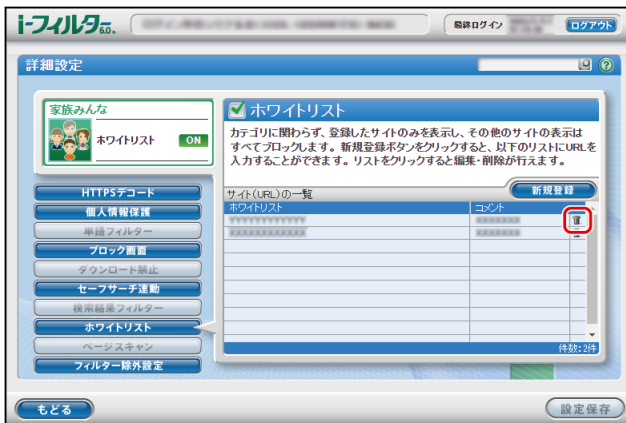
STEP3

『詳細設定』画面が開きます。[ホワイトリスト] ボタンをクリックします。



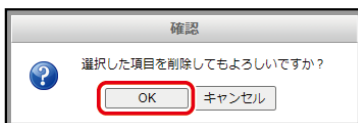
STEP4

サイト (URL) 登録リストから削除したいURLの  ボタンをクリックします。



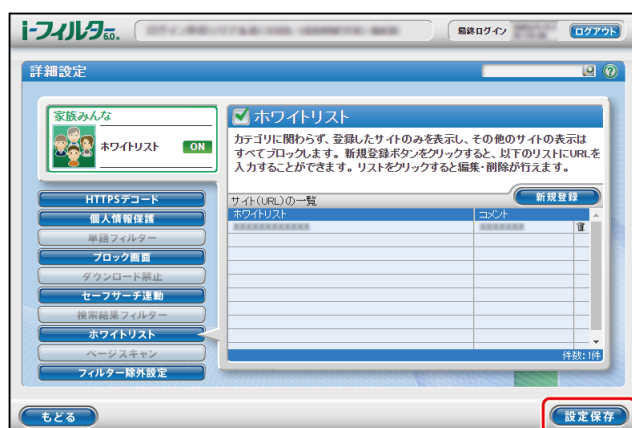
STEP5

以下のメッセージが表示されたら [OK] をクリックします。



STEP6

必要があればSTEP4、5を繰り返し [設定保存] ボタンをクリックします。

**+ 補足**

- [設定保存] ボタンをクリックせずに [もどる] ボタンをクリックすると、削除操作したURLは削除されず保存されたままとなります。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

3-8-9 サイトの内容を自動的に判断する（ページスキャン）

データベースに未登録のサイトを内容から判断して、自動的にブロックするように設定できます。この機能を「ページスキャン」と呼びます。利用者ごとにページスキャンを適用するかどうかを設定できます。

+ 補足

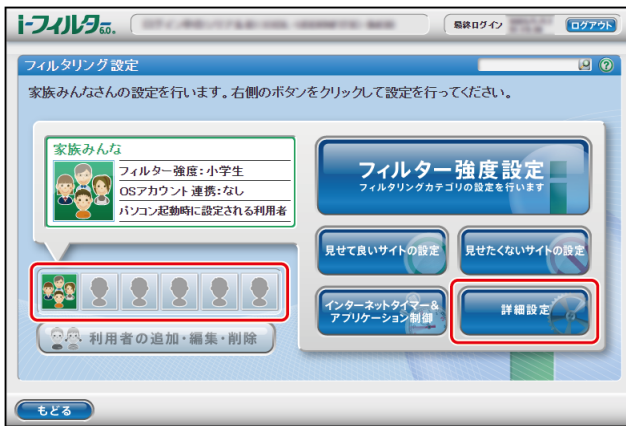
- インストールしている「i-フィルター」のバージョンが「6.00.46」以下の場合、本機能は、Internet ExplorerのみHTTPS（SSLの暗号化通信をHTTPに実装したプロトコル）に対応しております。
- インストールしている「i-フィルター」のバージョンが「6.00.47」以上の場合、本機能は「HTTPSデコード」がONかつ「HTTPSデコード除外ドメインの一覧」に登録されていないドメインのみ、HTTPS通信に対応しています。HTTPSデコードの設定について、詳しくは、【3-8-1 HTTPS通信の内容を復号化する（HTTPSデコード）】をご覧ください。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『フィルタリング設定』画面で、ページスキャンを設定する利用者をクリックし [詳細設定] ボタンをクリックします。



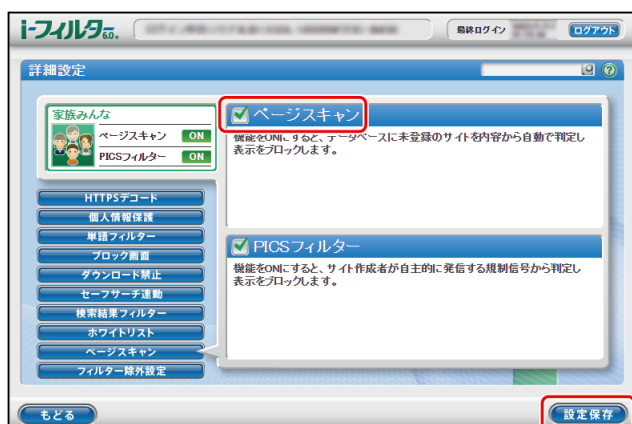
STEP3

『詳細設定』画面が開きます。[ページスキャン] ボタンをクリックします。



STEP4

【ページスキャン】にチェックマークを付けて【設定保存】ボタンをクリックします。画面左上に **ON** と表示され、ページスキャンが有効になります。

**+ 補足**

- ページスキャンを無効にしたい場合は、【ページスキャン】のチェックマークをはずして【設定保存】ボタンをクリックします。画面左上に **OFF** と表示され、ページスキャンが無効になります。
- 【設定保存】ボタンをクリックせずに【もどる】ボタンをクリックすると、操作した設定は保存されません。
- 【もどる】ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

3-8-10 自主規制信号のあるサイトを見せたくない（PICSフィルター）

サイトを作る人・企業は、自主的にPICSラベルという規制信号を自分のサイトに付加することができます。「i-フィルター」はアクセス先のサイトのPICSラベルが付いているかどうかを判断してブロックすることができます。PICSフィルターはヌード・セックス・暴力・言葉のカテゴリでブロックする設定になっているサイトに適用されます。カテゴリごとのブロック設定について、詳しくは【3-3 フィルターの強度を設定する】をご覧ください。

+ 補足

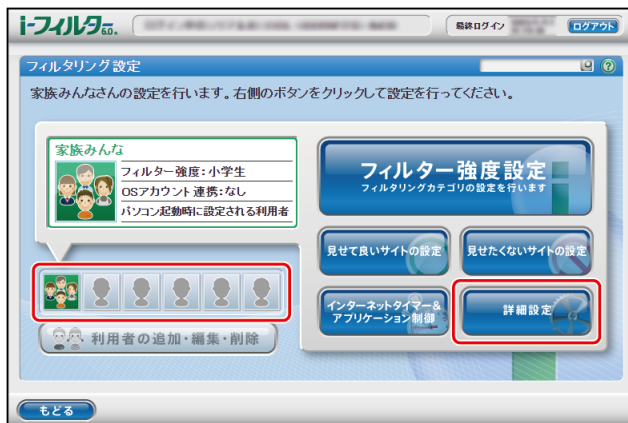
- インストールしている「i-フィルター」のバージョンが「6.00.46」以下の場合、本機能は、Internet ExplorerのみHTTPS（SSLの暗号化通信をHTTPに実装したプロトコル）に対応しております。
- インストールしている「i-フィルター」のバージョンが「6.00.47」以上の場合、本機能は「HTTPSデコード」がONかつ「HTTPSデコード除外ドメインの一覧」に登録されていないドメインのみ、HTTPS通信に対応しています。HTTPSデコードの設定について、詳しくは、【3-8-1 HTTPS通信の内容を復号化する（HTTPSデコード）】をご覧ください。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『フィルタリング設定』画面で、PICSフィルターを設定する利用者をクリックし、[詳細設定] ボタンをクリックします。



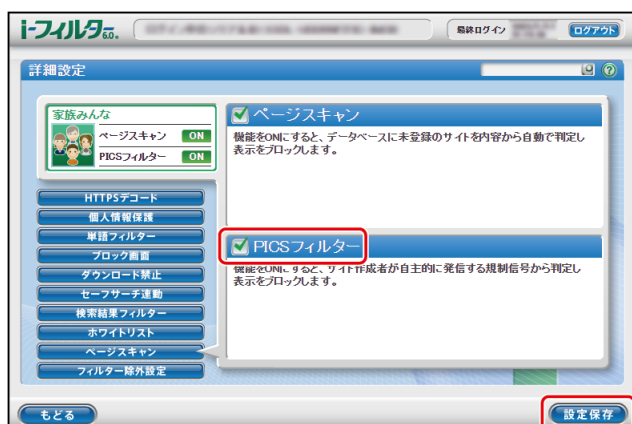
STEP3

『詳細設定』画面が開きます。[ページスキャン] ボタンをクリックします。



STEP4

「PICSフィルター」にチェックマークを付けて「設定保存」ボタンをクリックします。画面左上に **ON** と表示され、PICSフィルターが有効になります。

**+ 補足**

- PICSフィルターを無効にしたい場合は、「PICSフィルター」のチェックマークをはずして「設定保存」ボタンをクリックします。画面左上に **OFF** と表示され、PICSフィルターが無効になります。
- 「設定保存」ボタンをクリックせずに「もどる」ボタンをクリックすると、操作した設定は保存されません。
- 「もどる」ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

3-8-11 フィルタリング対象から除外する（フィルター除外設定）

指定した条件によって「i-フィルター」のフィルタリング対象から除外する方法を説明します。
IPアドレス/ホスト名、ポート番号、プロセスを条件として指定できます。

注意

- 本機能は、インストールしている「i-フィルター」のバージョンが「6.00.48」以上の場合に利用できます。

■ IPアドレスまたはホスト名で指定する

指定したIPアドレス/ホスト名への通信を「i-フィルター」のフィルタリング対象から除外できます。
指定したIPアドレス/ホスト名への通信は各種フィルタリング機能が無効になりアクセス履歴に記録されません。

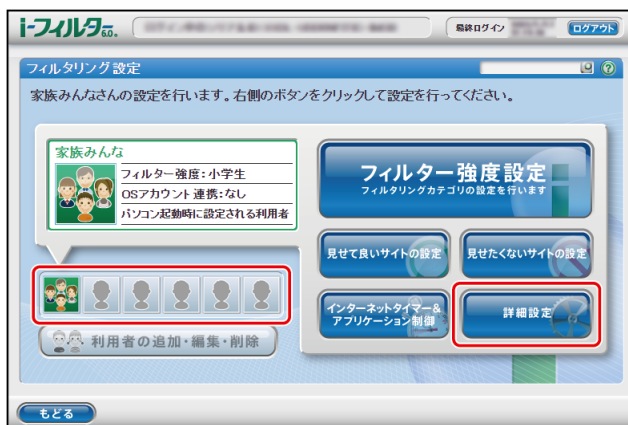
○ フィルター除外設定（IPアドレス/ホスト名）を有効にする

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

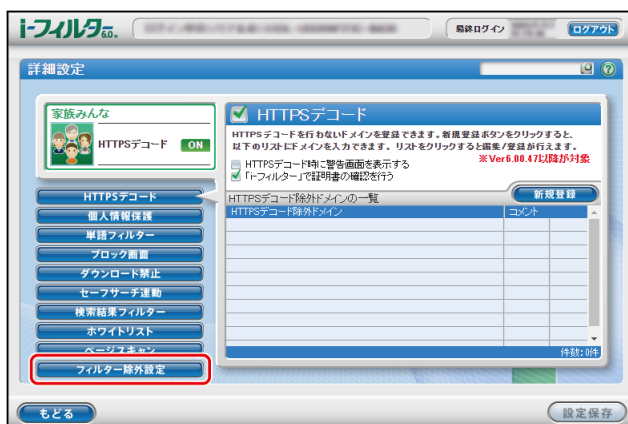
STEP2

『フィルタリング設定』画面で、フィルター除外設定（IPアドレス/ホスト名）を有効にする利用者をクリックし
[詳細設定] ボタンをクリックします。



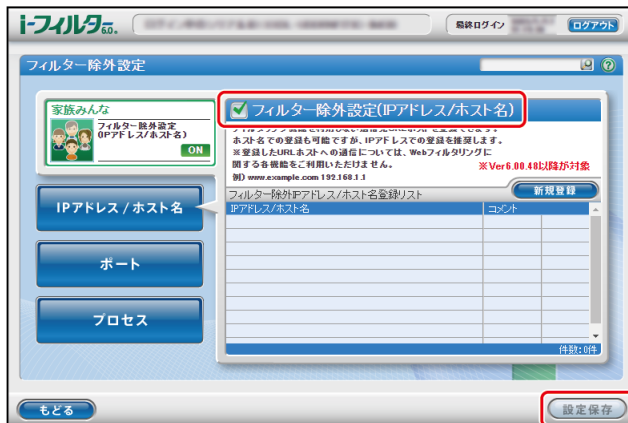
STEP3

『詳細設定』画面が開きます。[フィルター除外設定] ボタンをクリックします。



STEP4

〔フィルター除外設定(IPアドレス/ホスト名)] にチェックマークを付けて [設定保存] ボタンをクリックします。画面左上に **ON** と表示され、フィルター除外設定(IPアドレス/ホスト名)が有効になります。



+ 補足

- フィルター除外設定(IPアドレス/ホスト名)を無効にしたい場合は、〔フィルター除外設定(IPアドレス/ホスト名)] のチェックマークをはずして [設定保存] ボタンをクリックします。画面左上に **OFF** と表示され、フィルター除外設定(IPアドレス/ホスト名)が無効になります。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『詳細設定』画面にもどります。
- 『フィルター除外設定』画面の他の画面が表示されている場合は、[IPアドレス/ホスト名] ボタンをクリックします。

○ フィルタリング対象から除外するIPアドレス/ホスト名を登録する

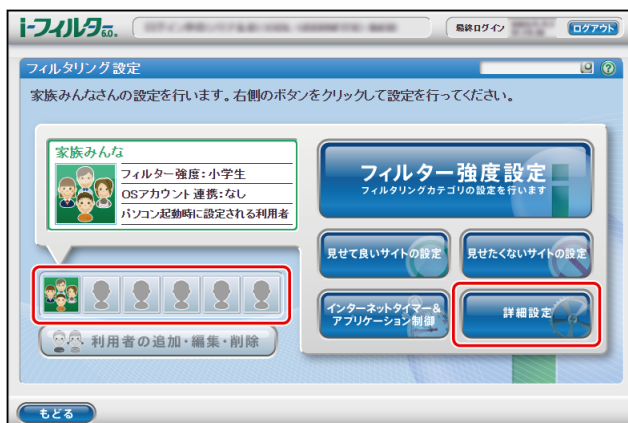
フィルター除外IPアドレス/ホスト名登録リストにIPアドレス/ホスト名を登録する手順を説明しています。フィルター除外IPアドレス/ホスト名登録リストには、IPv4/IPv6のIPアドレスとホスト名を登録できます。IPアドレスは「-」（ハイフン）でつなぐことで範囲指定することができます。利用者1名につき100件まで登録できます。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『フィルタリング設定』画面で、IPアドレス/ホスト名を登録する利用者をクリックして [詳細設定] ボタンをクリックします。



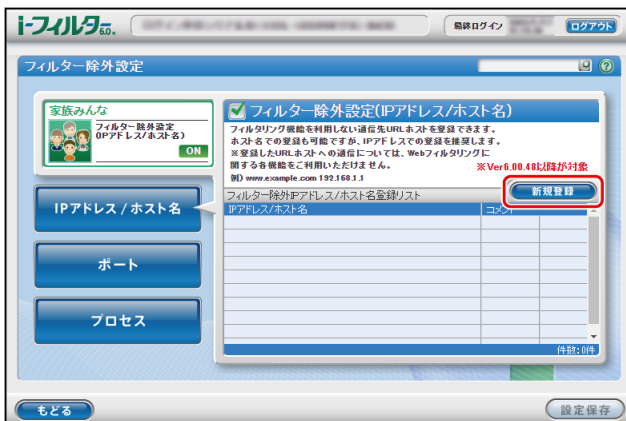
STEP3

『詳細設定』画面が開きます。[フィルター除外設定] ボタンをクリックします。



STEP4

[新規登録] ボタンをクリックします。

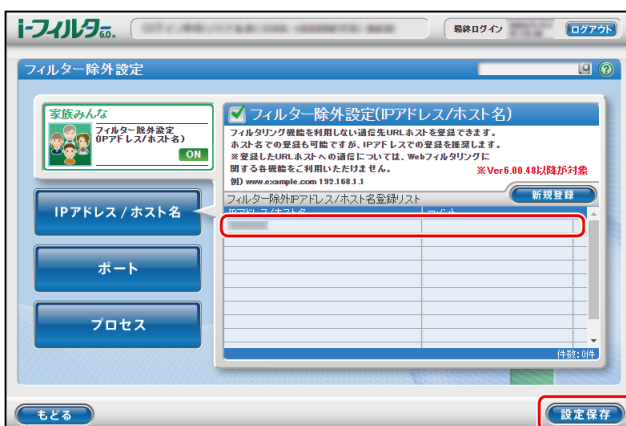


+ 補足

- 『フィルター除外設定』画面の他の画面が表示されている場合は、[IPアドレス/ホスト名] ボタンをクリックします。

STEP5

フィルター除外IPアドレス/ホスト名登録リストにIPアドレス/ホスト名を入力し [設定保存] ボタンをクリックします。



注意

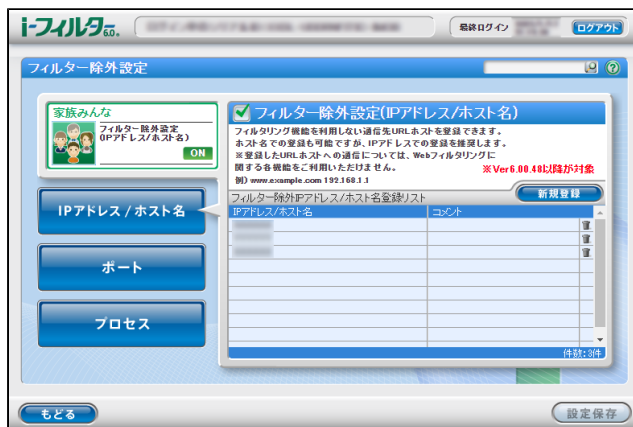
- フィルター除外IPアドレス/ホスト名登録リストに登録したIPアドレス（ホスト名）と完全一致するIPアドレス（ホスト名）への通信はすべてフィルター除外されます。
- IPアドレスは「-」（ハイフン）でつなぐことで、範囲指定することができます。例えば「192.168.0.1-192.168.0.100」と指定できます。

補足

- 「?」、「*」をワイルドカードとして使用することはできません。
- 「フィルター除外IPアドレス/ホスト名登録リスト」には、全角半角問わず32文字以下でコメントが入力できます。

STEP6

続けて登録する場合、STEP4、5を繰り返します。



補足

- フィルター除外IPアドレス/ホスト名登録リストには、利用者1名につき100件までのIPアドレス/ホスト名を登録できます。
- フィルター除外IPアドレス/ホスト名登録リストのIPアドレス/ホスト名をクリックすると、IPアドレス/ホスト名を書き換えることができます。
- [設定保存] ボタンをクリックせずに [もどる] ボタンをクリックすると、追加入力したIPアドレス/ホスト名は保存されません。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『詳細設定』画面にもどります。

○ フィルタリング対象から除外するIPアドレス/ホスト名を削除する

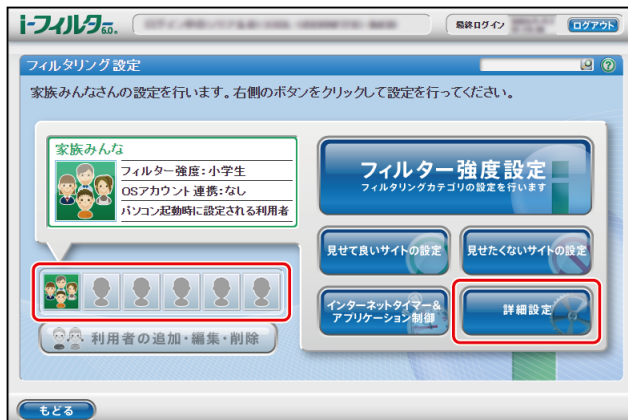
フィルター除外IPアドレス/ホスト名登録リストのIPアドレス/ホスト名を削除する手順について説明します。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『フィルタリング設定』画面で、IPアドレス/ホスト名を削除したい利用者をクリックし [詳細設定] ボタンをクリックします。




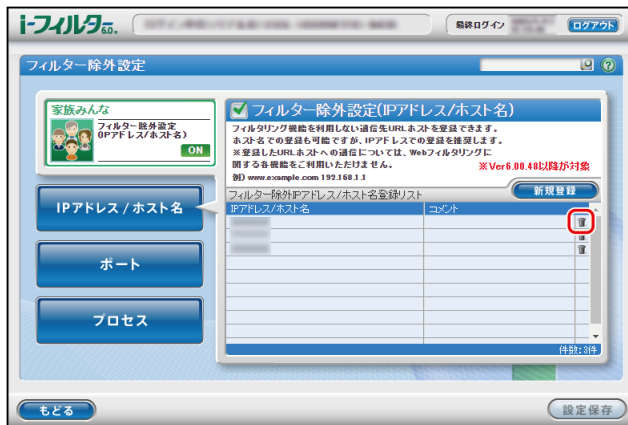
STEP3

『詳細設定』画面が開きます。 [フィルター除外設定] ボタンをクリックします。



STEP4

フィルター除外IPアドレス/ホスト名登録リストから削除したいIPアドレス/ホスト名の  ボタンをクリックします。

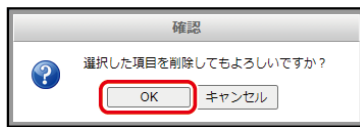


+ 補足

- 『フィルター除外設定』画面の他の画面が表示されている場合は、[IPアドレス/ホスト名] ボタンをクリックします。

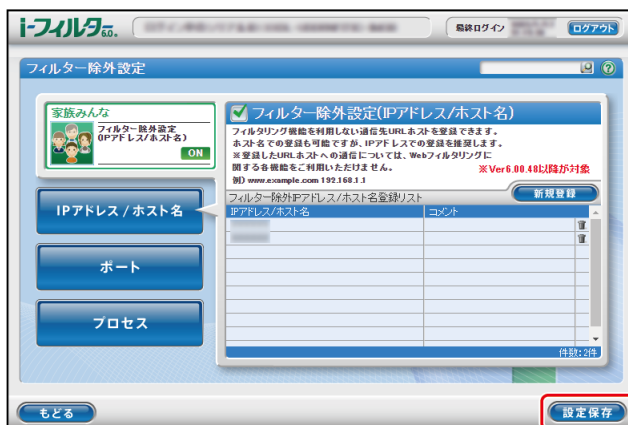
STEP5

以下のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。



STEP6

続けて削除する場合、STEP4、5を繰り返して [設定保存] ボタンをクリックします。



+ 補足

- [設定保存] ボタンをクリックせずに [もどる] ボタンをクリックすると、削除操作したIPアドレス/ホスト名は削除されず保存されたままとなります。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『詳細設定』画面にもどります。

■ポート番号で指定する

指定したポート番号への通信を「i-フィルター」のフィルタリング対象から除外できます。
 指定したポート番号への通信は各種フィルタリング機能が無効になりアクセス履歴に記録されません。

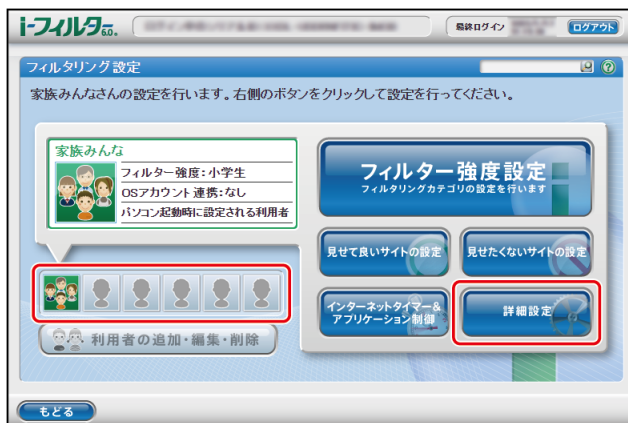
○ フィルター除外設定（ポート番号）を有効にする

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

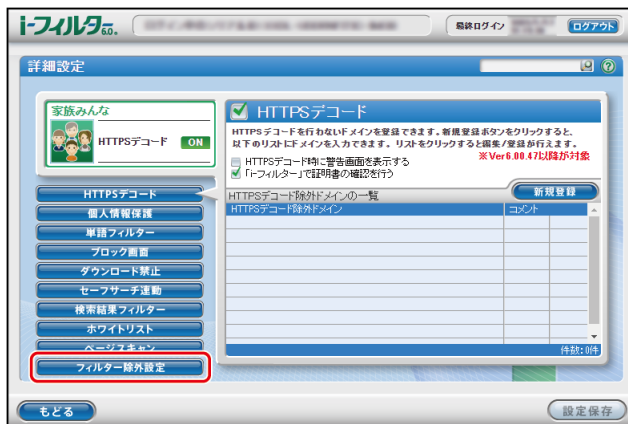
STEP2

『フィルタリング設定』画面で、フィルター除外設定（ポート番号）を有効にする利用者をクリックし [詳細設定] ボタンをクリックします。



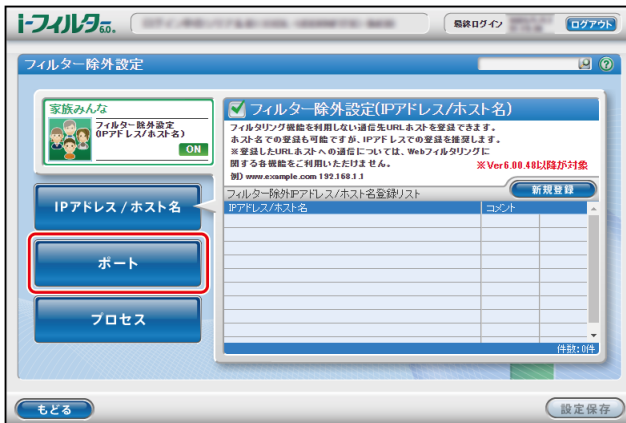
STEP3

『詳細設定』画面が開きます。[フィルター除外設定] ボタンをクリックします。



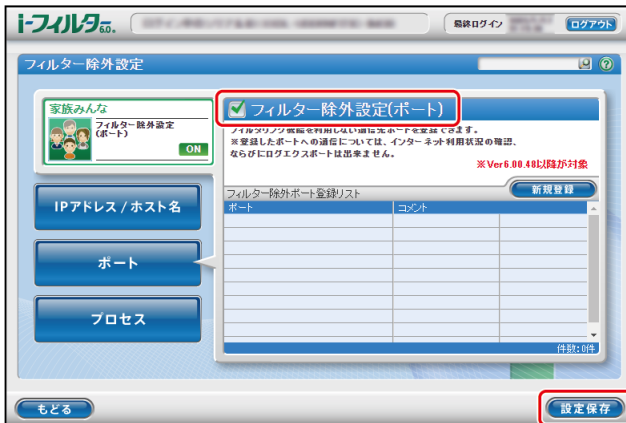
STEP4

『フィルター除外設定』画面が表示されます。[ポート] ボタンをクリックします。



STEP5

[フィルター除外設定(ポート)] にチェックマークを付けて [設定保存] ボタンをクリックします。画面左上に **ON** と表示され、フィルター除外設定(ポート)が有効になります。



+ 補足

- フィルター除外設定(ポート)を無効にしたい場合は、[フィルター除外設定(ポート)] のチェックマークをはずして [設定保存] ボタンをクリックします。画面左上に **OFF** と表示され、フィルター除外設定(ポート)が無効になります。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『詳細設定』画面にもどります。

○ フィルタリング対象から除外するポート番号を登録する

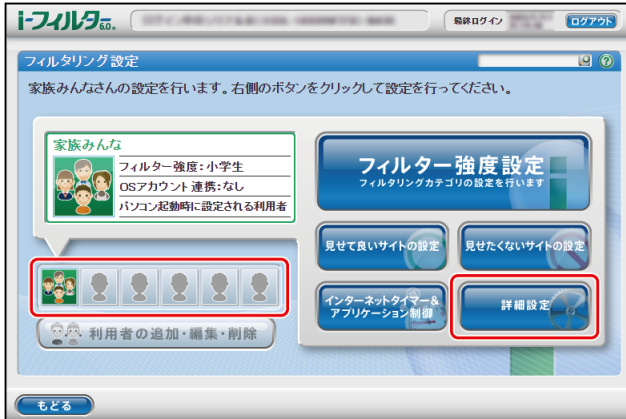
フィルター除外ポート登録リストに除外ポート番号を登録する手順を説明します。フィルター除外ポート登録リストは、1件につき半角数字と「-」（ハイフン）1文字以上11文字以下、利用者1名につき100件まで登録できます。ポートは「-」（ハイフン）でつなぐことで範囲指定することができます。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

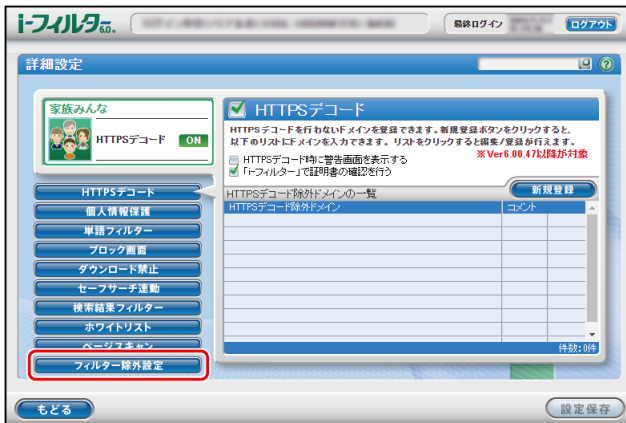
STEP2

『フィルタリング設定』画面で、ポート番号を登録する利用者をクリックして [詳細設定] ボタンをクリックします。



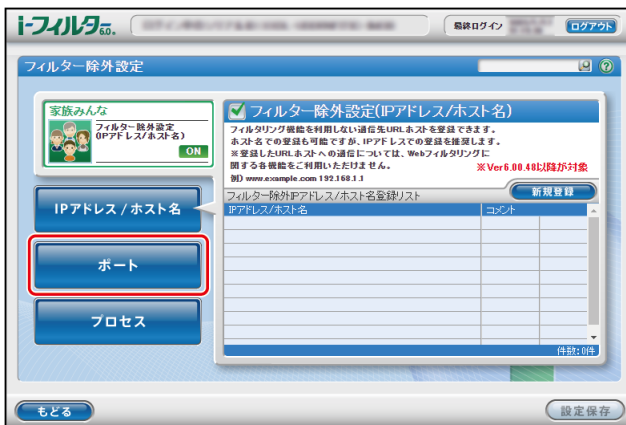
STEP3

『詳細設定』画面が開きます。[フィルター除外設定] ボタンをクリックします。



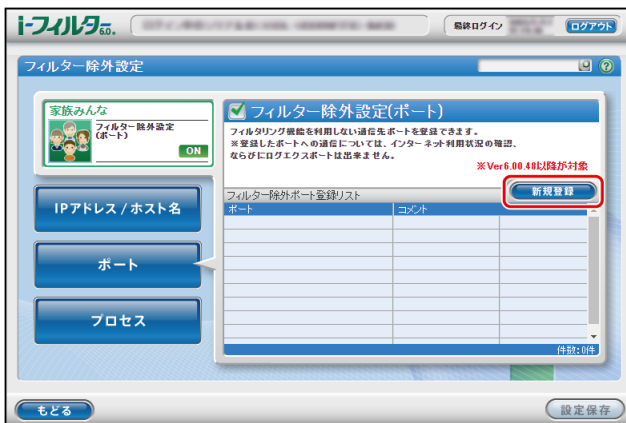
STEP4

『フィルター除外設定』画面が表示されます。[ポート] ボタンをクリックします。



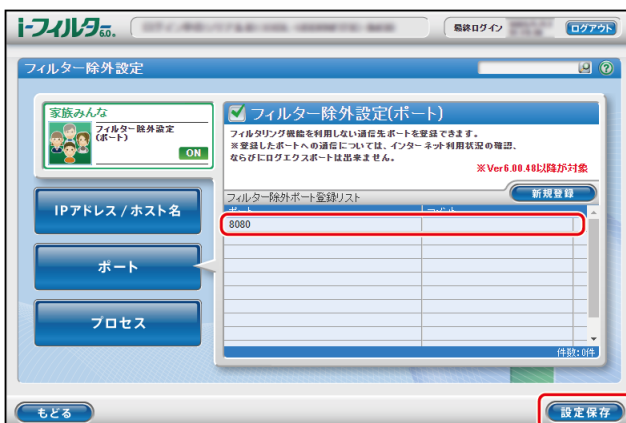
STEP5

[新規登録] ボタンをクリックします。



STEP6

フィルター除外ポート登録リストにポート番号を入力し [設定保存] ボタンをクリックします。



! 注意

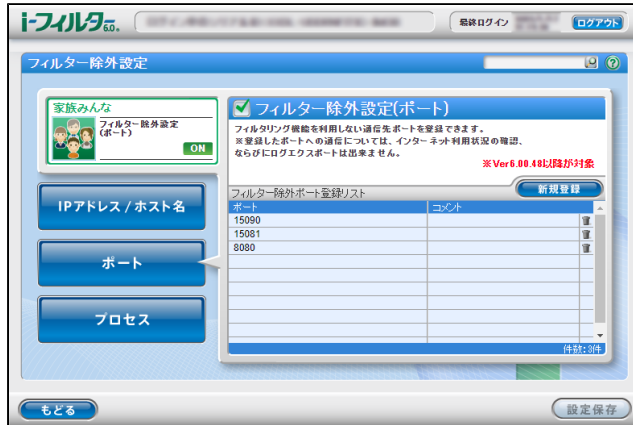
- フィルター除外ポート登録リストに登録したポート番号と完全一致するポート番号への通信はすべてフィルター除外されます。
- ポート番号は「-」(ハイフン)でつなぐことで、範囲指定ができます。例えば「8000-8100」と指定できます。

+ 補足

- 「?」、「*」をワイルドカードとして使用することはできません。
- 「フィルター除外ポート登録リスト」には、全角半角問わず32文字以下でコメントが入力できます。

STEP7

続けて登録する場合、STEP5、6を繰り返します。



+ 補足

- 「フィルター除外ポート登録リスト」には利用者1名につき100件までのポート番号を登録できます。
- 「フィルター除外ポート登録リスト」のポート番号をクリックすると、ポート番号の書き換えができます。
- [設定保存] ボタンをクリックせずに [もどる] ボタンをクリックすると、追加入力したポート番号は保存されません。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『詳細設定』画面にもどります。

○ フィルタリング対象から除外するポート番号を削除する

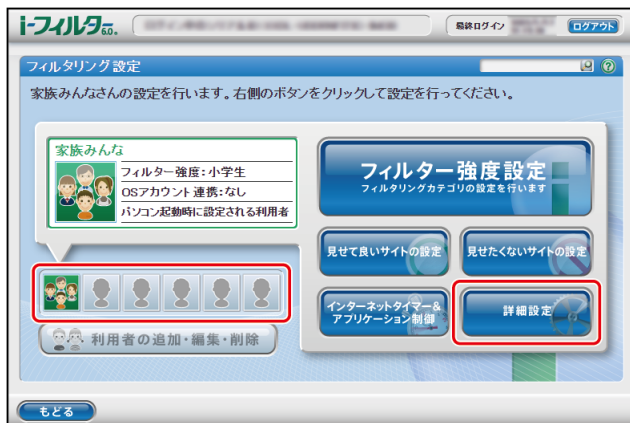
フィルター除外ポート登録リストのポート番号を削除する手順について説明します。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

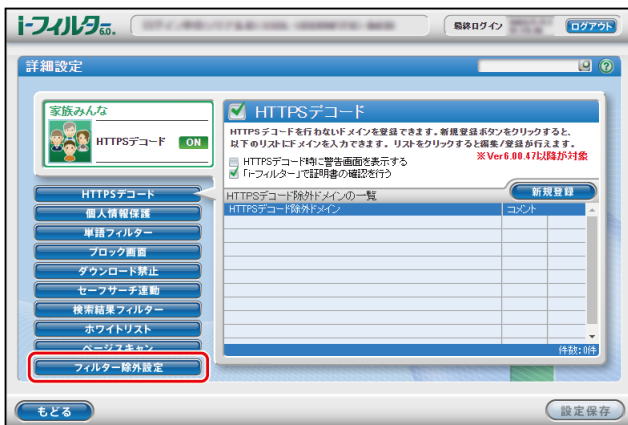
STEP2

『フィルタリング設定』画面で、ポート番号を削除したい利用者をクリックし [詳細設定] ボタンをクリックします。



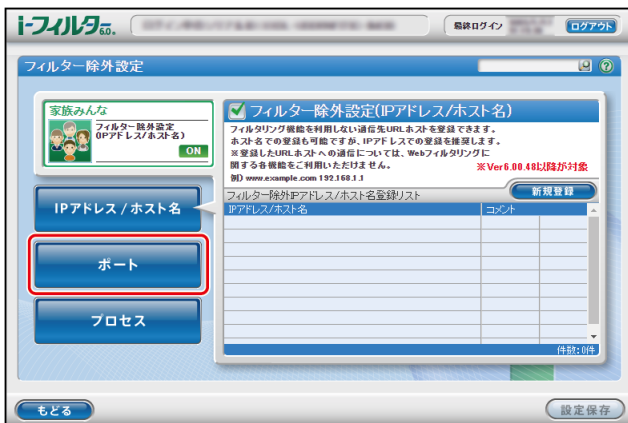
STEP3

『詳細設定』画面が開きます。[フィルター除外設定] ボタンをクリックします。




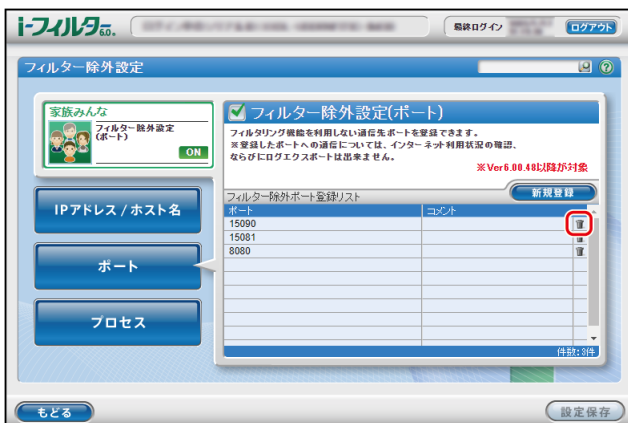
STEP4

『フィルター除外設定』画面が表示されます。[ポート] ボタンをクリックします。



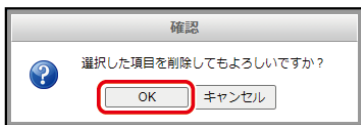
STEP5

フィルター除外ポート登録リストから削除したいポート番号の  ボタンをクリックします。



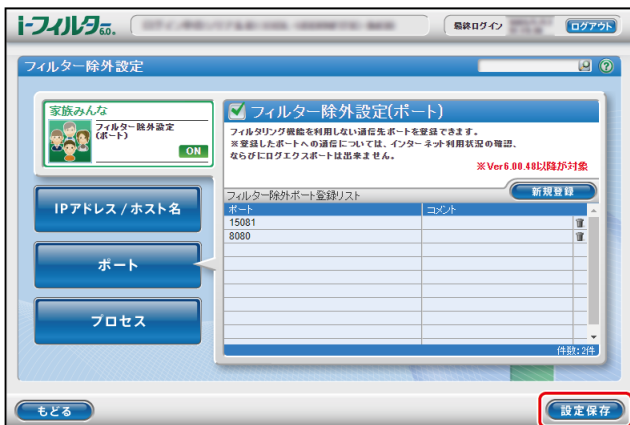
STEP6

以下のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。



STEP7

続けて削除する場合、STEP5、6を繰り返して[設定保存] ボタンをクリックします。



- + 補足**
- [設定保存] ボタンをクリックせずに [もどる] ボタンをクリックすると、削除操作したポート番号は削除されず保存されたままとなります。
 - [もどる] ボタンをクリックすると、『詳細設定』画面にもどります。

■プロセスで指定する

指定したプロセスの通信を「i-フィルター」のフィルタリング対象から除外できます。
 指定したプロセスの通信は各種フィルタリング機能が無効になりアクセス履歴に記録されません。

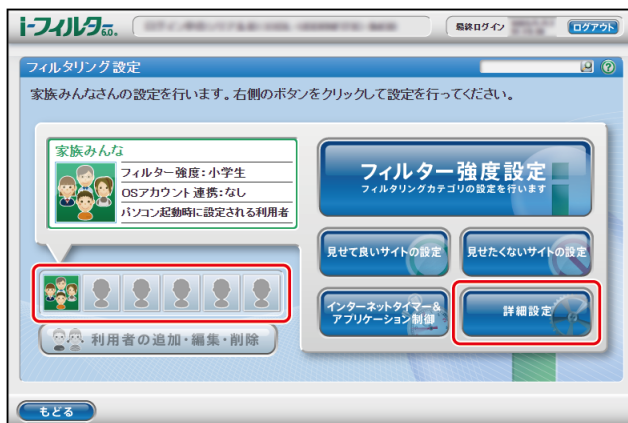
○ フィルター除外設定（プロセス）を有効にする

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『フィルタリング設定』画面で、フィルター除外設定（プロセス）を有効にする利用者をクリックし [詳細設定] ボタンをクリックします。



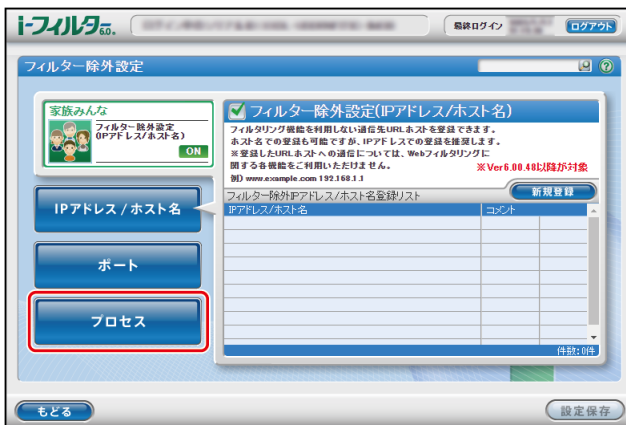
STEP3

『詳細設定』画面が開きます。[フィルター除外設定] ボタンをクリックします。



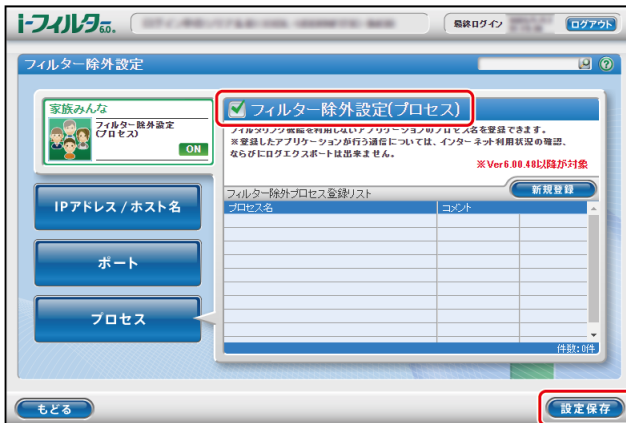
STEP4

『フィルター除外設定』画面が表示されます。[プロセス] ボタンをクリックします。



STEP5

[フィルター除外設定(プロセス)] にチェックマークを付けて [設定保存] ボタンをクリックします。画面左上に **ON** と表示され、フィルター除外設定(プロセス)が有効になります。



- + 補足**
- フィルター除外設定(プロセス)を無効にしたい場合は、[フィルター除外設定(プロセス)] のチェックマークをはずして [設定保存] ボタンをクリックします。画面左上に **OFF** と表示され、フィルター除外設定(プロセス)が無効になります。
 - [もどる] ボタンをクリックすると、『詳細設定』画面にもどります。

○ フィルタリング対象から除外するプロセス名を登録する

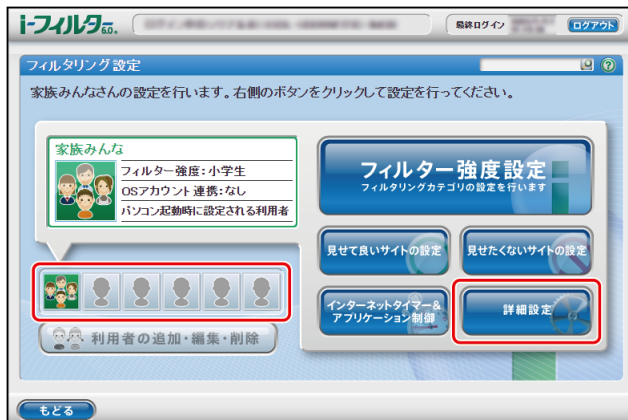
フィルター除外プロセス登録リストに除外プロセス名を登録する手順を説明します。フィルター除外プロセス登録リストは、2文字以上100文字以下、利用者1名につき100件まで登録できます。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『フィルタリング設定』画面で、プロセス名を登録する利用者をクリックして [詳細設定] ボタンをクリックします。



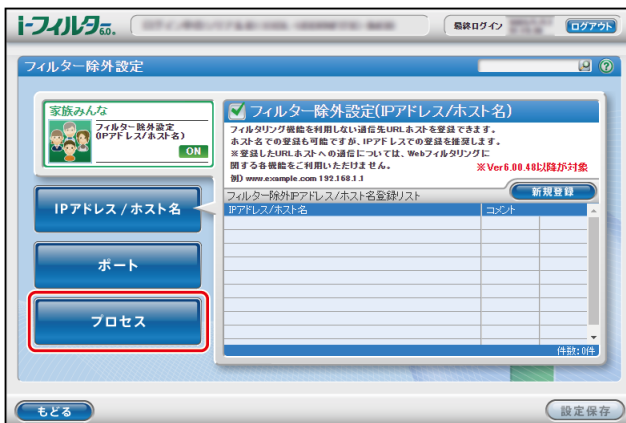
STEP3

『詳細設定』画面が開きます。[フィルター除外設定] ボタンをクリックします。



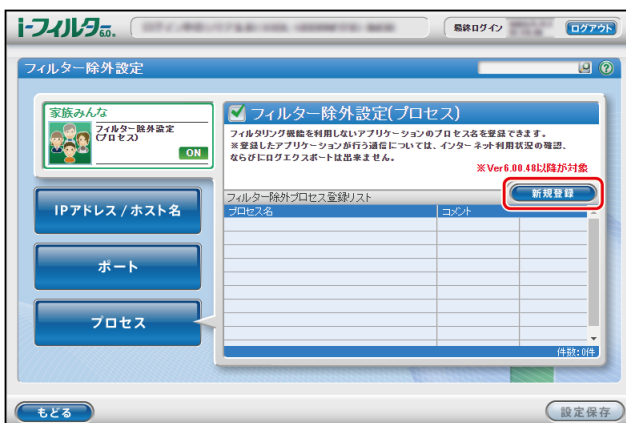
STEP4

『フィルター除外設定』画面が表示されます。[プロセス] ボタンをクリックします。



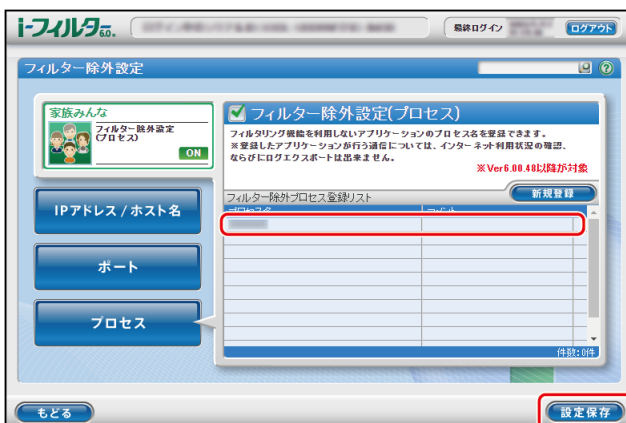
STEP5

[新規登録] ボタンをクリックします。



STEP6

フィルター除外プロセス登録リストにプロセス名を入力し [設定保存] ボタンをクリックします。



注意

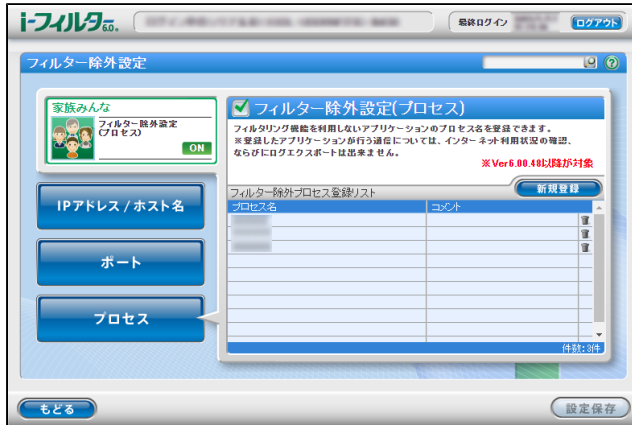
- フィルター除外プロセス登録リストに登録したプロセス名と完全一致するプロセスの通信はすべてフィルター除外されます。

+ 補足

- 「?」、「*」をワイルドカードとして使用することはできません。
- 「フィルター除外プロセス登録リスト」には、全角半角問わず32文字以下でコメントが入力できます。

STEP7

続けて登録する場合、STEP5、6を繰り返します。



+ 補足

- 「フィルター除外プロセス登録リスト」には利用者1名につき100件までのプロセス名を登録できます。
- 「フィルター除外プロセス登録リスト」のプロセス名をクリックすると、プロセス名の書き換えができます。
- 「設定保存」ボタンをクリックせずに「もどる」ボタンをクリックすると、追加入力したプロセス名は保存されません。
- 「もどる」ボタンをクリックすると、『詳細設定』画面にもどります。

○ フィルタリング対象から除外するプロセス名を削除する

フィルター除外プロセス登録リストからプロセス名を削除する手順について説明します。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で「フィルタリング設定」ボタンをクリックします。

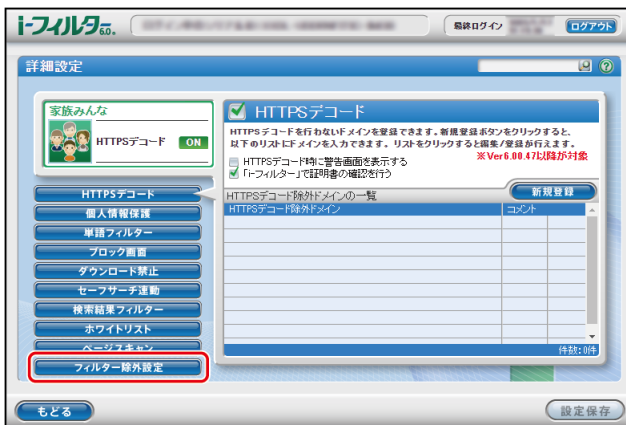
STEP2

『フィルタリング設定』画面で、プロセス名を削除したい利用者をクリックし「詳細設定」ボタンをクリックします。



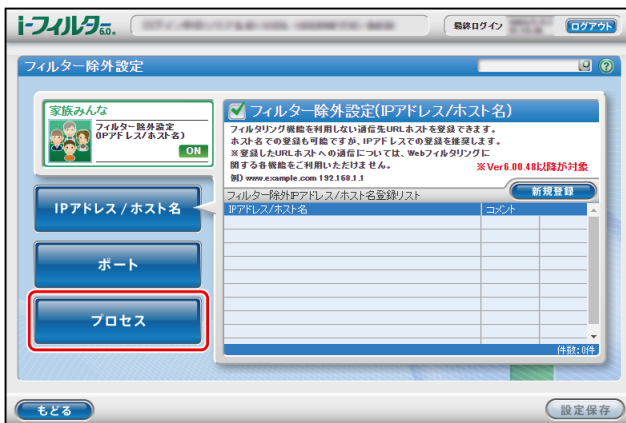
STEP3

『詳細設定』画面が開きます。[フィルター除外設定] ボタンをクリックします。



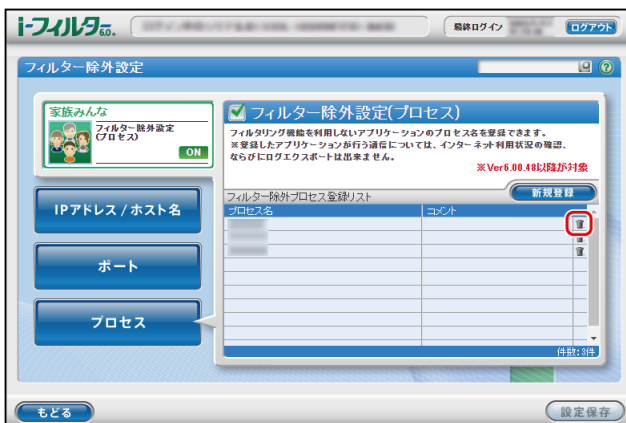
STEP4

『フィルター除外設定』画面が表示されます。[プロセス] ボタンをクリックします。



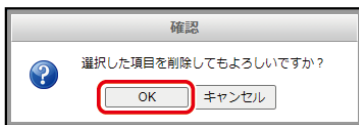
STEP5

フィルター除外プロセス登録リストから削除したいプロセス名の  ボタンをクリックします。



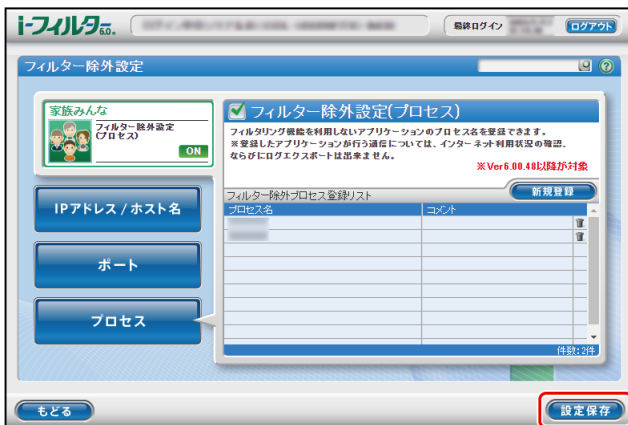
STEP6

以下のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。



STEP7

続けて削除する場合、STEP5、6を繰り返して[設定保存] ボタンをクリックします。



+ 補足

- [設定保存] ボタンをクリックせずに [もどる] ボタンをクリックすると、削除操作したプロセス名は削除されず保存されたままとなります。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『詳細設定』画面にもどります。

第4章 インターネット利用状況を知ろう

すべての利用者のインターネットアクセス履歴を見られます。アクセス数の多いサイト、サイトのカテゴリ、検索単語のランキングなどが一目でわかります。アクセス履歴からURLを選んでフィルターに追加することもできます。

+ 補足

- 「i-フィルター」の履歴は、直近90日まで保存されます。
- 管理画面の開き方については【2-2 「i-フィルター」を使う】をご覧ください。

4-1 どんな割合でサイトを見たかを知る（利用状況）

4-2 ブロックされたサイトを知る（ブロック履歴）

4-3 ブロックされたアプリケーションを知る（アプリケーション制御履歴）

4-4 検索に使用した単語のランキングを知る（検索単語ランキング）

4-5 よく利用するコミュニティサイトのランキングを知る（書き込み回数ランキング）

4-6 利用状況を詳しく知る（詳細履歴）

- 4-6-1 詳細履歴からURLを見せて良いサイトに登録する
 - 4-6-2 詳細履歴からURLを見せたくないサイトに登録する
 - 4-6-3 詳細履歴をCSV形式で保存する
-

4-1 どんな割合でサイトを見たかを知る（利用状況）

アクセスしたサイトとブロックされたサイトの割合を知ることができます。また、アクセスしたサイトのカテゴリの割合、ブロックされたサイトのカテゴリの割合をグラフから知ることができます。各履歴の集計は利用者ごとに表示することができます。

STEP1

設定画面の『トップページ』画面で [インターネット利用状況確認] ボタンをクリックします。



STEP2

『インターネット利用状況確認』画面が開きます。利用状況を確認したい利用者と集計期間を選びます。



+ 補足

- 『インターネット利用状況確認』の他の画面が表示されている場合、[利用状況] ボタンをクリックしてください。
- [すべての利用者] を選ぶと、すべての利用者のアクセス履歴が利用状況の表示対象となります。
- 集計期間は、日別/月別のいずれかを選べます。
- 日別では7日間、月別では直近90日の利用状況が表示されます。

STEP3

詳細な利用状況を見たい日付または月の棒グラフをクリックします。



+ 補足

- 棒グラフをクリックすることで、1日または1ヶ月ごとの詳細なカテゴリ割合を見ることができます。
- [カレンダー] ボタンをクリックすると、利用状況を表示する日付/月を選ぶことができます。
- カテゴリの内容については【8-1 フィルターのカテゴリ一覧】をご覧ください。

1日の履歴が表示されます。円グラフまたは[閲覧許可/ブロック数割合]をクリックすることで、詳細なカテゴリごとの割合が表示されます。さらに日別では閲覧頻度の高いサイトのURLも表示されます。



+ 補足

- [前日] ボタンをクリックすると表示している日の前日のグラフを、[前月] ボタンをクリックすると表示している月の前月のグラフを表示します。
- [翌日] ボタンをクリックすると表示している日の翌日のグラフを、[翌月] ボタンをクリックすると表示している月の翌月のグラフを表示します。
- [利用状況トップへ戻る] ボタンをクリックすると、利用状況のトップ画面にもどります。
- [もどる] ボタンをクリックすると『トップページ』画面にもどります。

4-2 ブロックされたサイトを知る（ブロック履歴）

アクセスしようとしてブロックされたサイトを見ることができます。日別にブロックされたサイトを表示できます。

STEP1

設定画面の『トップページ』画面で [インターネット利用状況確認] ボタンをクリックします。

STEP2

『インターネット利用状況確認』の画面が開きます。[ブロック履歴] ボタンをクリックします。



STEP3

履歴を表示したい利用者を選びます。



ブロックされたサイト（URL）の履歴が表示されます。

ブロック理由	ブロックされたサイト（URL）のブロック理由を表示します。
利用者名	ブロックされたサイト（URL）にアクセスした「i-フィルター」の利用者を表示します。
ブロックされたURL	ブロックされたサイトのURLを表示します。クリックするとウェブブラウザが開き、ブロックされたサイト(URL)を確認できます。

+ 補足

- [すべての利用者] を選ぶと、すべての利用者のアクセスがブロック履歴の表示対象となります。
- [ブロック理由]、[利用者名]、[ブロックされたURL] をクリックすると、クリックした項目で並べ替えることができます。
- [カレンダー] ボタンをクリックすると、ブロック履歴を表示する日付を選ぶことができます。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

4-3 ブロックされたアプリケーションを知る（アプリケーション制御履歴）

利用しようとして禁止されたアプリケーションが見られます。日別に禁止されたアプリケーションの履歴を表示します。

STEP1

設定画面の『トップページ』画面で [インターネット利用状況確認] ボタンをクリックします。

STEP2

『インターネット利用状況確認』画面が開きます。 [アプリケーション制御履歴] ボタンをクリックします。



STEP3

履歴を表示したい利用者を選びます。



起動およびブロックされたアプリケーションの履歴を日別で表示します。

ブロック発生時刻	起動およびブロックの発生した時刻を表示します。
利用者名	起動およびブロックされたアプリケーションの利用者を表示します。
プロセス名	起動およびブロックされたアプリケーションのプロセス名を表示します。
制限レベル	起動およびブロックされたアプリケーションの制限レベルを表示します。
動作	アプリケーションの動作を「起動」または「終了」で表示します。

+ 補足

- [すべての利用者] を選ぶと、利用者すべてのアクセス履歴がアプリケーションブロック履歴の表示対象となります。
- [ブロック発生時刻]、[プロセス名]、[制限レベル]、[動作] をクリックすると、クリックした項目で並べ替えることができます。
- [カレンダー] ボタンをクリックすると、アプリケーション履歴を表示する日付を選ぶことができます。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

4-4 検索に使用した単語のランキングを知る（検索単語ランキング）

インターネット検索サイトで検索に使用した単語を、日別/月別の検索回数のランキングで表示します。ランキングは利用者ごとに、表示することもできます。

STEP1

設定画面の『トップページ』画面で [インターネット利用状況確認] ボタンをクリックします。

STEP2

『インターネット利用状況確認』画面が開きます。 [検索単語ランキング] ボタンをクリックします。



STEP3

ランキングを表示したい利用者と集計期間を選びます。



検索に使用した単語を検索回数が多い順にランキングで表示します。

順位	検索に使用した単語の順位を表示します。
検索単語	検索に使用した単語を表示します。
回数	検索に使用した回数を表示します。

+ 補足

- [すべての利用者] を選ぶと、すべての利用者のアクセス履歴が検索単語ランキングの表示対象となります。
- 集計期間は日別/月別のいずれかを選べます。
- [順位]、[検索単語]、[回数] をクリックすると、クリックした項目で並べ替えることができます。
- ランキングは検索に使用した回数が多い単語を100件まで表示します。
- [カレンダー] ボタンをクリックすると、ランキングを表示する日付/月を選ぶことができます。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

4-5 よく利用するコミュニティサイトのランキングを知る（書き込み回数ランキング）

掲示板やブログ、SNSなどのコミュニティサイトでどれだけ情報を発信したかを日別/月別の書き込み回数のランキングで表示します。ランキングは利用者ごとに表示することもできます。

STEP1

設定画面の『トップページ』画面で [インターネット利用状況確認] ボタンをクリックします。

STEP2

『インターネット利用状況確認』画面が開きます。[書き込み回数ランキング] ボタンをクリックします。



STEP3

ランキングを表示したい利用者と集計期間を選びます。



書き込み数の多いサイト（URL）と書き込み回数がランキングで表示されます。

順位	書き込み数の多いサイト（URL）の順位を表示します。
サイト名	書き込み数の多いサイト（URL）を表示します。
回数	書き込み数を表示します。

+ 補足

- [すべての利用者] を選ぶと、すべての利用者のアクセス履歴が書き込み回数ランキングの表示対象となります。
- 集計期間は日別/月別のいずれかを選べます。
- [順位]、[サイト名]、[回数] をクリックすると、クリックした項目で並べ替えることができます。
- ランキングは書き込み回数が多いサイト（URL）を100件まで表示します。
- [カレンダー] ボタンをクリックすると、ランキングを表示する日付/月を選ぶことができます。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

4-6 利用状況を詳しく知る（詳細履歴）

利用者ごとの利用状況を詳しく表示することができます。さらに表示されたURLを見せて良いサイト、見せたくないサイトに登録したり、詳細履歴をファイルに保存することもできます。

STEP1

設定画面の『トップページ』画面で [インターネット利用状況確認] ボタンをクリックします。

STEP2

『インターネット利用状況確認』画面が開きます。 [詳細履歴] ボタンをクリックします。



STEP3

履歴を表示したい利用者を選びます。



表示される履歴の意味は以下のとおりです。

時刻	アクセスした時刻が表示されます。
利用者名	利用者名が表示されます。
カテゴリ	アクセスした結果が表示されます。
タイトル	アクセスしたウェブサイトのタイトルが表示されます。
URL	アクセスしたURLが表示されます。URLをクリックするとウェブブラウザで、クリックしたURLを開きます。

 補足

- [すべての利用者] を選ぶと、すべての利用者のアクセス履歴が詳細履歴の表示対象となります。
- [ブロックのみ] にチェックマークを付けると、ブロックされたサイトのみの詳しい履歴が表示されます。
- [ページのみ] にチェックマークを付けると、画像ファイル、音楽ファイル、スタイルシート、スクリプトファイルを除いたウェブページのみの詳しい履歴が表示されます。
- [時刻]、[利用者名]、[カテゴリ]、[タイトル]、[URL] をクリックすると、クリックした項目で並べ替えることができます。
- [カレンダー] ボタンをクリックすると、詳細履歴を表示したい日付を選ぶことができます。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

4-6-1 詳細履歴からURLを見せて良いサイトに登録する

詳細履歴に表示されたURLを「見せて良いサイト」（URL）登録リストに登録することができます。

STEP1

「見せて良いサイト」（URL）登録リストに登録したいURLの行を選びます。



+ 補足

- URLをクリックするとウェブブラウザでクリックしたURLを開きます。
- 行を複数クリックすることで、一度に複数の行に登録することができます。
- 選択状態の行をクリックすることで選択を解除できます。

STEP2

「見せて良いサイトに登録」ボタンをクリックします。



STEP3

確認のメッセージが表示されます。見せて良いサイト（URL）であることを確認し「OK」ボタンをクリックします。URLが「見せて良いサイト」（URL）登録リストに登録されます。

+ 補足

- 「見せて良いサイト」（URL）登録リストに登録されたURLを削除する方法については、【3-4-2 見せて良いサイトのURLを削除する】をご覧ください。

4-6-2 詳細履歴からURLを見せたくないサイトに登録する

詳細履歴に表示されたURLを「見せたくないサイト」（URL）登録リストに登録することができます。

STEP1

「見せたくないサイト」（URL）登録リストに登録したいURLの行を選びます。



+ 補足

- URLをクリックするとウェブブラウザでクリックしたURLを開きます。
- 行を複数クリックすることで、一度に複数の行に登録することができます。
- 選択状態の行をクリックすることで選択を解除できます。

STEP2

「見せたくないサイトに登録」ボタンをクリックします。



STEP3

確認のメッセージが表示されます。見せたくないサイト（URL）であることを確認し「OK」ボタンをクリックします。URLが「見せたくないサイト」（URL）登録リストに登録されます。

+ 補足

- 「見せたくないサイト」（URL）登録リストに登録されたURLを削除する方法については【3-5-2 見せたくないサイトのURLを削除する】をご覧ください。

4-6-3 詳細履歴をCSV形式で保存する

表示された詳細履歴の内容をCSV形式のファイルで保存することができます。CSV形式とは、テキストデータをカンマ (,) で区切ったファイルの形式です。テキストエディタや表計算ソフトなどで閲覧・編集することができます。

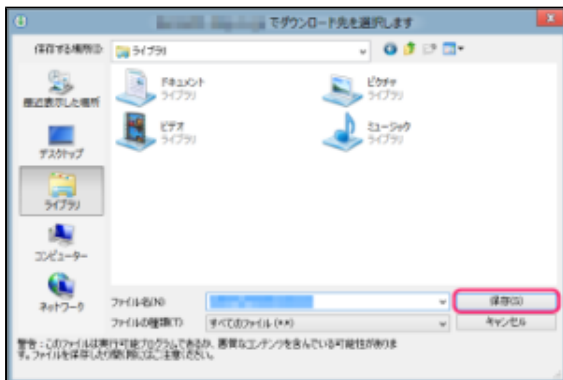
STEP1

[リストを保存] ボタンをクリックします。



STEP2

保存する場所を選び、[保存] ボタンをクリックします。



+ 補足

- ファイル名を変えない場合は、「if6_LogReport_yyyymmdd.csv」というファイル名で保存されます。yyyyは「年」（西暦2010など）、mmは「月」（01～12）、ddは「日」（01～31）で設定されており、保存する日の日付が入ります。

詳しい履歴がCSV形式のファイルで保存されます。

第5章 「i-フィルター」のブロックを解除する

一時的なブロック解除機能を有効にすることで、「i-フィルター」によるブロックを一時的に解除することができます。またブロック解除申請を有効にすることで、利用者はブロック画面が表示された際に管理者にブロック解除の申請をすることができます。管理者が閲覧を許可することで、利用者は申請したサイトを閲覧することができますようになります。

5-1 管理者がブロックを解除する（一時的なブロック解除機能）

5-2 ブロックされたサイトの閲覧許可を申請する(ブロック解除申請)

5-3 インターネットタイマーを延長する（タイマー延長）

5-4 ブロック解除申請をされたサイトの閲覧を許可する

- 5-4-1 ブロック解除申請メールからサイトの閲覧を許可する
 - 5-4-2 管理画面からサイトの閲覧を許可する
-

5-1 管理者がブロックを解除する（一時的なブロック解除機能）

「i-フィルター」によるブロックを一時的に解除することができます。解除されている間はすべてのサイトが閲覧可能な状態になります。一時的なブロック解除機能を有効にする方法は【3-8-4 ブロック画面の設定をする（ブロック画面）】の【■表示されるブロック画面を設定する】をご覧ください。

⚠ 注意

- 一時的なブロック解除機能には管理パスワードが必要です。
- インターネットタイマーの設定で [禁止時間帯になった場合、および制限時間を超えた場合は自動的にブラウザを閉じる] にチェックマークを付けている場合、インターネットタイマーによるブロックではウェブブラウザが閉じるため、「ブロック解除機能」がご利用いただけなくなります。インターネットタイマーの設定について、詳しくは【3-6 インターネットの利用時間を制限する(インターネットタイマー)】をご覧ください。
- 個人情報保護でブロックされた場合、ブロック解除はできません。

STEP1

「i-フィルター」のブロック画面が表示されます。



STEP2

管理パスワードを入力し、[ブロック解除] ボタンをクリックします。



+ 補足

- ブロック解除は3分間有効です。
- ブロック解除の状態では「i-フィルター」によるブロックはかかりません。

5-2 ブロックされたサイトの閲覧許可を申請する(ブロック解除申請)

インターネットタイマーやカテゴリによるブロックで閲覧することができないときに、利用者は管理者にブロック解除申請を送信することができます。ブロック解除申請メールはお客様情報に登録されたE-Mailアドレスまたはメール通知で設定されたE-Mailアドレスに送信されます。メール通知の設定については【6-5 メール通知の設定をする】をご覧ください。ブロック解除申請を有効にする方法は【3-8-4 ブロック画面の設定をする (ブロック画面)】の【■表示されるブロック画面を設定する】をご覧ください。

注意

- インターネットタイマーの設定で [禁止時間帯になった場合、および制限時間を超えた場合は自動的にブラウザを閉じる] にチェックマークを付けている場合、インターネットタイマーによるブロックではウェブブラウザが閉じるため、「ブロック解除申請」はご利用いただけなくなります。インターネットタイマーの設定について、詳しくは【3-6 インターネットの利用時間を制限する(インターネットタイマー)】をご覧ください。

STEP1

「i-フィルター」のブロック画面が表示されます。



STEP2

【お願い】 ボタンをクリックします。



+ 補足

- 【このサイトが見たい場合は、ここに理由 (32文字以内) を入力して【お願い】 ボタンをクリックしてください】の欄にコメントを入力することで、申請にコメントを付けて送信することができます。
- ブロック解除申請は利用者1人につき、1日に最大10回まで行うことができます。
- ブロック解除申請の有効期間は24時間です。24時間を過ぎた申請は無効になります。
- ブロック理由がインターネット禁止時間の場合、タイマー延長申請が送信されます。
- ブロック解除申請はお客様情報に登録されたE-Mailアドレス、または、メール通知で設定されたE-Mailアドレスに送信されます。メール通知の設定については【6-5 メール通知の設定をする】をご覧ください。
- 【前のページに戻る】 ボタンをクリックすると1つ前のページにもどります。

5-3 インターネットタイマーを延長する（タイマー延長）

タイマー延長申請に対して、インターネットタイマーの時間帯、制限時間の延長を許可する操作を説明します。タイマー延長申請について、詳しくは【5-2 ブロックされたサイトの閲覧許可を申請する(ブロック解除申請)】をご覧ください。

STEP1

管理画面を開きます。

+ 補足

- ブロック解除申請はお客さま情報に登録されたE-Mailアドレス、またはメール通知で設定されたE-Mailアドレスに送信されます。メール通知の設定については【6-5 メール通知の設定をする】をご覧ください。

STEP2

管理画面の『トップページ』画面で [タイマー延長ブロック解除] ボタンをクリックします。



+ 補足

- タイマー延長、ブロック解除申請が送信されると、『トップページ』画面の [タイマー延長ブロック解除] ボタンに、「申請がきました。確認してください。」と表示されます。

STEP3

『インターネットタイマー延長申請』画面が開きます。利用者をクリックし、延長する時間をスライダーを動かして設定し、[タイマー延長する] ボタンをクリックします。



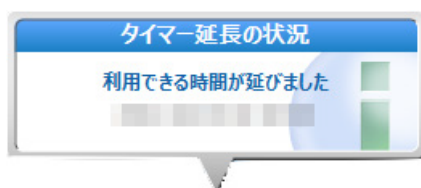
申請者からのメッセージ	タイマー延長申請時に入力されたメッセージを表示します。
申請時刻	タイマー延長申請が送信された時刻を表示します。
申請者が本日インターネットを利用した時間	申請者が本日インターネットを利用した時間を表示します。申請時刻により利用時間は多少前後することがあります。
インターネットタイマー延長	タイマーを延長する時間をスライダーを動かして選びます。

+ 補足

- 『ブロック解除申請』画面が表示されている場合は、[タイマー延長] ボタンをクリックします。
- タイマー延長申請は申請した当日のみ有効です。
- タイマー延長申請を許可しない場合は、[許可しない] ボタンをクリックします。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

STEP4

延長された時刻が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。申請が処理されると「i-フィルター」からポップアップでメッセージが表示されます。



5-4 ブロック解除申請をされたサイトの閲覧を許可する

ブロック解除申請を受け取った管理者は、管理画面またはメールに記載されたURLからブロック解除を許可する設定を行うことができます。許可されたURLは「見せて良いサイト」（URL）登録リストに登録され、閲覧が可能になります。

5-4-1 ブロック解除申請メールからサイトの閲覧を許可する

ブロック解除申請のメールからサイトの閲覧を許可する方法を説明しています。

STEP1

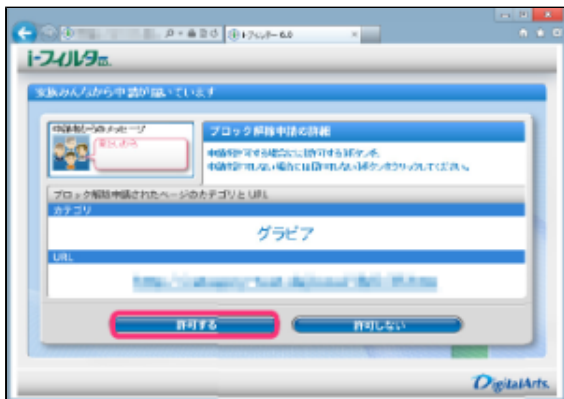
ブロック解除申請メール本文のURLにアクセスします。

+ 補足

- ブロック解除申請はお客様情報に登録されたE-Mailアドレス、またはメール通知で設定されたE-Mailアドレスに送信されます。メール通知の設定については【6-5 メール通知の設定をする】をご覧ください。

STEP2

サイトの閲覧を許可する場合は「許可する」をクリックします。



申請者からのメッセージ	ブロック解除申請時に申請者が入力したメッセージを表示します。
カテゴリ	ブロック解除申請がされているサイト（URL）のカテゴリを表示します。
URL	ブロック解除申請がされているサイト（URL）を表示します。URLをクリックすると、申請されているサイト（URL）が開きます。

+ 補足

- 閲覧を許可しない場合は「許可しない」をクリックします。
- 閲覧を許可されたサイト（URL）は、ブロック解除申請をした利用者の「見せて良いサイト」（URL）登録リストに登録されます。

5-4-2 管理画面からサイトの閲覧を許可する

ブロック解除申請を受けて管理画面からサイトの閲覧を許可する方法を説明しています。

STEP1

管理画面を開きます。

+ 補足

- ブロック解除申請はお客さま情報に登録されたE-Mailアドレス、または、メール通知で設定されたE-Mailアドレスに送信されます。メール通知の設定については【6-5 メール通知の設定をする】をご覧ください。

STEP2

管理画面の『トップページ』画面で [タイマー延長ブロック解除] ボタンをクリックします。

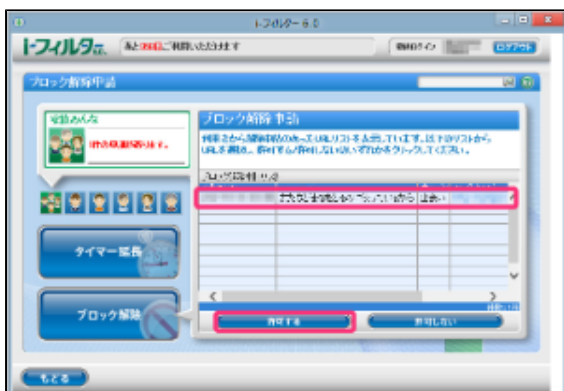


+ 補足

- タイマー延長、ブロック解除申請が送信されていると、『トップページ』画面の [タイマー延長ブロック解除] ボタンに「申請がきました。確認してください。」と表示されます。

STEP3

『ブロック解除申請』画面が開きます。利用者と閲覧を許可する申請を選択し [許可する] ボタンをクリックします。



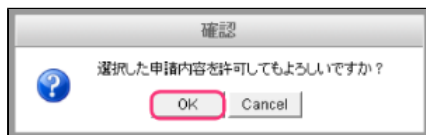
申請時刻	ブロック解除申請が送信された時刻が表示されます。
メッセージ	ブロック解除申請時に申請者が入力したメッセージを表示します。
カテゴリ	ブロック解除申請がされているサイト (URL) のカテゴリを表示します。
サイト (URL)	ブロック解除申請をされているサイト (URL) を表示します。URLをクリックすると、ウェブブラウザで申請されているサイト (URL) が開きます。

+ 補足

- 閲覧を許可しない場合は「許可しない」ボタンをクリックします。
- 「もどる」ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

STEP4

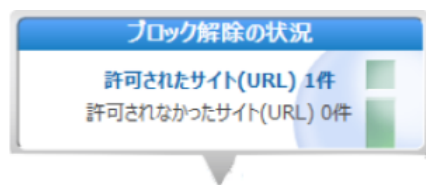
確認のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。



+ 補足

- 閲覧を許可されたサイト（URL）は、ブロック解除申請を行った利用者の「見せて良いサイト」（URL）登録リストに登録されます。

ブロック解除申請が許可/却下されると「i-フィルター」から以下のポップアップでメッセージが表示されます。



第6章 「i-フィルター」の設定をする(システム設定)

「i-フィルター」を使いこなすためのさまざまな設定について説明します。

6-1 「i-フィルター」を最新の状態にする(データ更新)

- 6-1-1 「i-フィルター」を自動でデータ更新する

6-2 履歴保存の設定をする

6-3 「i-フィルター」の管理パスワードを変更する

6-4 「i-フィルター」の起動に関する設定をする

6-5 メール通知の設定をする

6-6 ライセンス情報を見る

6-1 「i-フィルター」を最新の状態にする(データ更新)

フィルターデータや「i-フィルター」のプログラムは随時更新されています。最新のフィルターデータやプログラムファイルをインターネット経由で手に入れ、フィルターの精度を高めます。これを「データ更新」と呼びます。データ更新には、以下の2つの方法があります。

○【「i-フィルター」を自動でデータ更新する】

操作をしなくても自動的にデータ更新が行われます。常に最新の「i-フィルター」をお使いいただけます。

○【「i-フィルター」を手動でデータ更新する】

お好きなときにデータ更新ができます。詳しくは【7-3-1 「i-フィルター」の最新のバージョンを確認する】をご覧ください。

6-1-1 「i-フィルター」を自動でデータ更新する

特別な操作をしなくても指定した間隔で、自動的に最新のファイルをダウンロードしてデータ更新を行うことを「自動更新」と呼びます。「i-フィルター」を常に最新の状態に保つためには自動更新の設定を有効にすることをお勧めします。初期設定では自動更新が有効になっています。

+ 補足

- データ更新中にインターネットへのアクセスが切断されても、アクセス復旧後にダウンロードを再開し、データ更新を行います。

STEP1

設定画面の『トップページ』画面で [システム設定] ボタンをクリックします。



STEP2

『システム設定』画面が開きます。設定したい内容を変更して、[設定保存] ボタンをクリックします。



設定項目	設定内容
フィルターデータの自動更新を有効にする	チェックマークを付けると、フィルターデータを自動更新するよう設定されます。
プログラムの自動更新を有効にする	チェックマークを付けると、プログラムを自動更新するよう設定されます。
自動更新中に進行状況を表示する	チェックマークを付けると、自動更新中に進行状況が表示されるよう設定されます。
自動更新の確認間隔	自動更新する場合、最新のフィルターデータまたはプログラムがないか確認する間隔を設定します。以下から時間の間隔を選べます。初期設定では、「24時間ごと」が設定されています。 【3時間ごと／6時間ごと／9時間ごと／12時間ごと／24時間ごと／48時間ごと】

+ 補足

- 『システム設定』画面の他の画面が表示されている場合は、[データ更新] ボタンをクリックします。
- データ更新中でもインターネットにアクセスしたり、フィルター機能を使うことができます。
- 「i-フィルター」が起動してから、5分後に最新フィルターデータを、さらに5分後に最新のプログラムデータを自動で確認します。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

6-2 履歴保存の設定をする

【第4章 インターネット利用状況を知ろう】の各種履歴は、インターネットのアクセス履歴を基に作成します。履歴保存を無効にするとインターネット利用状況確認の履歴が表示されなくなります。

STEP1

設定画面の『トップページ』画面で [システム設定] ボタンをクリックします。

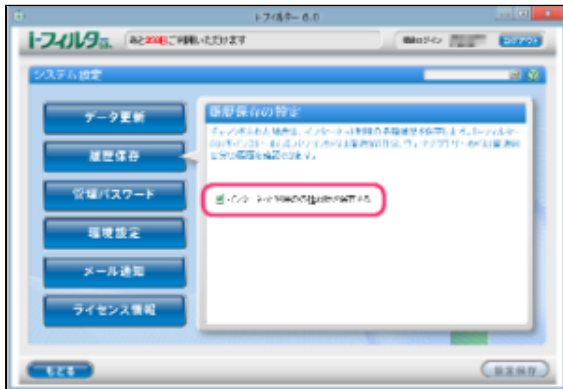
STEP2

『システム設定』画面が開きます。[履歴保存] ボタンをクリックします。



STEP3

[インターネット利用の各種履歴を保存する] にチェックマークを付けて、[設定保存] ボタンをクリックします。



+ 補足

- [インターネット利用の各種履歴を保存する] のチェックマークをはずすことで、履歴保存の設定が無効になります。
- 初期設定で、履歴保存の設定は有効になっています。
- 履歴保存の設定を無効に変更すると、ウェブブラウザから開いた管理画面では、履歴が表示されなくなります。また、「i-フィルター」を再起動すると「i-フィルター」から開いた管理画面でも、履歴が表示されなくなります。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

6-3 「i-フィルター」の管理パスワードを変更する

「i-フィルター」の管理パスワードを変更する手順を説明します。

注意

- 管理パスワードを忘れてしまうと管理画面にログインできなくなります。ログイン画面で「管理パスワードをお忘れの方はこちら」をクリックして、管理パスワードを再設定する手続きを行ってください。

STEP1

設定画面の『トップページ』画面で [システム設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『システム設定』画面が開きます。[管理パスワード] ボタンをクリックします。



STEP3

[新しい管理パスワード] と [新しい管理パスワード (確認)] に新しい管理パスワードを入力して、[設定保存] ボタンをクリックします。



+ 補足

- 管理パスワードは半角英数字6字以上15字以上で入力します。大文字と小文字は区別されます。
- 管理パスワードは、「i-フィルター」の設定を行うための大切なものです。忘れないように大切に保管してください。
- 管理パスワードは、他の利用者に知られると設定の変更ができてしまいますので、注意してください。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

6-4 「i-フィルター」の起動に関する設定をする

「i-フィルター」の起動に関する設定について説明します。

○ 自動的に起動する/しない

パソコンを起動すると、自動的に「i-フィルター」が起動するよう設定ができます。初期設定では、「i-フィルター」が自動的に起動するよう設定されています。セキュリティのために自動的に起動するよう設定しておくことをお勧めします。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で [システム設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『システム設定』画面が開きます。[環境設定] ボタンをクリックします。



STEP3

[環境設定] で [パソコン起動時に「i-フィルター」を自動起動させる] にチェックマークを付けて、[設定保存] ボタンをクリックします。






+ 補足

- 自動的に起動させたくない場合は [パソコン起動時に「i-フィルター」を自動起動させる] のチェックマークをはずし [設定保存] ボタンをクリックします。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

○ 通知領域 (タスクトレイ) にアイコンを表示する/しない

通知領域 (タスクトレイ) に、「i-フィルター」のアイコン  を表示させる手順を説明します。初期設定では、通知領域 (タスクトレイ) にアイコンを表示するよう設定されています。

+ 補足

- 通知領域 (タスクトレイ) の  から、i-フィルター管理画面を表示させることができます。詳しくは【2-2 「i-フィルター」を使う】をご覧ください。
- 通知領域 (タスクトレイ) の  の状態から、「i-フィルター」の利用期限を知ることができます。詳しくは【7-1 通知領域 (タスクトレイ) のアイコンを使う】をご覧ください。
- 通知領域 (タスクトレイ) の  にカーソルを合わせると、現在のフィルタリング対象の利用者がポップアップで表示されます。
- 管理者によりタイマー延長申請、ブロック解除申請を [許可する] ボタンまたは [許可しない] ボタンがクリックされた場合は、ポップアップで申請の結果が表示されます。

STEP1

設定画面の『トップページ』で [システム設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『システム設定』画面が開きます。[環境設定] ボタンをクリックします。




STEP3

[環境設定] で [通知領域 (タスクトレイ) に「i-フィルター」のアイコンを表示する] にチェックマークを付けて [設定保存] ボタンをクリックします。



+ 補足

- 通知領域（タスクトレイ）に  を表示させたくない場合は、[通知領域（タスクトレイ）に「i-フィルター」のアイコンを表示する]のチェックマークをはずし、[設定保存] ボタンをクリックします。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

○ 起動時にロゴ画面を表示する／しない

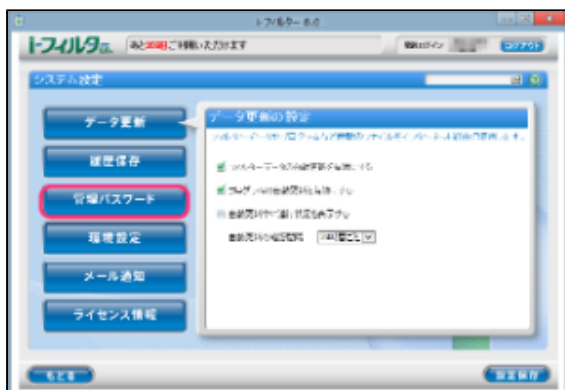
「i-フィルター」の手動起動時に起動ロゴ画面を表示させる方法を説明します。初期設定では手動起動時に起動ロゴ画面を表示する設定になっています。「i-フィルター」が自動起動した場合は起動ロゴは表示されません。

STEP1

管理画面の『トップページ』で [システム設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『システム設定』画面が開きます。[環境設定] ボタンをクリックします。



STEP3

[環境設定] で [「i-フィルター」の起動ロゴ画面を表示する] にチェックマークを付けて、[設定保存] ボタンをクリックします。



+ 補足

- 起動ロゴ画面を表示させたくない場合は、[「i-フィルター」の起動ロゴ画面を表示する]のチェックマークをはずし [設定保存] ボタンをクリックします。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

6-5 メール通知の設定をする

「i-フィルター」はインターネット利用状況確認のレポートメールやブロック解除申請メールを送信します。メールを受信するE-Mailアドレスの設定について説明します。

○ レポートメールを送信する

「i-フィルター」は1日1回、指定した時間帯にインターネットの利用状況をメールで通知します。受信するE-Mailアドレスは、最大3件まで登録できます。メール通知設定に受信するE-Mailアドレスを設定していない場合、お客さま情報に登録されているE-Mailアドレスにレポートが送信されます。受信するE-Mailアドレスを1件でも設定している場合、設定されているE-Mailアドレスにのみレポートが送信されます。受信するE-Mailアドレスの設定については、本節の【○受信するE-Mailアドレスを設定する】をご覧ください。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で [システム設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『システム設定』画面が開きます。[メール通知] ボタンをクリックします。



STEP3

[レポートメールを送信する] にチェックマークを付け、送信する時間帯を選択し [設定保存] ボタンをクリックします。



+ 補足

- レポートメールを送信したくない場合は [レポートメールを送信する] のチェックマークをはずして、[設定保存] ボタンをクリックします。
- インターネットを利用していない日付のレポートメールは送信されません。
- レポートメールを送信する時間帯は、以下のいずれかを選べます。
【0～6時の間/6時～12時の間/12時～18時の間/18時～24時の間】
- [もどる] ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

○ 解除申請メールを送信する

ブロック解除申請、タイマー延長申請のメールを送信する設定を説明します。E-Mailアドレスは最大3件まで登録できます。メール通知設定で受信するE-Mailアドレスを設定していない場合、お客さま情報に登録されているE-Mailアドレスに解除申請メールが送信されます。受信するE-Mailアドレスを1件でも設定している場合、設定されているE-Mailアドレスにのみ解除申請メールが送信されます。受信するE-Mailアドレスの設定については、【○受信するE-Mailアドレスを設定する】をご覧ください。

STEP1

管理画面の『トップページ』で [システム設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『システム設定』画面が開きます。 [メール通知] ボタンをクリックします。



STEP3

[解除申請メールを送信する] にチェックマークを付けて [設定保存] ボタンをクリックします。



+ 補足

- 解除申請メールを送信したくない場合は [解除申請メールを送信する] のチェックマークをはずして、 [設定保存] ボタンをクリックします。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

○ 受信するE-Mailアドレスを設定する

「i-フィルター」のレポートメール、解除申請メールを受信するE-Mailアドレスを入力し、[設定保存] ボタンをクリックします。E-Mailアドレスは最大3件まで設定することができます。E-Mailアドレスが設定されていない場合、レポートメール、解除申請メールはお客さま情報登録時に登録したE-Mailアドレスに送信されます。受信するE-Mailアドレスを1件でも設定している場合は、レポートメール、解除申請メールは設定されているE-Mailアドレスにのみ送信されます。



+ 補足

- E-Mailアドレス1/E-Mailアドレス2/E-Mailアドレス3にそれぞれレポートメール、解除申請メールを受信したいパソコンや携帯電話のE-Mailアドレスを入力してください。
- [確認メールを送信する際にはチェックを解除してください] のチェックマークをはずし [確認メール送信] ボタンをクリックします。設定したE-Mailアドレスに確認メールが送信されます。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。


! 注意

- 「i-フィルター」は「i-filter.jp」のドメインでメールを送信します。ドメイン指定受信設定をしている場合、「i-filter.jp」のドメインを受信できるように設定してください。

6-6 ライセンス情報を見る

「i-フィルター」のライセンス情報を表示できます。シリアルID、利用期限、認証日時がわかります。サポートをお受けいただく場合に必要となる情報です。

+ 補足

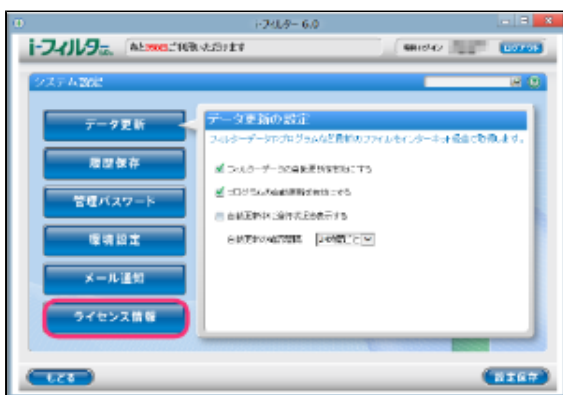
- 通知領域（タスクトレイ）の  をクリックして、[サポート] → [バージョン情報] をクリックしてもライセンス情報を見ることができます。

STEP1

管理画面の『トップページ』画面で [システム設定] ボタンをクリックします。

STEP2

『システム設定』画面が開きます。[ライセンス情報] ボタンをクリックします。



STEP3

ライセンス情報が表示されます。



+ 補足

- [もどる] ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

第7章 その他

「i-フィルター」を使うための便利な機能をご紹介します。

7-1 通知領域（タスクトレイ）のアイコンを使う

7-2 プロキシサーバーを設定する

7-3 バージョン情報を見る

- 7-3-1 「i-フィルター」の最新のバージョンを確認する
- 7-3-2 「i-フィルター」の認証情報を確認する

7-4 「i-フィルター」を停止／起動する

- 7-4-1 「i-フィルター」を停止する
- 7-4-2 「i-フィルター」を起動する

7-5 「i-フィルター」の機能をスタート画面から使う

- 7-5-1 「i-フィルター」の機能をスタート画面から使う

7-6 「i-フィルター」月額版の利用期限と解約について

- 7-6-1 月額版の利用期限について
- 7-6-2 「i-フィルター」月額版の解約について

7-7 「i-フィルター」をアンインストールする

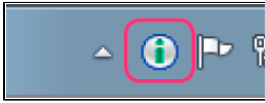
- 7-7-1 Windows 11をお使いの場合
- 7-7-2 Windows 10をお使いの場合
- 7-7-3 Windows 8.1をお使いの場合



7-8 旧バージョンからアップグレードを実施する

- 7-8-1 「i-フィルター 5.0」からのアップグレード方法
- 7-8-2 「i-フィルター 4」からのアップグレード方法

7-1 通知領域（タスクトレイ）のアイコンを使う

通知領域（タスクトレイ）に表示される「i-フィルター」のアイコンから「i-フィルター」の設定や利用者の切り替えなどを行うことができます。通知領域（タスクトレイ）のアイコンで、「i-フィルター」の状態がわかります。




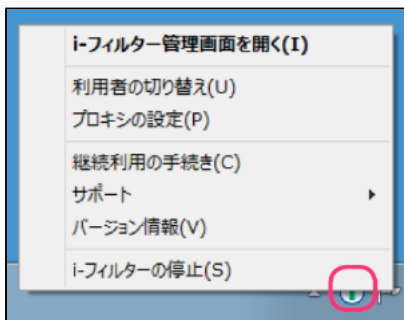
 (緑色)	フィルター機能がオンです。
 (灰色)	「i-フィルター」のライセンスが停止されています。ライセンスが停止されている場合は「i-フィルター」をご利用いただけません。「i-フィルター」をアンインストールしてください。 詳しくは、【7-7 「i-フィルター」をアンインストールする】をご覧ください。

+ 補足

- お客様の設定により、「i-フィルター」のアイコンが隠れている場合があります。通知領域（タスクトレイ）のアイコンにある [△] をクリックすると、隠れていた通知領域（タスクトレイ）のアイコンが表示されます。
- お客様の設定により、通知領域（タスクトレイ）のアイコンが表示されないよう設定されている場合があります。詳しくは【6-4 「i-フィルター」の起動に関する設定をする】の「○通知領域（タスクトレイ）にアイコンを表示する/しない」をご覧ください。

■ 通知領域（タスクトレイ）のアイコンからできること

通知領域（タスクトレイ）の  をクリック（または右クリック）すると、ポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューの項目をクリックすると、項目を実行できます。



通知領域（タスクトレイ）のアイコンからは、以下の項目が実行できます。

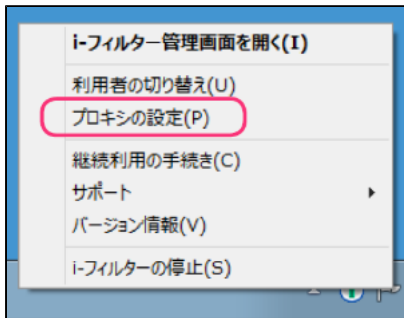
i-フィルターの 管理画面を開く	『管理画面』が表示されます。詳しくは【2-2 「i-フィルター」を使う】をご覧ください。	
利用者の切り替え	『利用者の切り替え』画面が表示されます。詳しくは【3-1-4 利用者を切り替える】をご覧ください。	
プロキシの設定	プロキシの設定ができます。詳しくは【7-2 プロキシサーバーを設定する】をご覧ください。	
継続利用の手続き	「i-フィルター」を継続利用するための手続きを行うことができます。	
サポート	よくある質問	ウェブブラウザが開き、よくある質問が表示されます。
	お問い合わせフォーム	ウェブブラウザが開き、お問い合わせフォームが表示されます。
バージョン情報	『バージョン情報』画面が表示されます。詳しくは【7-3 バージョン情報を見る】をご覧ください。	
i-フィルターの停止	「i-フィルター」を停止します。詳しくは【7-4 「i-フィルター」を停止/起動する】をご覧ください。	

7-2 プロキシサーバーを設定する

インターネットにアクセスするのにプロキシサーバーを設定している場合は、「i-フィルター」でもプロキシサーバーの設定をする必要があります。通常は設定をする必要はありません。

STEP1

通知領域（タスクトレイ）の  をクリックし、ポップアップメニューから [プロキシの設定] をクリックします。

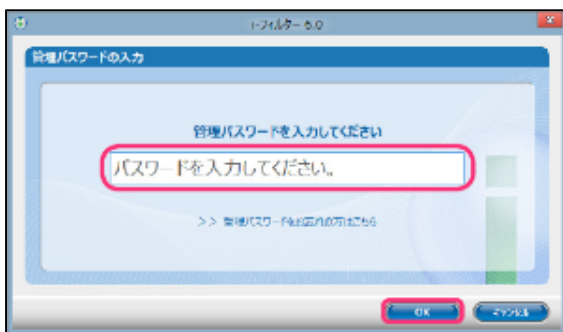


+ 補足

- Windowsのスタートボタンから [すべてのプログラム]（または [プログラム]）→ [i-フィルター6.0] → [プロキシの設定] をクリックしても、同様の操作です。

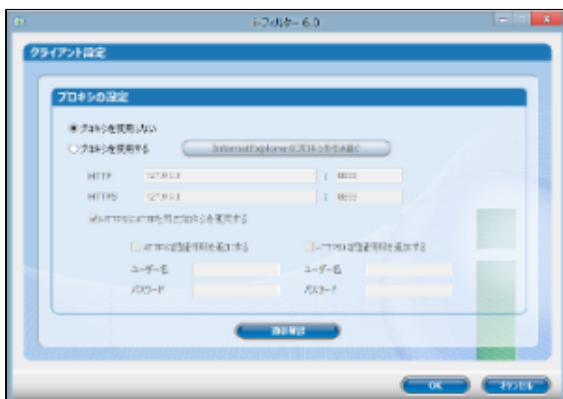
STEP2

『管理パスワードの入力』画面が開きます。管理パスワードを入力し [OK] ボタンをクリックします。



STEP3

『クライアント設定』画面が開きます。[プロキシの設定] でプロキシサーバーの設定をし、[OK] ボタンをクリックします。



設定項目	設定内容	
プロキシを使用しない	プロキシサーバーを使用しません。※通常は、この設定を選んでください。	
プロキシを使用する	プロキシサーバーを使用します。	
	Internet Explorerの プロキシを引き継ぐ	Internet Explorerのプロキシサーバー設定を自動で読み込みます。
	HTTPSにHTTPと同じ プロキシを使用する	チェックマークを付けることで、HTTPSにHTTPで設定しているのと同じプロキシを使用します。チェックマークをはずすと、個別の設定ができます。
	プロキシサーバーを手動で設定します。	
	アドレス	プロキシサーバーのアドレスを入力します。※半角英数記号で入力してください。
	ポート	プロキシサーバーのポートを入力します。※半角数字で入力してください。
	HTTP/HTTPSに認証 情報を追加する	プロキシサーバーが認証情報を必要とする場合、チェックマークを付けて、【ユーザー名】と【パスワード】を設定します。

補足

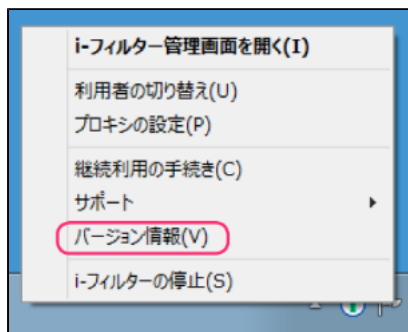
- プロキシサーバーを手動で設定する場合は、アドレスとポートを登録する必要があります。
- プロキシサーバーは「HTTP」「HTTPS」に対応しています。必要に応じて設定をしてください。
- [通信確認] ボタンをクリックすると、指定されている設定で通信が行えるか確認します。
- [キャンセル] ボタンをクリックすると、変更した内容を反映させずに『クライアント設定』画面を閉じます。

7-3 バージョン情報を見る

「i-フィルター」のバージョン情報、ライセンス情報を表示できます。プログラムのバージョンやサービスコード、最終認証日時、シリアルID、利用期限を確認できます。サポートをお受けいただく場合に必要となる情報です。

STEP1

通知領域（タスクトレイ）の  をクリックし、ポップアップメニューから「バージョン情報」をクリックします。



STEP2

『バージョン情報画面』が開きます。バージョン情報とライセンス情報が表示されます。



表示・設定項目		表示・設定内容
バージョン情報	プログラムバージョン	「i-フィルター」のプログラムバージョンが表示されます。
	サービスコード	「i-フィルター」のサービスコードが表示されます。
	更新日時	「i-フィルター」のフィルターデータ、プログラムの更新を行った日時が表示されます。
	[最新のバージョンを確認する]	「i-フィルター」のフィルターデータ、プログラムの最新のバージョンを確認します。詳しくは【7-3-1 「i-フィルター」の最新のバージョンを確認する】をご覧ください。
ライセンス情報	シリアルID	ご利用中のシリアルIDが表示されます。
	利用期限	お客さまが「i-フィルター」をご利用になれる期限が表示されます。
	認証日時	認証を行った日時が表示されます。
	[認証情報を更新する]	ライセンスの認証を行います。詳しくは【7-3-2 「i-フィルター」の認証情報を確認する】をご覧ください。


7-3-1 「i-フィルター」の最新のバージョンを確認する

最新のフィルターデータやプログラムファイルを確認します。最新のバージョンを確認した場合、ダウンロードし、データ更新が実行されます。

+ 補足

- データ更新中にインターネットへのアクセスが切断されても、アクセス復旧後にダウンロードを再開し、データ更新を行います。

STEP1

通知領域（タスクトレイ）の  をクリックし、ポップアップメニューから [バージョン情報] をクリックします。

STEP2

[最新のバージョンに更新する] ボタンをクリックします。

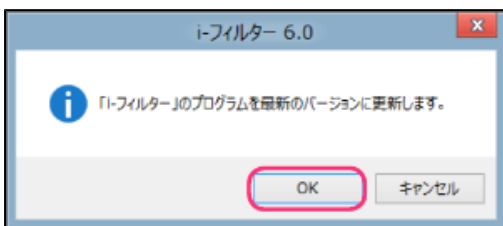


+ 補足

- データ更新中であってもインターネットにアクセスしたり、フィルター機能を使えます。
- インストール直後に自動でデータ更新が行われます。
- 自動更新機能を無効にするには、【6-1-1 「i-フィルター」を自動でデータ更新する】をご覧になり、[フィルターデータの自動更新を有効にする] と [プログラムの自動更新を有効にする] のチェックマークをはずしてください。

STEP3

以下のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。



「i-フィルター」の最新のフィルターデータとプログラムデータを取得します。

+ 補足

- プログラムデータの更新が行われたときは、パソコンを再起動してください。

7-3-2 「i-フィルター」の認証情報を確認する

「i-フィルター」のライセンスの認証を行うことができます。

STEP1

通知領域（タスクトレイ）の  をクリックし、ポップアップメニューから [バージョン情報] をクリックします。

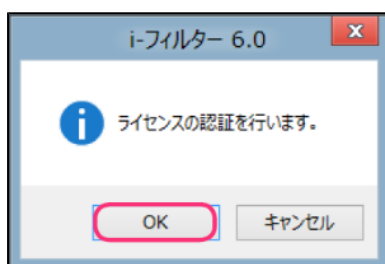
STEP2

[認証情報を更新する] ボタンをクリックします。



STEP3

以下のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。



ライセンスの認証が行われ、ライセンス情報の表示が更新されます。

7-4 「i-フィルター」を停止／起動する

「i-フィルター」の停止と起動の手順を説明します。


7-4-1 「i-フィルター」を停止する

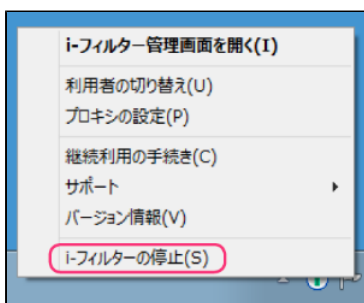
「i-フィルター」を停止させることができます。「i-フィルター」を停止させると、「i-フィルター」の機能がご利用できません。

注意

- 「i-フィルター」はWindowsの管理者権限を持つユーザーのみ停止することができます。

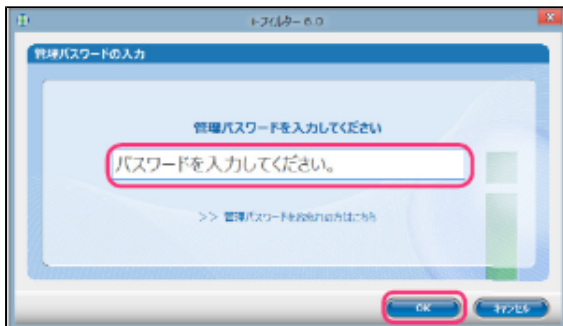
STEP1

通知領域（タスクトレイ）の  をクリックし、ポップアップメニューから [i-フィルターの停止] をクリックします。



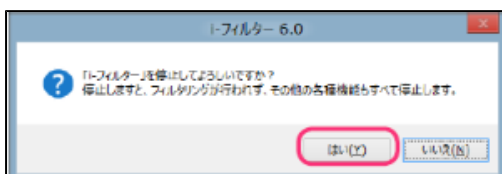
STEP2

『管理パスワードの入力』画面が開きます。管理パスワードを入力し [OK] ボタンをクリックします。



STEP3

以下のメッセージが表示されますので [はい] ボタンをクリックします。



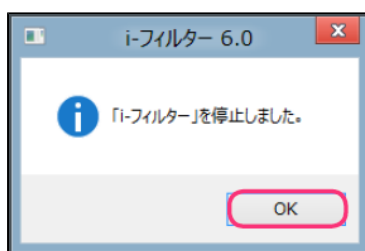
STEP4

「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?」というメッセージが表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。



STEP5

[OK] ボタンをクリックします。



「i-フィルター」が停止します。

+ 補足

- 「i-フィルター」を自動的に起動するように設定している場合は、パソコンを再起動し、「i-フィルター」に再度ログオンすると起動します。
詳しくは【6-4 「i-フィルター」の起動に関する設定をする】の「○自動的に起動する/しない」をご覧ください。

7-4-2 「i-フィルター」を起動する

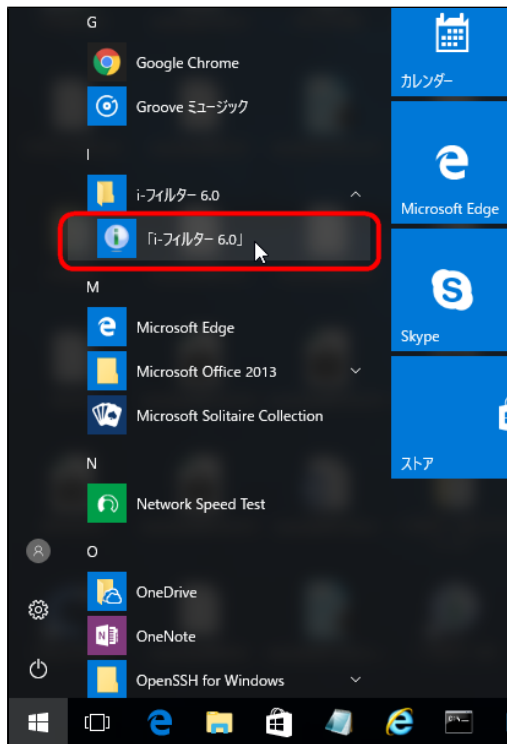
「i-フィルター」を起動する方法を説明しています。

注意

- 「i-フィルター」はWindowsの管理者権限を持つユーザーのみ起動することができます。

STEP1

スタートメニューを開き、[i-フィルター 6.0] > 「i-フィルター 6.0」を開いてクリックします。



+ 補足

- Windows 8.1をお使いの場合は、Windowsのスタートチップをクリックし、『スタート』画面（または『アプリ一覧画面』）から[i-フィルター 6.0]をクリックします。

STEP2

「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」というメッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックします。



「i-フィルター」が起動します。

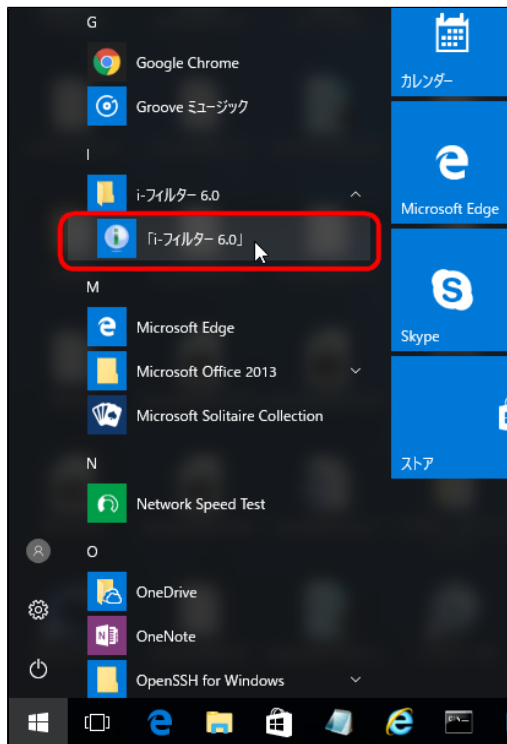
7-5 「i-フィルター」の機能をスタート画面から使う

スタート画面から「i-フィルター」の機能を使うことができます。

7-5-1 「i-フィルター」の機能をスタート画面から使う

STEP1

スタートメニューを開き、[i-フィルター 6.0] > 「i-フィルター 6.0」を開いてクリックします。



+ 補足

- Windows 8.1をお使いの場合は、Windowsのスタートチップをクリックし、『スタート』画面（または『アプリ一覧画面』）から[i-フィルター 6.0]をクリックします。

STEP2

『i-フィルター』の画面が開きます。表示されているタブについて説明します。

○ 「スタートメニュー」について



ボタン	内容
「i-フィルター」の管理画面を開く	「i-フィルター」の管理画面を開きます。
「i-フィルター」を停止する	「i-フィルター」を停止します。
利用者の切り替え	「i-フィルター」の利用者を切り替える画面を開きます。
アプリ情報表示モードONにする または アプリ情報表示モードOFFにする	起動したアプリケーションのアプリ名、プロセス名の情報を表示するモードを有効にしたり、無効にしたりします。
プロキシの設定	「i-フィルター」で使用するプロキシサーバーの設定をする画面を開きます。

○ 「サポート」について



ボタン	内容
お客様サポート	既定のブラウザで「i-フィルター」のお客様サポートページを開きます。
操作マニュアル	既定のブラウザで「i-フィルター」のマニュアルページを開きます。
よくある質問 (FAQ検索サイト)	既定のブラウザで「i-フィルター」のよくある質問 (FAQ検索サイト) を開きます。
【ご利用中のお客さま】 お問い合わせフォーム	既定のブラウザで「i-フィルター」をご利用中のお客さま向けのお問い合わせページを開きます。
パスワードを忘れた方 (解除キー入力)	「i-フィルター」のパスワードを忘れた方へ発行する解除キーの入力画面が開きます。

○ 「バージョン/利用期限」について



ボタン	内容
バージョン情報	「i-フィルター」のバージョン情報を表示します。
継続利用の手続き	「i-フィルター」の継続利用の手続き画面を表示します。

7-6 「i-フィルター」月額版の利用期限と解約について

「i-フィルター」月額版の利用期限はお客さまによる解約手続きが行われるまで毎月自動更新されます。ぜひ継続してご利用いただき安全・安心・快適なインターネットをお楽しみください。

7-6-1 月額版の利用期限について

ご登録から1ヶ月間で利用期限となり、お客さまによって解約の手続きが行われるまで毎月利用期限の自動更新が行われます。ご利用期間中であれば、無償でテクニカルサポートを受けることができるほか、バージョンアップも無料で行うことができます。なお、解約手続きが行われた場合は、「i-フィルター」の機能はご利用いただけなくなります。

+ 補足

- 「i-フィルター」月額版は店頭で販売されている更新パックでの継続利用を行うことができません。

7-6-2 「i-フィルター」月額版の解約について

「i-フィルター」月額版の解約方法について説明します。

! 注意

- 「i-フィルター」月額版はアンインストールを行うことで解約はされません。解約を行う場合は、以下の手順に従ってサービスページより手続きを行ってください。

STEP1

「i-フィルター」サービスページ<<https://sec2.daj.co.jp/ifilter/ifp/support/support.php>>にアクセスします。

+ 補足

- 「i-フィルター」サービスページにはデジタルアーツ株式会社のウェブサイト<<https://www.daj.jp/cs/>>からもアクセスすることができます。

STEP2

ご利用中のシリアルID、E-Mailアドレス、生年月日を入力し、[同意して手続き開始] ボタンをクリックします。

The screenshot shows a web browser window displaying a service page. The page title is 「i-フィルター」サービスページ. The main content area contains a heading: 「i-フィルター」サービスページ<https://sec2.daj.co.jp/ifilter/ifp/support/support.php>にアクセスします。 Below this, there are several bullet points providing instructions and warnings. At the bottom of the page, there is a form with three input fields: 「シリアルID」, 「E-Mailアドレス」, and 「生年月日」. Below the form is a red button with the text 「同意して手続き開始」.

+ 補足

- 「i-フィルター」サービスページでは以下の手続きを行うことができます。

【年額版】継続利用の手続き・お支払い履歴の表示

【月額版】クレジットカード情報の変更・解約の手続き

【年額版・月額版共通】お客さま登録情報の確認・変更・プログラムのダウンロード

注意

- 解約には事前にお客さま情報に登録したシリアルID、E-Mailアドレス、生年月日が必要です。

STEP3

シリアルIDが表示されますので、解約したい月額版シリアルIDの「解約手続き」ボタンをクリックします。

**+ 補足**

- 登録されているお客さま情報を確認、変更する場合は「確認・変更」ボタンをクリックします。
- 「i-フィルター」のインストール方法を確認する場合は「インストールガイド」ボタンをクリックします。インストールについて詳しくは【2-1 「i-フィルター」を購入する】をご覧ください。
- 「i-フィルター」月額版のお支払い情報を変更する場合は「クレジットカード変更」ボタンをクリックします。

STEP4

『解約前の確認』画面が開きます。「次へ」ボタンをクリックします。

+ 補足

- 解約手続きを中止される場合は「もどる」ボタンをクリックします。

注意

- 解約手続きの受付後すぐに「i-フィルター」は使用できなくなります。
- 解約手続きを受付後の取り消しはできませんのでご注意ください。

STEP5

『解約するシリアルIDの確認』画面が開きます。解約するシリアルIDに間違いがない場合、管理パスワードを入力し、[次へ] ボタンをクリックします。

**+ 補足**

- 解約手続きを中止される場合は [もどる] ボタンをクリックします。
- 管理パスワードはご利用中シリアルIDの管理パスワードを正しく入力してください。

STEP6

「i-フィルター」の解約手続きが完了しました。お客さま情報に登録されたE-Mailアドレス宛に『【重要】i-フィルター解約完了のお知らせ』メールが送信されます。[閉じる] ボタンをクリックして、画面を閉じてください。

! 注意

- 解約手続きの受付後は「i-フィルター」をご利用いただくことができなくなりますので、「i-フィルター」をアンインストールしてください。詳しくは【7-7 「i-フィルター」をアンインストールする】をご覧ください。
- 解約手続きを受付後の取り消しはできませんので、ご注意ください。

7-7 「i-フィルター」をアンインストールする

「i-フィルター」をアンインストールする手順について説明します。「i-フィルター」をアンインストールするときは、あらかじめ対象の「i-フィルター」を停止してください。「i-フィルター」の停止については、【7-4-1 「i-フィルター」を停止する】をご覧ください。

7-7-1 Windows 11をお使いの場合

Windows 11をお使いの場合に、「i-フィルター」をアンインストールする方法を説明します。

注意

- 「i-フィルター」は、Windowsの管理者権限を持つユーザーのみアンインストールすることができます。

STEP1

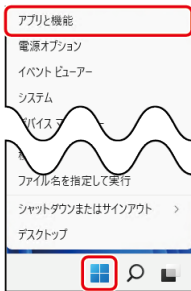
「i-フィルター」を停止させます。

+ 補足


- 「i-フィルター」の停止については【7-4-1 「i-フィルター」を停止する】をご覧ください。
- 他のアプリケーションを終了してください。

STEP2

 を右クリックし、「アプリと機能」をクリックします。



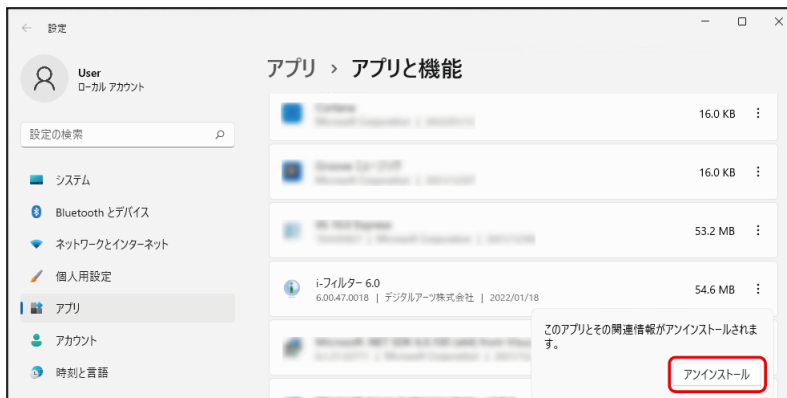
STEP3

「i-フィルター 6.0」の  アイコンをクリックし、「アンインストール」をクリックします。



STEP4

[アンインストール] をクリックします。



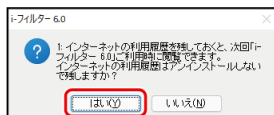
STEP5

以下のメッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。



STEP6

以下のメッセージが表示されます。インターネットのアクセス履歴を残してアンインストールする場合は、[はい] ボタンをクリックします。

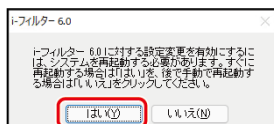


+ 補足

- [いいえ] ボタンをクリックすると、履歴はすべて削除されます。

STEP7

以下のメッセージが表示されたら [はい] ボタンをクリックします。



+ 補足

- すぐにパソコンを終了させたくない場合は、[いいえ] ボタンをクリックしてください。

パソコンが再起動され、「i-フィルター」のアンインストールが完了します。

7-7-2 Windows 10をお使いの場合

Windows 10をお使いの場合に、「i-フィルター」をアンインストールする方法を説明します。

注意

- 「i-フィルター」は、Windowsの管理者権限を持つユーザーのみアンインストールすることができます。

STEP1

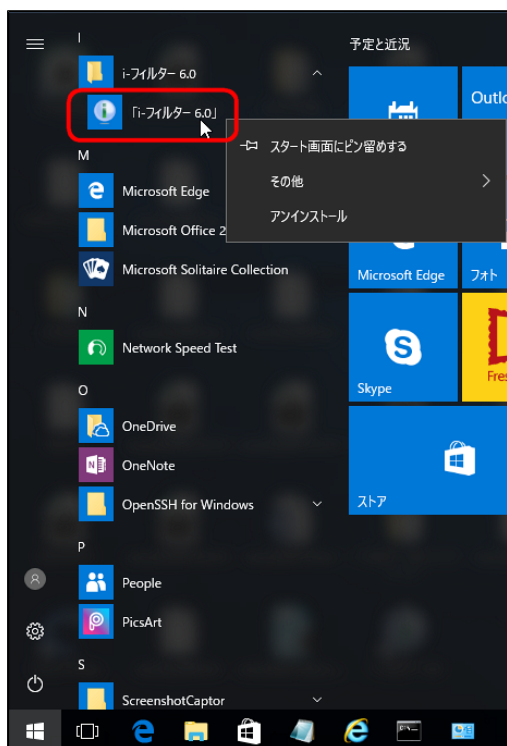
「i-フィルター」を停止させます。

+ 補足

- 「i-フィルター」の停止については【7-4-1 「i-フィルター」を停止する】をご覧ください。
- 他のアプリケーションを終了してください。

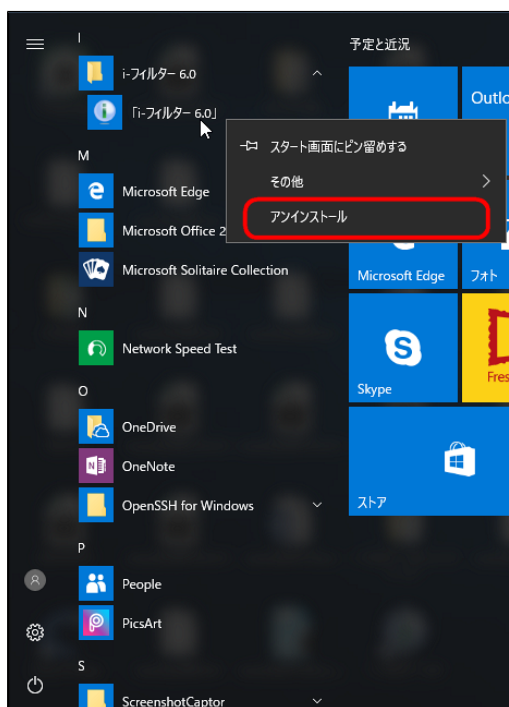
STEP2

スタートメニューを開き、「i-フィルター 6.0」>「i-フィルター 6.0」を開いて右クリックします。



STEP3

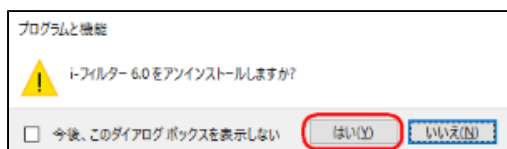
表示されたメニューの [アンインストール] をクリックします。

**STEP4**

[i-フィルター 6.0] をクリックし、[アンインストール] をクリックします。

**STEP5**

以下のメッセージが表示されたら [はい] ボタンをクリックします。



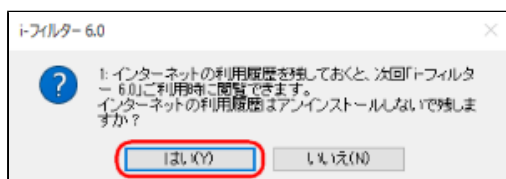
STEP6

以下のメッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。



STEP7

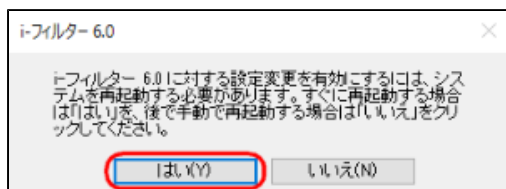
以下のメッセージが表示されます。インターネットのアクセス履歴を残してアンインストールする場合は、[はい] ボタンをクリックします。

**+ 補足**

- [いいえ] ボタンをクリックすると、履歴はすべて削除されます。

STEP8

以下のメッセージが表示されたら [はい] ボタンをクリックします。

**+ 補足**

- すぐにパソコンを終了させたくない場合は、[いいえ] ボタンをクリックしてください。

パソコンが再起動され、「i-フィルター」のアンインストールが完了します。

7-7-3 Windows 8.1をお使いの場合

Windows 8.1をお使いの場合に、「i-フィルター」をアンインストールする方法を説明します。

注意

- 「i-フィルター」は、Windowsの管理者権限を持つユーザーのみアンインストールすることができます。

STEP1

「i-フィルター」を停止させます。

+ 補足

- 「i-フィルター」の停止については【7-4-1 「i-フィルター」を停止する】をご覧ください。
- 他のアプリケーションを終了してください。

STEP2

画面左下の[スタートチップ]をクリックします。



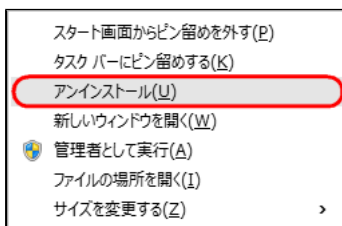
STEP3

『スタート』画面（または『アプリ』一覧画面）から[i-フィルター 6.0]を右クリックします。



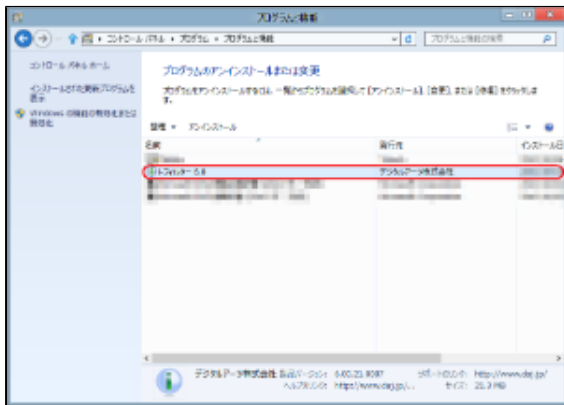
STEP4

表示された右クリックメニューの[アンインストール]をクリックします。



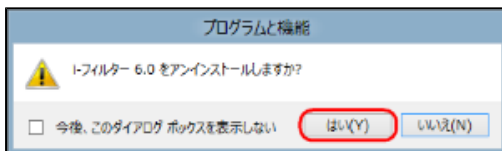
STEP5

「i-フィルター 6.0」をクリックし、「アンインストール」をクリックします。



STEP6

以下のメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックします。



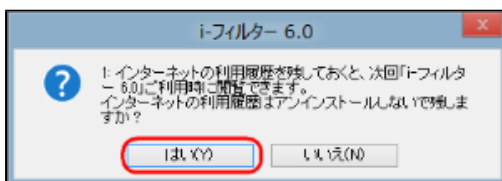
STEP7

「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックします。



STEP8

以下のメッセージが表示されます。インターネットのアクセス履歴を残してアンインストールする場合は、「はい」ボタンをクリックします。

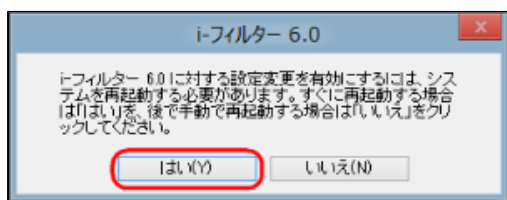


+ 補足

- 「いいえ」ボタンをクリックすると、履歴はすべて削除されます。

STEP9

以下のメッセージが表示されたら [はい] ボタンをクリックします。



+ 補足

- すぐにパソコンを終了させたくない場合は、[いいえ] ボタンをクリックしてください。

パソコンが再起動され、「i-フィルター」のアンインストールが完了します。

7-8 旧バージョンからアップグレードを実施する

「i-フィルター」シリーズ旧バージョンから無料で「i-フィルター 6.0」へのアップグレードが可能です。旧バージョンにはない「i-フィルター 6.0」の新機能をご利用ください。

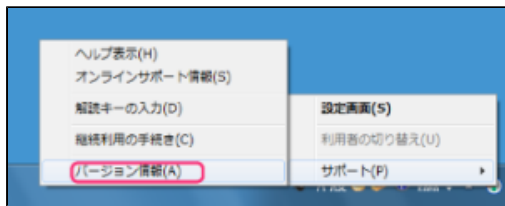
7-8-1 「i-フィルター 5.0」からのアップグレード方法

「i-フィルター 5.0」からアップグレードを行う場合は、現在ご利用中の設定を引き継ぐことができます。引き継ぎを実施しない場合は、「i-フィルター 6.0」の初期設定になります。

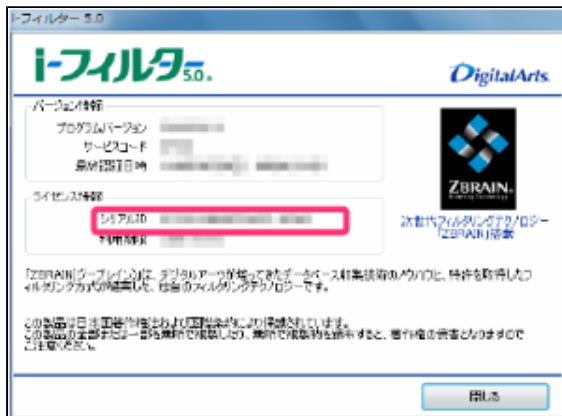
STEP1

現在ご利用中のシリアルIDを確認します。

- [1] 通知領域（タスクトレイ）の「i-フィルター 5.0」アイコンをクリックし [サポート] → [バージョン情報] をクリックします。



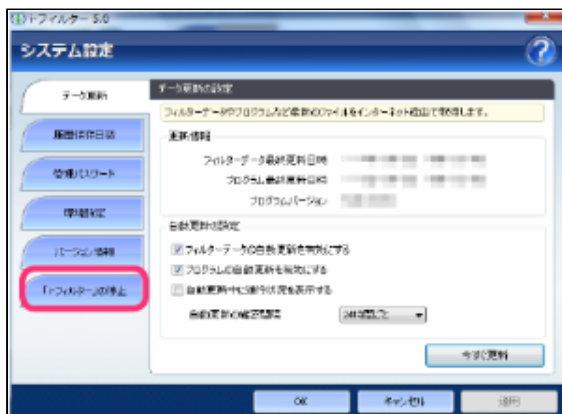
- [2] ライセンス情報のシリアルIDをご確認ください。



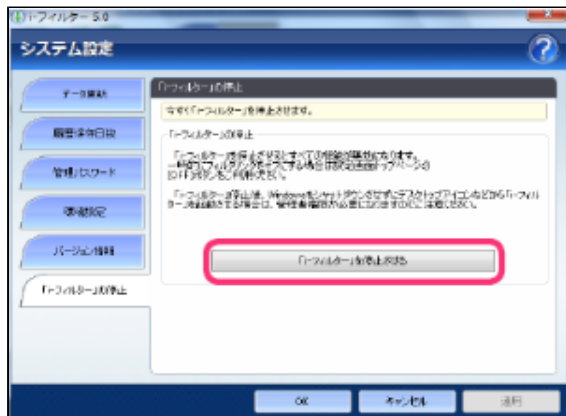
STEP2

「i-フィルター 5.0」を停止します。

- [1] 設定画面のトップページで [システム設定] ボタンをクリックします。
[2] 「i-フィルター」の停止 ボタンをクリックします。



[3] 「[i-フィルター]を停止させる」ボタンをクリックします。



STEP3

デジタルアーツのウェブサイト<<https://www.daj.jp/cs/products/pc/ifp/install/>>より「i-フィルター6.0」をダウンロードします。

STEP4

「if6installer (.exe)」のアイコンをダブルクリックします。




STEP5

[インストール] ボタンをクリックします。



+ 補足

- [インストール先フォルダーを選択する] にチェックマークを付け、[インストール] ボタンをクリックすると、インストール先フォルダーを選択することができます。通常のインストール先は「C:¥Program Files¥Digital Arts¥IFP6」または「C:¥Program Files(x86)¥Digital Arts¥IFP6」です。
- [操作マニュアルを見る] ボタンをクリックすると、本操作マニュアルが表示されます。
- 最新のマニュアルが配信されている場合は、最新のマニュアルのダウンロードページを開くことができます。
- 本操作マニュアルをパソコン上で見られない場合は、Adobe Readerが必要です。
-  をクリックして、Adobe Readerをお使いのパソコンにインストールしてください。
- [とじる] ボタンをクリックすると、インストールを中止します。

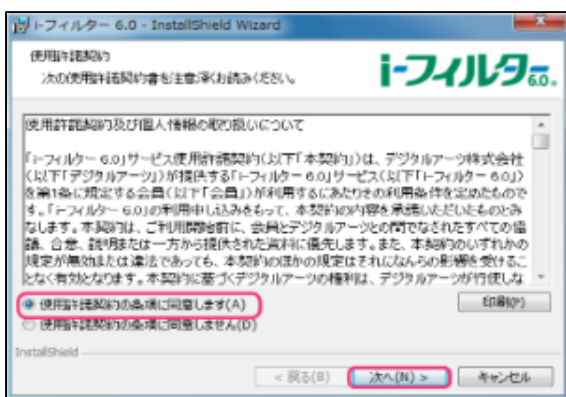
STEP6

「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?」というメッセージが表示されたら [はい] ボタンをクリックします。



STEP7

[使用許諾契約の条項に同意します] を選択し [インストール] ボタンをクリックします。



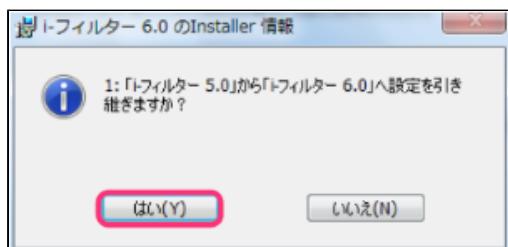
! 注意

- 使用許諾契約に同意していただけない場合、インストールができません。

STEP8

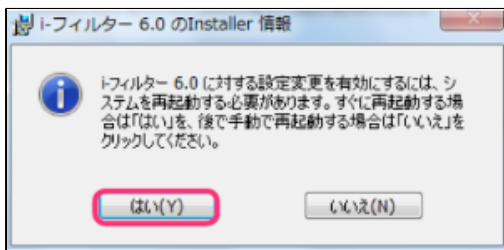
「i-フィルター 5.0」でご利用いただいていた設定の引き継ぎ確認が表示されます。 [はい] ボタンをクリックすると、ご利用中の設定を引き継いでインストールが実行されます。

- フィルター強度設定 / 「i-フィルター」の利用者 / 各種フィルタリング設定が引き継がれます。管理パスワード、ログ保存日数、ブロック画面は引き継ぐことができません。 [いいえ] ボタンをクリックすると、「i-フィルター」の初期設定でインストールが実行されます。
- フィルター強度設定 / 「i-フィルター」の利用者 / 各種設定のすべてが初期設定となりますので、必要な場合は再度、設定を行ってください。



STEP9

以下のメッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。



STEP10

再起動後、『「i-フィルター」の開始』画面が表示されます。STEP1で確認いただいたシリアルIDを入力し、[次へ] ボタンをクリックします。



+ 補足

- シリアルIDは半角英数字で入力します。

STEP11

管理パスワードの設定を行います。管理パスワードを入力し、[設定する] ボタンをクリックします。



+ 補足

- 管理パスワードとは「i-フィルター」の設定を変えたり、利用状況を確認するときに使う大切なパスワードです。他の利用者に知られないようなパスワードにしてください。
- 管理パスワードは、半角英数字6文字以上15文字以下で設定してください。
- 管理パスワードは、大文字と小文字が区別されます。

! 注意

- アップグレード時に管理パスワードは引き継ぎが行われません。新しい管理パスワードを設定してください。

STEP12

[完了] ボタンをクリックします。以上でアップグレードは完了になります。



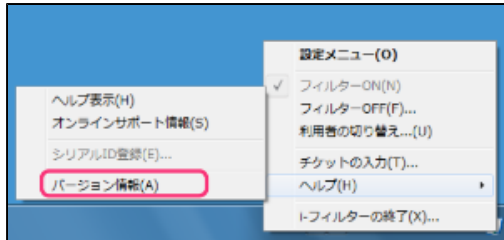
7-8-2 「i-フィルター 4」からのアップグレード方法

「i-フィルター 4」からアップグレードを行う場合は、現在ご利用中の設定を引き継ぐことができません。「i-フィルター 4」からのアップグレード後は「i-フィルター 6.0」の初期設定になります。お手数ですが、再度設定を行ってください。

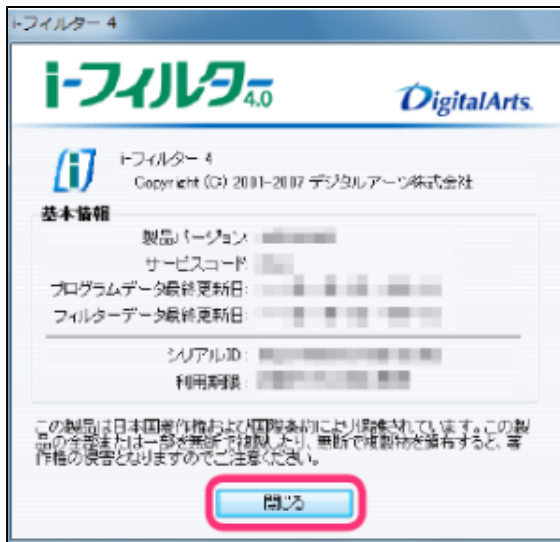
STEP1

現在ご利用中のシリアルIDを確認します。

- [1] 通知領域（タスクトレイ）の「i-フィルター 4」アイコンを右クリックし [ヘルプ] → [バージョン情報] をクリックします。



- [2] 基本情報のシリアルIDをご確認ください。

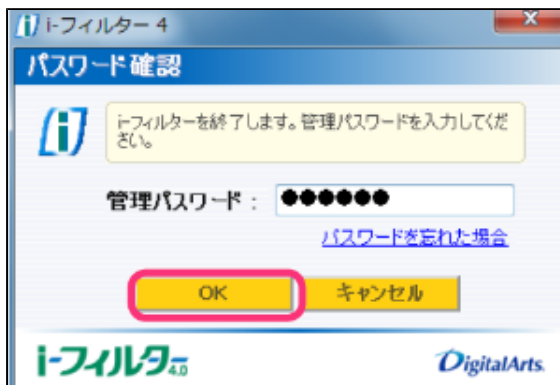


STEP2

「i-フィルター 4」を停止します。

- [1] Windowsのスタートボタンから [すべてのプログラム] (または [プログラム]) → [i-フィルター 4] → [i-フィルター 4終了] をクリックします。

- [2] 管理パスワードを入力し [OK] ボタンをクリックします。



STEP3

「i-フィルター 4」をアンインストールします。
アンインストールの方法に関しては、<https://www.daj.jp/cs/ifpe4/faq_uins.htm>をご参照ください。

STEP4

デジタルアーツのウェブサイト<<https://www.daj.jp/cs/products/pc/if6/install/>>より「i-フィルター6.0」をダウンロードします。

STEP5

「if6installer (.exe)」のアイコンをダブルクリックします。




STEP6

[インストール] ボタンをクリックします。



+ 補足

- [インストール先フォルダーを選択する] にチェックマークを付け、[インストール] ボタンをクリックすると、インストール先フォルダーを選択することができます。通常のインストール先は「C:¥Program Files¥Digital Arts¥IFP6」または「C:¥Program Files(x86)¥Digital Arts¥IFP6」です。
- [操作マニュアルを見る] ボタンをクリックすると、本操作マニュアルが表示されます。
- 最新のマニュアルが配信されている場合は、最新のマニュアルのダウンロードページを開くことができます。
- 本操作マニュアルをパソコン上で見られない場合は、Adobe Readerが必要です。
 をクリックして、Adobe Readerをお使いのパソコンにインストールしてください。
- [閉じる] ボタンをクリックすると、インストールを中止します。

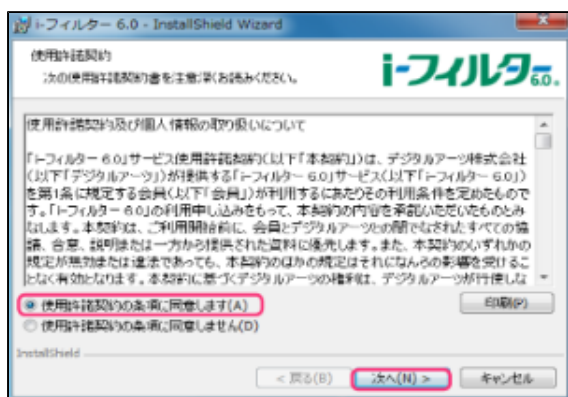
STEP7

「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?」というメッセージが表示されたら [はい] ボタンをクリックします。



STEP8

[使用許諾契約の条項に同意します] を選択し [インストール] ボタンをクリックします。



注意

- 使用許諾契約に同意していただけない場合、インストールができません。

STEP9

再起動後、『「i-フィルター」の開始』画面が表示されます。STEP1で確認いただいたシリアルIDを入力し、[次へ] ボタンをクリックします。



補足

- シリアルIDは半角英数字で入力します。

STEP10

管理パスワードの設定を行います。管理パスワードを入力し、[設定する] ボタンをクリックします。



+ 補足

- 管理パスワードとは「i-フィルター」の設定を変えたり、利用状況を確認するときに使う大切なパスワードです。他の利用者に知られないようなパスワードにしてください。
- 管理パスワードは、半角英数字6文字以上15文字以下で設定してください。
- 管理パスワードは、大文字と小文字が区別されます。

! 注意

- アップグレード時に管理パスワードは引き継ぎが行われません。新しい管理パスワードを設定してください。

STEP11

[完了] ボタンをクリックします。以上でアップグレードは完了になります。



第8章 付録

フィルターカテゴリー一覧などを記載しています。困ったときの解決方法や「i-フィルター」の便利な使い方、用語集などは弊社サイト <<https://www.daj.jp/faq/>>をご覧ください。

8-1 フィルターのカテゴリー一覧

8-2 お問い合わせ

8-1 フィルターの 카테고리一覽

フィルター強度設定画面でブロックしたいカテゴリにチェックマークを付けて設定すると、フィルターを細かく設定できます。カテゴリにチェックマークを付けると、該当するサイトがブロックされるよう設定されます。

詳しくは【3-3 フィルターの強度を設定する】をご覧ください。カテゴリの種類と説明は、以下のとおりです。

カテゴリ		説明
アダルト	性行為・性風俗	過激なヌードや性行為の表現、性風俗店
	ヌード・アダルトグッズ	ヌードの表現、アダルトグッズ
	グラビア	水着・下着姿など露出度の高い姿態の表現
	性教育・性の話題	性の話題、性教育、避妊、性病
犯罪・暴力	グロテスク	過激な暴力などの表現・画像
	犯罪・武器	犯罪テクニック、爆弾、凶器、傷口
	不適切な薬物使用	麻薬・脱法ドラッグ、薬物・健康食品の乱用促進や個人輸入代行
	カルト・テロリズム	テロ組織・カルト集団、破壊活動に関わったとされる団体の情報
コミュニケーション	出会い	出会い系サイト、メル友募集、恋愛・結婚の斡旋
	掲示板	掲示板、掲示板専用レンタルサーバー
	ブログ	ブログ、ブログ専用レンタルサーバー
	SNS	会員同士のつながりを促進するコミュニティサイト
	未成年による利用に特に注意が必要なSNS (利用注意SNS)	年齢差に関係なく不特定多数の人と知り合いやすく、SNSによるコミュニケーションに起因する犯罪被害実績のあるSNS
	会員向け掲示板	会員向けQ&A型コミュニティサイト
	ソーシャルブックマーク	インターネットを介したブックマーク共有サービス
	Webメール	ブラウザでのメール送受信、メール転送サービス
	チャット	チャット、チャット専用レンタルサーバー
	メールマガジン	メールマガジン配信サイト
	ホスティング	個人ホームページスペース、ホスティング・レンタルサーバー
エンターテインメント	芸能	芸能プロダクション、タレント公式サイト・ファンサイト、芸能ニュース
	映画・演劇	映画製作・配給会社、作品、劇団、映画俳優
	音楽	音楽レーベル、アーティスト公式サイト・ファンサイト、楽曲販売、歌詞検索
	TV・ラジオ	放送局、番組
	漫画・アニメ	漫画家公式サイト、作品、ウェブ漫画、漫画ダウンロード販売
	動画・音楽配信	インターネットラジオ、インターネットTV、動画・音楽配信
	ゲーム	ゲーム会社公式サイト、ゲーム情報、ブラウザゲーム
	スポーツ	競技団体・スポーツメーカー・選手公式サイト、スポーツニュース
	占い・超常現象	占い、UFO、心霊現象、都市伝説
ショッピング	ショッピング	ショッピングサイト、商品情報検索・比較
	オークション	ネットオークション
	コンピューター用品	パソコンメーカー直販サイト
	オフィス用品	オフィス用品メーカー直販サイト
不正IT技術	不正アクセス技術	ハッキング・クラッキングの技術
	ウイルス技術情報	ウイルスやスパイウェアなどのプログラム配布・製作技術
	違法ソフト・反社会行為	違法ソフトウェアコピー、シリアル配布などの権利侵害行為、フィッシング詐欺
	クラッシャーサイト	ブラウザを介してパソコンに悪影響を及ぼすサイト

カテゴリ		説明
地域	旅行・観光	旅行・観光情報、旅行代理店
	タウン情報	地域ポータル、地域限定の情報検索サイト
	アミューズメント施設	遊園地、遊戯場、テーマパーク、多目的施設
	旅客鉄道	公共交通機関、道路港湾施設、交通運行情報
	グルメ	飲食店情報紹介・検索
仕事	求人	求人情報サイト、再就職支援、人材派遣
金融・経済	投資情報	金融・株式・投資商品の紹介、取引のアドバイス
	オンライントレード	オンライン金融商品取引
	消費者金融	オンラインキャッシング、カードローン、銀行・信販系の個人向け金融
	インターネット銀行	インターネット銀行、オンラインでの銀行取引
	不動産	不動産物件の賃貸・販売情報
ギャンブル	ギャンブル	競馬・競輪・競艇・オンラインカジノ・パチンコ、その他の賭博行為
	懸賞・くじ	宝くじ・ナンバーズ・ロトくじ、懸賞サイト（期間限定は除く）
アルコール・タバコ	アルコール・タバコ	タバコ・酒造メーカー、成人嗜好品
情報サービス	ニュース	ニュースサイト、ニュース検索
	ポータル	総合情報サイト
	検索エンジン	ウェブ検索サービス
	画像・動画検索エンジン	画像・動画・音声Web検索サービス
ツール	総合ソフトウェアダウンロード	ソフトウェア紹介・配布総合サイト
	オンラインストレージ	インターネットを介したファイル保存サービス
	アップローダー	不特定多数ユーザーでのファイル共有サイト、ファイル共有ソフトウェア情報
	Web翻訳・URL変換	ウェブサイト翻訳
	匿名アクセス・プロキシ	プロキシサーバー、匿名メール発信、匿名化を目的としたアクセス中継
宗教	宗教	宗教団体（宗教法人・連合・連盟）および、神社・寺院などの宗教施設サイトや宗教信仰・宗教理念・活動内容など詳細に紹介しているサイト（※破壊活動等に関与した宗教団体は対象外）
主張	誹謗・中傷	誹謗、中傷、糾弾、差別
	主張	個人的嗜好、対立を招く恐れのある表現
	いたづら	下品な表現、ドッキリ、カンニング
行政・教育	政府・自治体	政府・自治体の運営するサイト
	学校・教育施設	学校・公的教育機関の運営するサイト
	軍事・防衛関連	国軍などの公的な軍事・防衛組織、軍事・防衛産業企業の公式サイト
その他	緊急	緊急性・事件性の高いサイト
	特殊	今ある他のカテゴリに属さない話題性・フィルタリング需要の高いサイト


8-2 お問い合わせ

お困りのときに、デジタルアーツ株式会社のサポート情報をご覧になっても解決できないときは、サポートセンターにお問い合わせください。

○ お問い合わせの前に

お客さまからよくお寄せいただく質問については、デジタルアーツ株式会社のウェブサイトのサポートサイト <<https://www.daj.jp/cs/support/>>に掲載しています。お問い合わせの前に、お客さまのお問い合わせの内容に関する情報があるかどうかご確認ください。

+ 補足

- 通知領域（タスクトレイ）の  から [サポート] → [よくある質問] をクリックするとサポート情報をご覧いただけます。

○ お問い合わせの際にご用意いただくもの

サポート窓口にご連絡いただく前に、あらかじめ以下の項目について確認し、お伝えいただくと、的確な調査や回答を行いやすくなります。このページを印刷して以下のメモ欄に書き込んでいただき、ご活用ください。

ご用意いただくもの	メモ	
「i-フィルター」のシリアルID (例: ABCD-EFGHIJKLMN-OPQR)		
パソコンのメーカー名/機種名 (例: A社製PC-123)		
お使いのWindowsのバージョン (例: Windows 10 Home)		
お使いのウェブブラウザの名前とバージョン (例: Internet Explorer 11)		
具体的なお困りの症状 (エラー発生日、エラーメッセージなど)		
「i-フィルター」のバージョン ※バージョンの確認方法について詳しくは、 【7-3 バージョン情報を見る】をご覧ください。	プログラムバージョン	
	サービスコード	
	最終認証日時	年 月 日 時 分 秒
	利用期限	/ /

www.daj.jp